

UDC 371. 279. 1

受験機会の複数化にともなう地理的流動性
 ——昭和61年度以前の地理的志願動向との比較をとおして——

岩田弘三*

岩坪秀一**

目 次

第1章 本研究の目的	第3章 昭和62年度の地理的志願動向
第2章 昭和61年度以前の地理的志願動向	3.1 各県出身者の主な志願先県
2.1 各県出身者の主な志願先県	3.2 地域ブロックごとの地理的志願パターン
2.2 得点階層別にみた志願先	3.3 各県の地理的志願範囲の類似性
2.3 各県の地理的志願範囲の類似性	3.4 志願先県の組み合わせ
2.4 地域ブロックごとの地理的志願パターン	3.5 得点階層別にみた志願先
2.5 合格者の地理的分布	(1)受験していない教科得点の推計
2.6 昭和54年度から昭和61年度までの時系列的傾向	(2)各県出身者の主な志願先県
(1)自ブロック内志願率	(3)各地方の中心都市への志願動向
(2)各地方の中心都市への志願率	(4)自県への志願動向
(3)東京への志願率	(5)得点階層と地理的流動性
(4)合格者の動向	(6)地理的流動性の増加
	3.6 単願者の志願動向
	3.7 入学者の地理的分布
	第4章 まとめと今後の課題
	付表

第1章 本研究の目的

昭和62年度の入試改革の一環として、国公立大学の受験機会が複数化されることになった。今回の複数化方式は、各大学がA、B 2つのグループに分かれて第2次試験を行うというものである。ここでいうA、Bグループとは、昭和62年度については、前者が3月1

日から、後者が3月5日から（特例として4日から）、2次試験を行う大学群のことである。（この他に、これ以後の日程に2次試験を行う一部の公立大学群、Cグループがある。）そして、今回の複数化方式では、各大学が合格発表を行った後に、受験生が入学大学を決定することになっていた（事後選抜制）。

共通第1次学力試験制度導入時点（昭和54年度）から昨年度（昭和61年度）までの間は、

* 大学入試センター研究開発部 評価・追跡研究部門

** 大学入試センター研究開発部 情報処理研究部門

大学入試センター研究紀要 No. 17, 1988, p. 29~100 (昭和62年9月29日受付)

©1988 THE NATIONAL CENTER FOR UNIVERSITY ENTRANCE EXAMINATION

国立大学と2次試験期日が異なる一部の公立大学や、定員留保の2次募集などを例外とすれば、原則として国公立大学の受験機会は1回であった。複数化制度のもとでは、国立大学と2次試験期日が異なる一部の公立大学や、定員留保の2次募集を利用しなくても、受験生は、最低2回国公立大学を志願できるようになった。全受験生がこの制度を活用すれば、国公立大学に提出される志願票総数は、受験機회가1回の時に比べて少なくとも2倍に増加することになる。

われわれは、受験生の出身県から志願先大学がある県への志願の流れを、地理的志願動向と呼ぶことにした。昭和62年度に全ての受験生が、同じ県にある大学・学部を2回志願しない限り、従来の地理的志願動向に加えて、新たな志願の流れが生じるはずである。このような意味で、受験生の志願に関する地理的流動性は増しているものと考えられる。

これまでに岩田は、受験機회가1回だった昭和54年度から昭和61年度までの期間について、各県の高校出身者がいかなる県にある大学に志願しているのか、といった受験生の地理的選択範囲について研究を進めてきた。⁽¹⁾ 本稿では、そこで得られた成果を踏まえて、従来の実態と比較した場合、今回の制度改革によって、受験生の地理的な流動性がどの程度、そしてどのような形で増加したのかを、明らかにしていくことを目的にする。また、今回の改革にもかかわらず、受験生の地理的流動性がそれほど増していない県もあると考えられる。それはどのような県なのか、といった点についても考察を加えていくことにした。

具体的には、本稿では、昭和62年度の志願動向(第3章)と、それ以前の志願動向(第2章)とを、つぎの視点から比較していくことにする。(1)自県や近県、および東京等への

志願傾向の強さ。(2)我々は、大学選択における地理的選択範囲が似た県の集合体を、地域ブロックと名付けたが、その地域ブロックの構成県。(3)共通1次得点階層別にみた場合の、地理的志願動向の相違。(4)各県出身の合格者(入学者)の地理的な散らばり具合。

受験機회가1回だった時期の志願動向については、いくつかの点に関して、既に昭和57年度を中心とした分析結果の報告を行った。⁽²⁾ そこで、第2章では昭和59年度のデータを用いて、以前の分析で得られた知見の確認と追加を行うことにした。さらに第2章では、上に述べた点に加え、(5)自県にある大学への志願率等いくつかの指標について、昭和54年度から昭和61年度までの時系列的变化をみていき、昭和59年度のデータから引き出された知見の信頼性の吟味を行う。

また、第3章では、(6)今回の受験機会の複数化の導入にもかかわらず、1つの大学にしか志願しなかった者(単願者)と地理的流動性の関係についても考察を加えることにした。

今回の分析は、各大学が指定する共通1次試験の全教科目を受験し、かつ昼間部の学部に出願した国公立大学2次試験志願者(以下、単に志願者もしくは受験生と呼ぶ)に限定した。この中には、出願はしたが2次試験は受けなかった者も含まれている。

本稿では県別の分析を主眼とする。ただし、一つの県を取り出しても、例えば、隣の県の大学の方が、自県にある大学よりも通学時間が短い地域がある。県単位でみるよりも、こうした地域をもとにした分析が実態に即していると思われる。⁽³⁾ しかし、具体的な指標の構成が困難であった。そこで、本稿では県という行政単位を、そのまま分析単位として用いることにした。

第2章 昭和61年度以前の地理的志願動向

2.1 各県出身者の主な志願先県

最初に、昭和61年度以前には、各県の高校出身者は、主にどの県にある国公立大学に志願していたのか、についてみていこう。表2-1は、昭和59年度について、各県の志願者の5%以上が出願している県名を書き出したものである。表中の県名は志願率の多い順に並べてある。また、()内には、志願率を示しておいた。

ここでみられる傾向は、昭和54年度について得られたものと大差ないので、⁽⁴⁾ 志願傾向の大きい順に主だった志願先を列記するに留める。

①自県；埼玉、千葉、神奈川、奈良の4県を除けば、およそどの県でも、自県の大学に志願している者が最も多い。その志願率は、次に志願の多い県を約10～20%ポイントも引き離している。

②各地方の中心都市（これらは、7大学いわゆる旧帝大所在県と重なる）；近県への志願の中でも、地方の中心都市への志願が自県について多い。東北地方では宮城県、関東地方では東京都、東海地方では愛知県、関西地方では大阪府・京都府、九州地方では福岡県といった具合である。一方、中部地方では東京都への、中国・四国地方では大阪府への志願が、これらの地方に属するどの県からも比較的多い。従って、隣接地方の中心都市（7大学所在県）が、これらの地方の中心都市的役割を果たしていることが示唆される。

③近県；大口志願先として、自県以降に名を連ねているのは、ほとんどがそれぞれの県の近県に限られている。

④東京；多くの県で東京都が5%以上の志願先となっている。中でも、東京への志願率

が大きいのは関東の諸県（東京の近県）であり、神奈川(42.0%)、埼玉(30.8%)、千葉(28.8%)では、東京が最大の志願先となっている。このように、東京だけは、距離といった地理的要因にとらわれない吸引力をもった県であることが分かる。

2.2 得点階層別にみた志願先

つぎに、昭和61年度以前の受験生の志願動向を、共通1次試験の得点階層別にみていこう。表2-2は、昭和59年度について、得点階層別に表2-1と同じ内容の表を作成したものである。ここで用いる得点階層とは、共通1次の5教科の合計得点によって、各得点階層に包含される受験生数が等しくなるように、国公立大学全受験者を5等分したものである。第1五分位層が共通1次得点の最も低い層（下位20%層）であり、第5五分位層が最も高い層（上位20%層）である。各得点階層の合格率は、第1～第2五分位層で10%程度、第3～第5五分位層でそれぞれ約50%である。ここでは、得点第1、第3、第5五分位層についての表のみ示してある。表は省いたが、得点第2、第4五分位層は、その上下の得点階層の中間の形態を取っている。

①得点第3五分位層では、埼玉・千葉・神奈川といった、首都圏（後述の関東ブロック）に属する県で、自県への志願傾向が東京への志願傾向を上回っている。その他細かい点を除けば、得点第1五分位層と第3五分位層の志願先は、表2-1でみられた県と大差ない。

②得点第5五分位層では、その県が属する地方の中心都市（7大学所在県；宮城、東京、愛知、京都、大阪、福岡）への志願が、一番もしくは二番目に多い。

③得点第5五分位層では、各県に共通して、東京が上位志願先となっている。

表2-1. 出身県別志願先県(昭和59年度)

出身県	志願者数	1	2	3	4	5	6
1. 北海道	12685	北海道(73.8)	東京 (5.6)				
2. 青森	2720	青森 (40.9)	東京 (8.8)	岩手 (8.7)	北海道(7.9)	宮城 (6.7)	
3. 岩手	3032	岩手 (47.1)	宮城 (9.8)	青森 (6.5)	東京 (6.4)		
4. 宮城	4585	宮城 (41.5)	山形 (9.7)	東京 (7.2)	岩手 (6.5)	福島 (5.5)	
5. 秋田	2628	秋田 (39.1)	青森 (9.8)	宮城 (7.4)	東京 (6.7)	岩手 (5.3)	
6. 山形	3009	山形 (43.6)	宮城 (9.3)	東京 (6.5)	山梨 (5.5)	新潟 (5.1)	
7. 福島	4068	福島 (30.6)	宮城 (10.5)	東京 (9.8)	山形 (8.5)	茨城 (7.7)	
8. 茨城	4832	茨城 (52.9)	東京 (12.6)				
9. 栃木	3551	栃木 (29.7)	東京 (10.6)	群馬 (10.5)	茨城 (8.2)		
10. 群馬	5271	群馬 (47.1)	東京 (10.1)	山梨 (5.1)			
11. 埼玉	7729	東京 (30.8)	埼玉 (22.9)	群馬 (5.6)	千葉 (5.1)		
12. 千葉	8095	東京 (28.8)	千葉 (25.7)	埼玉 (9.1)			
13. 東京	25165	東京 (54.0)	千葉 (7.4)	神奈川(7.0)	埼玉 (5.6)		
14. 神奈川	12205	東京 (42.0)	神奈川(22.9)				
15. 新潟	5112	新潟 (54.1)	東京 (8.7)				
16. 富山	4180	富山 (42.0)	石川 (9.4)	東京 (9.0)	新潟 (6.4)	山梨 (5.1)	
17. 石川	3500	石川 (31.9)	富山 (19.8)	東京 (7.9)	山梨 (5.9)		
18. 福井	2597	福井 (32.5)	石川 (7.7)	東京 (7.3)	大阪 (6.8)	山梨 (6.1)	
19. 山梨	2162	山梨 (53.7)	東京 (11.6)				
20. 長野	5617	長野 (31.7)	東京 (14.5)	山梨 (9.2)	新潟 (5.2)		
21. 岐阜	5767	岐阜 (25.1)	愛知 (16.4)	東京 (5.7)	静岡 (5.3)		
22. 静岡	8131	静岡 (31.3)	東京 (12.4)	山梨 (7.3)			
23. 愛知	21414	愛知 (37.2)	岐阜 (8.9)	東京 (7.1)	三重 (6.2)	静岡 (5.0)	
24. 三重	4149	三重 (35.0)	愛知 (13.4)	東京 (7.7)	大阪 (7.2)		
25. 滋賀	2607	滋賀 (18.5)	大阪 (14.8)	京都 (14.2)	兵庫 (5.6)		
26. 京都	6363	京都 (36.1)	大阪 (17.4)	兵庫 (6.4)			
27. 大阪	25429	大阪 (41.7)	京都 (14.2)	兵庫 (11.7)			
28. 兵庫	14209	兵庫 (24.7)	大阪 (23.7)	京都 (9.1)	東京 (6.0)		
29. 奈良	3146	大阪 (32.7)	京都 (15.7)	奈良 (11.3)	兵庫 (9.3)		
30. 和歌山	2713	和歌山(31.1)	大阪 (20.1)				
31. 鳥取	2083	鳥取 (34.4)	島根 (9.9)	大阪 (7.2)	東京 (6.6)		
32. 島根	2318	島根 (29.0)	山口 (12.6)	東京 (6.2)	広島 (5.9)	大阪 (5.7)	
33. 岡山	6858	岡山 (23.5)	山口 (8.2)	香川 (7.9)	大阪 (7.1)	東京 (5.9)	
34. 広島	7468	広島 (29.6)	山口 (10.0)	東京 (9.6)	大阪 (6.1)	福岡 (5.3)	
35. 山口	5077	山口 (38.6)	福岡 (11.1)	広島 (7.1)	東京 (6.5)		
36. 徳島	2614	徳島 (31.6)	高知 (14.2)	香川 (7.6)	大阪 (6.8)	東京 (5.4)	
37. 香川	3283	香川 (30.4)	大阪 (8.5)	東京 (7.5)	高知 (5.1)		
38. 愛媛	4998	愛媛 (28.9)	高知 (9.5)	東京 (7.7)	大阪 (6.0)		
39. 高知	1713	高知 (50.6)	東京 (8.7)	大阪 (6.6)			
40. 福岡	14067	福岡 (42.1)	山口 (9.2)	佐賀 (7.3)	熊本 (5.8)	東京 (5.4)	
41. 佐賀	2343	佐賀 (42.3)	福岡 (14.3)	熊本 (5.7)	山口 (5.6)	長崎 (5.5)	
42. 長崎	5463	長崎 (28.8)	福岡 (13.0)	佐賀 (8.5)	山口 (6.1)	東京 (5.7)	熊本 (5.3)
43. 熊本	4888	熊本 (37.2)	福岡 (12.7)	鹿児島(7.9)	東京 (6.2)	佐賀 (5.8)	
44. 大分	3829	大分 (27.6)	福岡 (12.2)	山口 (9.3)	熊本 (6.7)	東京 (5.3)	
45. 宮崎	3644	宮崎 (26.3)	福岡 (9.6)	鹿児島(9.4)	沖縄 (9.3)	熊本 (7.1)	東京 (6.0)
46. 鹿児島	5166	鹿児島(40.6)	東京 (12.4)	福岡 (9.7)	沖縄 (7.5)		
47. 沖縄	2929	沖縄 (90.4)					

表2-2. 得点階層別・出身県別志願先県（昭和59年度）

(1) 得点第1五分位層

出身県	1	2	3	4	5	6	7	8
1. 北海道	北海道(81.1)							
2. 青森	青森(44.0)	北海道(9.7)	岩手(9.0)	東京(7.7)				
3. 岩手	岩手(56.4)	青森(9.0)	宮城(7.5)	東京(5.2)				
4. 宮城	宮城(39.0)	山形(13.3)	岩手(10.0)	福島(7.7)	東京(7.1)			
5. 秋田	秋田(54.2)	青森(11.4)	東京(5.4)	岩手(5.3)				
6. 山形	山形(48.7)	宮城(9.4)	新潟(6.2)	東京(6.1)				
7. 福島	福島(32.7)	山形(15.2)	東京(11.3)	宮城(7.9)	茨城(7.5)			
8. 茨城	茨城(63.1)	東京(13.4)						
9. 栃木	栃木(33.6)	東京(11.9)	群馬(11.3)	茨城(7.7)	山形(6.2)			
10. 群馬	群馬(57.7)	東京(10.7)	長野(5.6)					
11. 埼玉	東京(35.3)	埼玉(25.4)	群馬(6.9)					
12. 千葉	東京(37.3)	千葉(22.3)	茨城(8.2)	長野(5.5)				
13. 東京	東京(57.5)	埼玉(7.5)	千葉(5.7)	神奈川(5.3)				
14. 神奈川	東京(51.9)	神奈川(19.0)						
15. 新潟	新潟(61.9)	東京(7.1)	山形(5.1)					
16. 富山	富山(51.8)	新潟(7.4)	石川(5.7)	長野(5.6)				
17. 石川	富山(28.9)	石川(27.8)	福井(9.5)					
18. 福井	福井(36.0)	東京(9.0)	長野(7.3)	富山(5.8)	新潟(5.8)			
19. 山梨	山梨(62.1)	東京(13.4)	長野(6.9)					
20. 長野	長野(46.0)	東京(15.0)	新潟(7.2)	山梨(6.9)				
21. 岐阜	岐阜(22.4)	愛知(13.3)	長野(9.0)	東京(7.1)				
22. 静岡	静岡(27.4)	東京(18.0)	長野(6.0)	山梨(5.6)				
23. 愛知	愛知(33.0)	東京(10.5)	長野(9.4)	三重(8.8)	岐阜(7.4)			
24. 三重	三重(44.5)	東京(11.0)	愛知(9.3)	長野(5.1)				
25. 滋賀	滋賀(18.3)	京都(16.9)	福井(8.6)	長野(6.4)				
26. 京都	京都(45.8)	大阪(8.1)						
27. 大阪	大阪(28.6)	京都(17.6)	兵庫(10.8)	東京(5.1)				
28. 兵庫	兵庫(26.8)	大阪(12.9)	京都(10.5)	東京(5.5)				
29. 奈良	京都(19.1)	大阪(16.4)	奈良(11.7)	東京(7.6)	長野(6.7)			
30. 和歌山	和歌山(46.1)	大阪(6.8)	長野(5.7)					
31. 鳥取	鳥取(44.4)	島根(15.1)	東京(6.2)					
32. 島根	島根(32.0)	山口(13.5)	東京(8.4)	福岡(5.7)	高知(5.4)	鳥取(5.1)		
33. 岡山	岡山(16.6)	高知(8.4)	山口(8.3)	東京(7.3)	香川(7.2)	福岡(6.7)		
34. 広島	広島(27.9)	東京(12.3)	山口(9.3)	島根(5.4)				
35. 山口	山口(44.3)	福岡(12.0)	東京(7.4)	島根(6.0)				
36. 徳島	徳島(27.4)	高知(24.9)	香川(7.7)	東京(6.5)				
37. 香川	香川(36.9)	高知(10.8)	東京(9.5)	愛媛(5.3)				
38. 愛媛	愛媛(27.7)	高知(19.1)	東京(9.6)					
39. 高知	高知(77.8)							
40. 福岡	福岡(39.3)	佐賀(13.2)	山口(9.3)	東京(6.2)				
41. 佐賀	佐賀(58.1)	福岡(9.4)	東京(5.6)					
42. 長崎	長崎(29.8)	佐賀(11.8)	東京(10.0)	沖縄(9.4)	福岡(7.0)			
43. 熊本	熊本(31.3)	福岡(10.4)	鹿児島(10.3)	東京(9.2)	佐賀(8.0)	宮崎(6.5)		
44. 大分	大分(23.5)	福岡(9.9)	山口(9.9)	沖縄(9.8)	宮崎(6.4)	東京(6.2)	佐賀(5.9)	長崎(5.9)
45. 宮崎	宮崎(29.8)	沖縄(23.1)	鹿児島(8.9)	福岡(7.0)	東京(6.0)			
46. 鹿児島	鹿児島(40.6)	沖縄(28.6)	東京(5.1)					
47. 沖縄	沖縄(95.1)							

(2) 得点第3五分位層

出身県	1	2	3	4	5	6	7
1. 北海道	北海道(71.4)	群馬 (5.1)					
2. 青森	青森 (41.3)	岩手 (11.4)	東京 (7.2)	北海道(6.1)	群馬 (5.3)		
3. 岩手	岩手 (48.8)	群馬 (6.4)	青森 (5.9)	宮城 (5.3)	山梨 (5.3)		
4. 宮城	宮城 (38.7)	山形 (9.8)	福島 (6.2)	山梨 (5.8)	岩手 (5.5)		
5. 秋田	秋田 (37.6)	青森 (9.4)	岩手 (8.1)	新潟 (8.1)	群馬 (5.4)		
6. 山形	山形 (56.3)	山梨 (9.4)	群馬 (5.1)				
7. 福島	福島 (36.7)	茨城 (11.1)	山梨 (7.7)	新潟 (6.0)	群馬 (5.8)	山形 (5.1)	東京 (5.1)
8. 茨城	茨城 (59.1)	東京 (6.5)	千葉 (5.7)				
9. 栃木	栃木 (38.0)	群馬 (10.4)	茨城 (7.9)	東京 (6.2)	山梨 (5.3)		
10. 群馬	群馬 (48.3)	山梨 (7.9)	新潟 (6.6)	東京 (6.2)	茨城 (5.2)		
11. 埼玉	埼玉 (34.1)	東京 (20.5)	群馬 (6.6)	千葉 (6.5)			
12. 千葉	千葉 (32.2)	東京 (18.8)	茨城 (12.4)	埼玉 (7.5)			
13. 東京都	東京 (42.2)	千葉 (10.3)	神奈川(10.1)	埼玉 (8.9)	茨城 (6.3)		
14. 神奈川県	神奈川(30.5)	東京 (30.2)	茨城 (5.9)				
15. 新潟	新潟 (58.8)	群馬 (7.5)	山梨 (5.5)				
16. 富山	富山 (54.7)	新潟 (9.2)	山梨 (6.9)	石川 (6.7)			
17. 石川	石川 (33.1)	富山 (27.5)	山梨 (9.2)				
18. 福井	福井 (40.5)	山梨 (8.9)	石川 (7.5)	富山 (6.5)			
19. 山梨	山梨 (67.8)						
20. 長野	長野 (33.6)	山梨 (13.5)	東京 (9.2)	群馬 (5.9)			
21. 岐阜	岐阜 (33.0)	愛知 (9.1)	山梨 (6.6)	富山 (5.8)	静岡 (5.5)		
22. 静岡	静岡 (38.6)	山梨 (10.8)	東京 (5.7)	茨城 (5.7)			
23. 愛知	愛知 (33.3)	岐阜 (10.9)	三重 (9.1)	山梨 (7.4)	静岡 (6.4)		
24. 三重	三重 (46.9)	愛知 (7.9)	山梨 (5.9)				
25. 滋賀	滋賀 (26.4)	京都 (11.1)	大阪 (8.0)				
26. 京都	京都 (32.2)	大阪 (18.1)	滋賀 (7.4)	兵庫 (5.7)			
27. 大阪	大阪 (39.8)	京都 (13.0)	兵庫 (10.0)				
28. 兵庫	兵庫 (29.0)	大阪 (20.2)	京都 (6.3)				
29. 奈良	大阪 (29.0)	奈良 (15.3)	京都 (13.9)	兵庫 (6.6)			
30. 和歌山	和歌山(34.3)	大阪 (16.9)					
31. 鳥取	鳥取 (37.4)	島根 (10.3)	大阪 (5.9)	東京 (5.5)			
32. 島根	島根 (42.4)	山口 (19.5)	山梨 (5.2)				
33. 岡山	岡山 (20.2)	香川 (13.2)	山口 (11.7)				
34. 広島	広島 (30.9)	山口 (15.8)	愛媛 (7.5)	福岡 (5.6)	山梨 (5.6)		
35. 山口	山口 (56.6)	福岡 (7.0)					
36. 徳島	徳島 (37.7)	高知 (13.2)	香川 (9.7)	山梨 (6.3)	山口 (5.6)		
37. 香川	香川 (42.0)	徳島 (8.4)	愛媛 (5.8)				
38. 愛媛	愛媛 (41.4)	高知 (11.2)	香川 (6.5)				
39. 高知	高知 (52.9)	香川 (5.2)					
40. 福岡	福岡 (40.1)	山口 (14.9)	佐賀 (7.3)	熊本 (5.7)			
41. 佐賀	佐賀 (49.7)	福岡 (10.1)	山口 (7.1)	山梨 (6.0)			
42. 長崎	長崎 (29.8)	佐賀 (12.6)	山口 (10.5)	福岡 (9.4)			
43. 熊本	熊本 (34.5)	鹿児島(13.1)	福岡 (11.9)	佐賀 (7.0)	山口 (6.0)		
44. 大分	大分 (41.5)	山口 (11.8)	福岡 (8.1)	山梨 (5.2)			
45. 宮崎	宮崎 (30.8)	鹿児島(13.7)	山口 (7.0)	福岡 (6.3)	大分 (5.9)		
46. 鹿児島	鹿児島(61.6)	福岡 (7.5)					
47. 沖縄	沖縄 (85.0)						

(3) 得点第5五分位層

出身県	1	2	3	4	5	6	7
1. 北海道	北海道(62.9)	東京 (13.3)					
2. 青森	宮城 (26.2)	青森 (22.7)	東京 (19.9)	北海道(7.4)			
3. 岩手	宮城 (36.0)	東京 (20.5)	北海道(6.6)				
4. 宮城	宮城 (54.5)	東京 (14.7)					
5. 秋田	宮城 (25.1)	秋田 (21.5)	東京 (18.2)	北海道(6.9)			
6. 山形	宮城 (27.0)	東京 (20.2)	山形 (19.0)	北海道(5.6)			
7. 福島	宮城 (26.5)	東京 (24.9)	福島 (15.0)				
8. 茨城	東京 (28.3)	茨城 (22.7)	宮城 (13.6)				
9. 栃木	東京 (28.4)	宮城 (14.1)	茨城 (9.5)	京都 (5.6)	栃木 (5.2)		
10. 群馬	東京 (24.7)	群馬 (22.8)	宮城 (9.4)				
11. 埼玉	東京 (48.3)	宮城 (7.8)	京都 (5.1)				
12. 千葉	東京 (41.1)	千葉 (16.7)	京都 (5.9)	宮城 (5.8)	茨城 (5.3)		
13. 東京	東京 (68.6)						
14. 神奈川	東京 (53.6)	神奈川(12.2)	京都 (5.2)				
15. 新潟	新潟(26.0)	東京 (25.3)	宮城 (10.2)				
16. 富山	東京 (29.9)	石川 (12.5)	富山 (10.8)	大阪 (10.6)	京都 (7.3)	愛知 (6.5)	宮城 (5.5)
17. 石川	石川 (29.5)	東京 (20.7)	大阪 (12.2)	京都 (8.2)	愛知 (6.8)		
18. 福井	大阪 (18.9)	福井 (16.9)	東京 (14.4)	京都 (10.3)	石川 (8.6)	愛知 (6.9)	兵庫 (5.2)
19. 山梨	東京 (27.7)	山梨 (22.9)	宮城 (10.3)				
20. 長野	東京 (28.3)	長野 (12.4)	愛知 (8.0)	宮城 (7.7)	京都 (6.2)	大阪 (5.3)	
21. 岐阜	愛知 (32.4)	岐阜 (17.5)	東京 (12.4)	大阪 (10.0)	京都 (6.4)		
22. 静岡	東京 (23.9)	静岡 (17.6)	愛知 (9.3)	大阪 (7.5)	宮城 (6.1)	京都 (6.0)	神奈川(5.1)
23. 愛知	愛知 (47.4)	東京 (13.1)	大阪 (8.6)	京都 (6.9)	岐阜 (5.7)		
24. 三重	愛知 (25.8)	大阪 (16.6)	東京 (13.8)	三重 (12.6)	京都 (6.4)		
25. 滋賀	大阪 (28.2)	京都 (23.1)	兵庫 (8.9)	滋賀 (7.5)	愛知 (6.7)	東京 (5.4)	
26. 京都	京都 (37.6)	大阪 (26.4)	兵庫 (8.4)	東京 (7.4)			
27. 大阪	大阪 (46.3)	京都 (18.8)	兵庫 (13.2)				
28. 兵庫	大阪 (33.0)	兵庫 (18.9)	京都 (15.5)	東京 (13.5)			
29. 奈良	大阪 (35.3)	京都 (20.5)	兵庫 (13.5)	奈良 (8.0)	東京 (6.3)		
30. 和歌山	大阪 (35.0)	和歌山(11.5)	京都 (9.7)	兵庫 (8.6)	東京 (7.7)	愛知 (6.3)	
31. 鳥取	大阪 (17.3)	鳥取 (17.3)	東京 (13.3)	広島 (10.1)	京都 (9.6)	兵庫 (5.1)	
32. 島根	大阪 (19.0)	東京 (15.4)	京都 (11.2)	広島 (9.6)	兵庫 (6.9)	島根 (6.9)	
33. 岡山	岡山 (25.2)	大阪 (19.2)	東京 (14.3)	京都 (7.4)			
34. 広島	広島 (25.0)	東京 (18.8)	大阪 (15.2)	京都 (10.2)	福岡 (5.2)		
35. 山口	福岡 (18.6)	大阪 (15.3)	広島 (12.5)	東京 (12.1)	山口 (9.0)	京都 (8.1)	
36. 徳島	徳島 (27.6)	大阪 (19.8)	東京 (12.5)	京都 (9.6)	兵庫 (5.5)		
37. 香川	大阪 (24.0)	東京 (16.0)	京都 (10.0)	香川 (9.1)	兵庫 (6.5)	岡山 (6.1)	広島 (5.6)
38. 愛媛	東京 (20.6)	大阪 (16.2)	愛媛 (9.9)	京都 (7.7)	広島 (7.4)	福岡 (6.4)	岡山 (5.3)
39. 高知	大阪 (19.8)	東京 (17.0)	高知 (16.4)	京都 (8.2)			
40. 福岡	福岡 (49.1)	東京 (12.2)	大阪 (6.9)	京都 (6.2)			
41. 佐賀	福岡 (35.4)	東京 (14.3)	京都 (7.8)	佐賀 (7.8)	長崎 (5.9)	熊本 (5.6)	
42. 長崎	福岡 (27.7)	長崎 (17.5)	東京 (14.2)	大阪 (8.0)			
43. 熊本	熊本 (34.7)	福岡 (21.5)	東京 (13.1)				
44. 大分	福岡 (25.5)	東京 (13.1)	大分 (11.9)	広島 (9.1)	大阪 (8.7)	熊本 (5.9)	
45. 宮崎	福岡 (19.0)	東京 (16.4)	宮崎 (14.9)	大阪 (7.8)	熊本 (6.3)		
46. 鹿児島	東京 (32.3)	福岡 (17.1)	鹿児島(14.6)	大阪 (8.2)			
47. 沖縄	沖縄 (61.7)	東京 (7.1)					

2.3 各県の地理的志願範囲の類似性

以上の集計結果から、受験生が大学を選択する時には、自県および近県と、その範囲を越えた県の間、一種の垣根とでも呼べるものがあることが示唆された。

それでは、近県に該当する各地域ブロックは、どのような県から構成されているのだろうか。各県出身の受験者が47都道府県にそれぞれ何%づつ志願したのか、似た県とおしをまとめるために、そのパーセントを変数にして、クラスター分析を行った。その結果を図2-1に示しておく。なお、本稿でのクラスター分析は全て、個体(出身県)間のユークリッド平方距離をもとにした、ウォード法を用いている。

まず、図の説明をしておこう。左端の数字は類似の程度を表している。この数字が大きくなるに従って、図でいえば下へさがるほど、類似性が高いことを示している。例えば、第3のレベル(+3)では、図上部の県名をもとにすれば、北海道から神奈川までの県(東日

本地区)と滋賀から鹿児島までの県(西日本地区)と沖縄で、地理的志願パターンが異なることを示している。(東日本地区からは西日本地区にあまり志願しないし、逆に西日本地区からは東日本地区にあまり志願しない。)

この図をもとに、いくつかの地域ブロックを取り出す作業に移ろう。第8のレベル(+8)を目安として、各地域ブロックを構成する県は下に示すとおりのものでした。

- 東北ブロック 青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
- 関東ブロック 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
- 中部ブロック 群馬, 富山, 石川, 福井, 長野, 静岡
- 東海ブロック⁽⁵⁾ 岐阜, 愛知, 三重
- 関西ブロック 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
- 中国・四国ブロック 鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口, 徳島, 香川, 愛媛, 高知

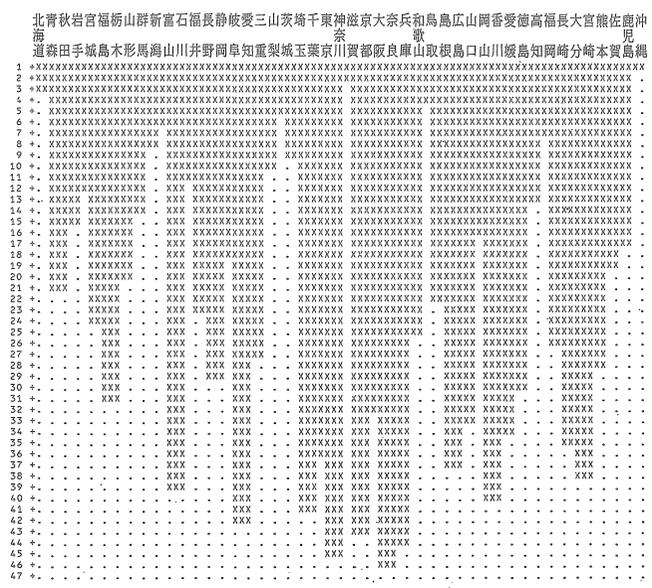


図2-1. 志願者の出願先に関するクラスター分析の結果(昭和59年度)

九州ブロック 福岡, 佐賀, 長崎, 熊本,
 大分, 宮崎, 鹿児島
 単独県ブロック 北海道, 沖縄
 いずれのブロックにも属さない県 茨
 城, 栃木, 新潟, 山梨

あった。得点第5五分位層については、他の
 得点階層とは異なったクラスターが抽出され
 る可能性がある。なぜなら、地方の中心都市
 (7大学所在県) および東京への志願が多く
 なるといった点で、得点第5五分位層に分類
 される受験生は、他の得点階層に属する受験
 生と比べて、志願者の地理的分布が幾分異
 なっていたからである。図2-2は、得点第5
 五分位層について、上と同様のクラスター分
 析を行った結果である。

これらのクラスター(県群)は、東北地方、
 関東地方等々といった我々になじみ深い地区
 割とほぼ一致しており、我々の地理的イメ
 ージを容易にしてくれる。ただし、昭和54~61
 年度について行った、同様のクラスター分析
 の結果を勘案して、年度によって、いくつか
 のクラスター間を揺れ動く県(茨城, 栃木,
 新潟, 山梨)は、各ブロックの性格を明確に
 するために、どのブロックからも除くことに
 した。

ここで抽出されたクラスターも、図2-1で
 抽出されたものとあまり変わらない。つまり、
 どの得点階層を取り出しても、そこから抽出
 されるクラスターは同じ県から構成されてい
 る。このことは、つぎのことを意味している。
 例えば、得点第5五分位層以外の得点階層で、
 クラスターとして抽出された東北地方のいく
 つかの県がある。これらの諸県は、その得点
 第5五分位層の受験生が、宮城と東京を中心
 に志願している、という点でも共通性を持つ

それでは、上と同様のクラスター分析を共
 通1次得点階層ごとに行うと、どうなるのだ
 ろうか。図は省くが、その結果は得点第1~4
 分位層に関しては、上のものと大同小異で

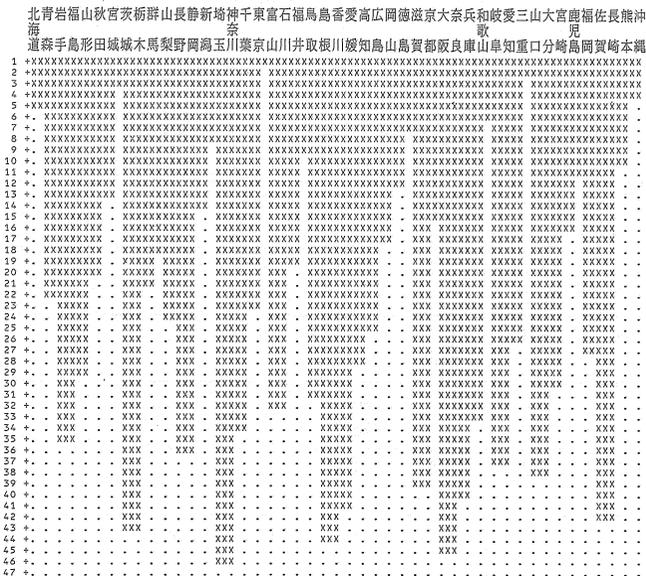


図2-2. 志願者の出願先に関するクラスター分析の結果(昭和59年度, 得点第5五分位層)

ており、得点第5五分位層でもまた一つの同じクラスターを形成している。このことは、上で分類した地域ブロックは、どの得点階層にも共通したものであることを示している。

2.4 地域ブロックごとの地理的志願パターン

それでは、各地域ブロックからは、それぞれの地域ブロック内にある大学にどの程度志願しているのだろうか。⁶⁾ この点を表2-3で確かめておこう。

例えば、東北ブロック出身の国公立大学志願者は20,042人いる。そのうち、自ブロック（出身県が属するブロック）内にある大学に志願した者は、63.7%に達する。（うち自県へ志願した者の割合は40.0%。）自ブロックを越えて志願した者は、36.3%にすぎない。その中の主要な志願先は、関東ブロック（12.0%）と中部ブロック（5.8%）であり、それ以外のブロックへの志願は、割合としてはごく少数である。

このように、①どのブロックでも大多数（5

割から7割）の受験生は、自ブロック内で志願している。その中でも、自県へ志願する傾向は一層顕著である。②受験生が志願するのは、せいぜい隣のブロックにある大学までである。③どのブロックからも、東京を中心とする関東ブロックにだけは、比較的志願が集中している。この点を除けば、ブロックをまたいで志願は非常に小さい。

ここで、先にブロックを作る時に、どのブロックにも組み入れなかった県の例をみておこう。これらの県を代表させて、栃木県を取り上げることにする。図2-3は栃木からの各ブロックへの志願率をみたものである。各地方の中心都市（7大学所在県）への志願は、各ブロックと分けて示してある。図中の「その他の諸県」の中身は、ほとんどが、茨城、新潟、山梨への志願である（この中には、北海道への2.5%、沖縄への0.2%の志願も含まれている）。

図から明らかかなように、栃木からは東北、関東、中部の3つのブロックへ、ほぼ均等に志願している。この3ブロックへ、ほぼ均等

表2-3. ブロック間流出率（昭和59年度）

志願先 出身ブロック	東 北 ブロック	関 東 ブロック	中 部 ブロック	東 海 ブロック	関 西 ブロック	中国・四国 ブロック	九 州 ブロック	その他の 諸 県	計 (人)
東 北 ブロック	63.7 (40.0)	12.0	5.8	0.6	1.3	0.5	0.4	15.9	100.0 (20,042)
関 東 ブロック	4.6	69.7 (38.1)	5.7	1.4	3.5	1.4	1.4	12.3	100.0 (53,194)
中 部 ブロック	4.8	16.8	48.7 (35.9)	3.9	6.4	1.9	0.9	16.6	100.0 (29,296)
東 海 ブロック	2.6	9.5	14.9	50.6 (34.7)	9.5	3.2	1.3	8.5	100.0 (31,330)
関 西 ブロック	1.2	5.2	5.8	4.4	68.1 (33.2)	8.9	2.2	4.2	100.0 (54,467)
中国・四国 ブロック	1.1	9.5	3.5	2.6	13.2	56.4 (31.1)	7.8	5.9	100.0 (36,412)
九 州 ブロック	0.4	8.2	2.0	1.2	5.0	11.2	64.5 (36.6)	7.4	100.0 (39,400)

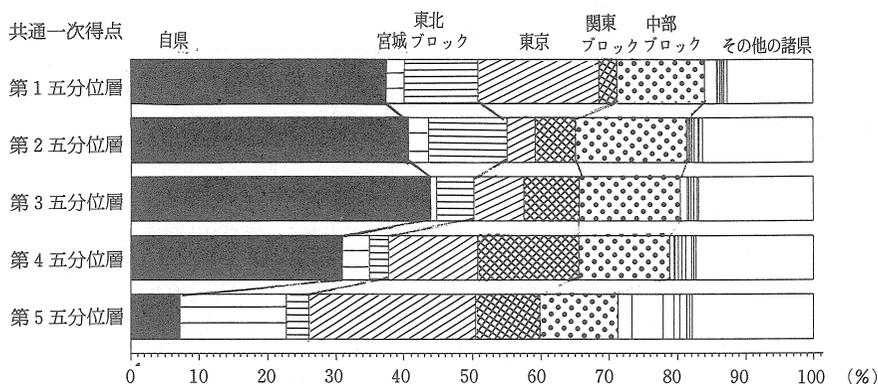


図2-3. 栃木県からの志願先

に志願するという傾向は、図2-3 でみた栃木のみならず、どのブロックにも組み入れなかった、茨城、新潟、山梨に共通した傾向である。これら4県は地理的に、あるいは志願者の志向として、東北、関東、中部3つのブロックの狭間に位置する県と考えられる。

2.5 合格者の地理的分布

それでは、昭和59年度については、各県出身の合格者は地理的にみて、どのような散らばり方をしていたのであろうか。(昭和61年度までの合格者は、入学者に一致すると考えてほとんど差し支えない。)

ここでもまず、表2-4 で、各県出身の合格者が主にどのような県に散っているのかを確認しておこう。①その結果は、志願者についての分析結果と大差なかった。つまり、合格者の散り具合も自県・近県中心であり、近県の中では地方の中心都市にある大学に多くの合格者が集まっている。

志願者同様、国公立大学合格者についても、それぞれの県の出身者が全国に何%づつ散っているのか、その比率を変数にして、図2-1 と同様のクラスター分析を行ってみた。

②志願者の場合 (図2-1)とは異なり、中部

ブロックは2とおりのタイプの県群 (クラスター)に分かれていた。合格者の散らばり具合からみる限りは、富山・石川・福井3県は東海ブロックの様相に近く、群馬・長野・静岡の3県は関東ブロックの様相に近かった。同様に、栃木・茨城・新潟といった東北・関東・中部の3ブロックの間にある県も、関東ブロックに近いパターンを示していた。この点を除けば、合格者のクラスター分析の結果は、志願者のそれとほぼ同様であった。(少なくとも、②で指摘した傾向は、昭和57年度以降一貫してみられる。)

2.6 昭和54年度から昭和61年度までの時系列的傾向

以上まで、昭和59年度のデータをもとに、昭和61年度以前の受験生の地理的志願動向を明らかにしてきた。しかし、昭和59年度で、受験機会が複数化される以前の時期を代表させて、差し支えないのだろうか。われわれは、昭和54年度から昭和61年度までの8年間、受験生の地理的志願傾向がどの程度安定していたのかを、吟味しなければならない。ここでは、第5節までに得られた知見の中から、重要と思われるいくつかの指標の年次変化をみ

表2-4. 出身県別合格先 (昭和59年度)

出身県	1	2	3	4	5	6
1. 北海道	北海道 (77.4)					
2. 青森	青森 (45.5)	岩手 (11.1)	宮城 (8.6)	北海道 (7.4)	東京 (6.5)	
3. 岩手	岩手 (56.3)	宮城 (10.2)	青森 (5.3)			
4. 宮城	宮城 (45.9)	山形 (9.9)	岩手 (7.6)	福島 (5.8)	東京 (5.6)	
5. 秋田	秋田 (45.2)	青森 (8.5)	宮城 (8.0)	岩手 (6.1)	新潟 (5.8)	
6. 山形	山形 (52.9)	宮城 (8.4)	新潟 (5.6)	東京 (5.3)		
7. 福島	福島 (36.5)	宮城 (12.5)	茨城 (7.7)	山形 (6.6)	東京 (6.2)	新潟 (5.9)
8. 茨城	茨城 (55.6)	東京 (9.6)	宮城 (6.5)	千葉 (5.4)		
9. 栃木	栃木 (37.2)	東京 (8.5)	茨城 (8.3)	群馬 (7.7)	宮城 (6.1)	
10. 群馬	群馬 (43.8)	東京 (8.9)	山梨 (7.7)	新潟 (5.2)		
11. 埼玉	埼玉 (27.1)	東京 (26.3)	千葉 (6.3)	宮城 (5.9)		
12. 千葉	千葉 (30.0)	東京 (22.8)	茨城 (9.5)			
13. 東京都	東京 (52.2)	千葉 (8.7)	神奈川 (6.5)	埼玉 (5.7)		
14. 神奈川県	東京 (36.5)	神奈川 (23.4)				
15. 新潟	新潟 (61.2)	東京 (7.4)				
16. 富山	富山 (42.4)	石川 (14.1)	東京 (7.4)	新潟 (7.2)		
17. 石川	石川 (43.5)	富山 (17.0)	東京 (6.4)	山梨 (5.4)		
18. 福井	福井 (41.0)	石川 (11.4)	山梨 (6.4)	東京 (5.2)		
19. 山梨	山梨 (57.9)	東京 (8.5)				
20. 長野	長野 (36.2)	東京 (12.5)	山梨 (9.2)	新潟 (5.5)		
21. 岐阜	岐阜 (27.8)	愛知 (18.9)	静岡 (5.2)	東京 (5.2)	山梨 (5.0)	
22. 静岡県	静岡 (38.2)	東京 (9.8)	山梨 (7.3)	茨城 (5.1)		
23. 愛知	愛知 (43.9)	岐阜 (6.3)	東京 (5.8)	静岡 (5.3)		
24. 三重	三重 (38.9)	愛知 (14.5)	東京 (7.1)	大阪 (5.8)		
25. 滋賀	滋賀 (25.5)	京都 (14.7)	大阪 (11.5)	兵庫 (5.4)		
26. 京都	京都 (36.5)	大阪 (16.3)	兵庫 (7.1)	滋賀 (5.4)		
27. 大阪府	大阪 (41.1)	京都 (14.2)	兵庫 (13.4)			
28. 兵庫県	兵庫 (28.3)	大阪 (20.1)	京都 (9.1)	東京 (6.6)		
29. 奈良	大阪 (28.4)	奈良 (17.6)	京都 (14.1)	兵庫 (11.8)		
30. 和歌山	和歌山 (34.4)	大阪 (18.9)				
31. 鳥取	鳥取 (45.1)	島根 (9.5)	広島 (6.3)	東京 (5.4)		
32. 島根	島根 (38.0)	広島 (8.9)	山口 (8.9)	東京 (5.4)		
33. 岡山	岡山 (33.6)	香川 (7.9)	山口 (5.9)	大阪 (5.0)		
34. 広島	広島 (37.9)	山口 (8.4)	東京 (7.6)			
35. 山口	山口 (40.0)	福岡 (11.5)	広島 (11.4)			
36. 徳島	徳島 (42.5)	高知 (10.1)	香川 (6.8)			
37. 香川	香川 (36.7)	徳島 (6.4)	岡山 (6.0)	東京 (6.0)	大阪 (5.8)	広島 (5.6)
38. 愛媛	愛媛 (38.8)	高知 (7.1)	広島 (6.3)	東京 (5.7)		
39. 高知	高知 (53.8)	東京 (7.4)	大阪 (5.2)			
40. 福岡	福岡 (45.4)	熊本 (7.6)	山口 (7.2)	佐賀 (6.1)	長崎 (5.3)	
41. 佐賀	佐賀 (41.0)	福岡 (17.1)	長崎 (8.0)	熊本 (7.6)		
42. 長崎	長崎 (36.8)	福岡 (13.8)	佐賀 (7.4)	熊本 (6.7)		
43. 熊本	熊本 (44.8)	福岡 (12.0)	鹿児島 (6.9)	佐賀 (5.7)		
44. 大分	大分 (36.2)	福岡 (13.4)	熊本 (8.5)			
45. 宮崎	宮崎 (30.4)	鹿児島 (11.3)	福岡 (9.9)	熊本 (8.6)	沖縄 (6.8)	東京 (5.2)
46. 鹿児島	鹿児島 (50.0)	福岡 (10.9)	東京 (10.6)	沖縄 (5.2)		
47. 沖縄	沖縄 (92.6)					

表2-5. 地域ブロック内志願率

(全体)

(うち各地域ブロック内の自県内志願率)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東 北 圏	63.4 (39.6)	63.7 (38.4)	63.9 (38.8)	64.8 (39.8)	61.7 (38.6)	63.7 (40.1)	65.1 (41.5)	63.9 (39.7)
関 東 圏	70.8 (38.6)	70.4 (40.8)	70.7 (40.0)	71.9 (40.1)	70.3 (38.6)	69.7 (38.1)	69.5 (37.5)	69.6 (37.1)
中 部 圏	45.7 (33.9)	46.9 (34.9)	45.8 (34.8)	48.0 (36.1)	50.5 (37.2)	48.7 (35.9)	48.4 (35.4)	48.8 (35.2)
東 海 圏	51.0 (37.4)	52.1 (37.5)	51.1 (37.4)	49.6 (36.5)	49.8 (34.9)	50.6 (34.7)	50.0 (33.7)	49.0 (33.5)
関 西 圏	68.2 (34.5)	68.5 (34.8)	69.9 (35.0)	70.9 (36.3)	69.2 (34.6)	68.1 (33.2)	66.5 (32.6)	67.9 (33.9)
中国・四国圏	57.1 (31.2)	58.2 (32.4)	57.4 (33.1)	57.6 (32.5)	55.9 (31.8)	56.4 (31.1)	57.2 (31.2)	56.5 (29.7)
九 州 圏	66.9 (36.0)	70.7 (39.5)	67.5 (38.0)	66.2 (37.9)	66.6 (38.3)	64.5 (36.6)	64.4 (36.1)	61.8 (36.1)

(得点第1五分位層)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東 北 圏	69.1 (45.0)	73.1 (43.5)	70.8 (41.9)	74.2 (43.1)	71.4 (43.4)	73.1 (44.6)	74.9 (47.1)	71.8 (43.6)
関 東 圏	73.7 (40.6)	73.2 (43.3)	73.5 (42.9)	74.8 (42.7)	71.6 (39.3)	72.6 (38.9)	71.5 (37.8)	72.6 (38.5)
中 部 圏	50.3 (41.0)	51.0 (41.0)	49.4 (38.5)	52.3 (41.0)	59.6 (43.7)	57.4 (43.1)	54.1 (40.9)	56.6 (42.7)
東 海 圏	52.2 (38.8)	54.0 (37.9)	49.8 (35.8)	48.2 (33.9)	46.1 (30.3)	48.2 (32.4)	44.8 (29.4)	44.7 (30.3)
関 西 圏	65.1 (34.1)	64.2 (33.9)	65.4 (33.2)	64.7 (33.9)	61.7 (31.4)	61.1 (31.1)	59.7 (31.0)	58.6 (30.2)
中国・四国圏	61.3 (35.0)	61.2 (33.7)	60.0 (34.7)	61.9 (33.4)	60.7 (33.1)	60.4 (33.9)	61.1 (33.1)	60.3 (32.4)
九 州 圏	69.1 (36.5)	69.5 (39.1)	69.2 (37.8)	62.2 (37.8)	64.7 (36.3)	65.4 (36.2)	65.9 (35.1)	62.5 (35.1)

(得点第3五分位層)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東 北 圏	63.6 (41.4)	63.8 (41.7)	65.1 (42.1)	64.4 (44.0)	59.8 (42.6)	60.9 (42.9)	64.0 (44.5)	64.2 (44.2)
関 東 圏	72.0 (37.7)	69.6 (39.1)	70.1 (37.7)	71.1 (37.2)	70.6 (37.1)	68.2 (36.5)	67.2 (36.0)	66.5 (34.0)
中 部 圏	49.4 (36.8)	52.7 (38.8)	51.3 (39.7)	54.6 (42.3)	56.0 (42.9)	54.9 (41.2)	54.2 (39.8)	55.3 (40.9)
東 海 圏	51.1 (37.9)	51.8 (36.7)	49.8 (36.0)	48.2 (35.3)	49.8 (34.8)	52.3 (35.1)	51.2 (34.6)	49.2 (34.0)
関 西 圏	66.3 (35.2)	66.1 (34.7)	68.1 (36.1)	70.3 (39.3)	68.0 (37.3)	65.5 (33.7)	62.7 (33.0)	66.0 (35.3)
中国・四国圏	62.9 (32.7)	65.3 (35.9)	66.6 (37.6)	67.0 (38.1)	65.1 (37.2)	68.0 (37.5)	66.5 (36.4)	66.8 (35.6)
九 州 圏	69.6 (39.0)	77.3 (44.6)	73.0 (42.6)	73.0 (44.0)	72.6 (42.9)	68.6 (40.2)	70.6 (41.0)	67.0 (41.1)

(得点第5五分位層)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東 北 圏	58.1 (29.4)	53.1 (29.0)	55.5 (28.6)	54.6 (27.8)	52.0 (26.1)	52.6 (26.1)	50.1 (25.1)	51.4 (24.7)
関 東 圏	68.2 (40.2)	70.1 (42.6)	72.4 (43.0)	73.6 (43.8)	71.8 (41.4)	70.6 (41.0)	72.7 (41.5)	72.1 (40.3)
中 部 圏	31.9 (20.2)	31.7 (21.5)	29.4 (20.5)	26.8 (17.8)	28.0 (19.0)	25.1 (18.0)	26.8 (18.4)	25.4 (17.3)
東 海 圏	49.6 (34.8)	49.0 (36.2)	53.2 (38.6)	53.0 (40.4)	52.9 (39.2)	52.0 (37.8)	52.1 (36.9)	52.1 (36.9)
関 西 圏	73.8 (32.9)	75.4 (34.5)	76.1 (32.9)	77.1 (33.9)	76.9 (32.9)	76.6 (32.4)	76.8 (32.3)	78.3 (34.5)
中国・四国圏	39.1 (21.1)	39.0 (22.5)	36.8 (22.6)	33.3 (19.6)	32.9 (20.2)	31.1 (17.6)	32.5 (18.7)	30.6 (17.2)
九 州 圏	56.1 (29.6)	56.6 (31.2)	54.3 (29.9)	51.0 (28.2)	53.9 (29.4)	52.1 (29.0)	50.0 (27.9)	49.4 (27.7)

ていくことにする。(参考として巻末の付表に、昭和54年度について、第2章に示した図表と同じ集計をした図表を載せておく。)

(1)自ブロック内志願率

表2-5は、昭和54年度から昭和61年度までの、自ブロック内志願率(出身県と同じブロックにある大学への志願率)の変化をみたものである。表中の()には自県内志願率(出身県内にある大学への志願率)が示してある。

関東ブロックと東海ブロックで、自県内志願率の微減傾向がみられる。共通1次得点階層別にみれば、これは主に得点第1五分位層と得点第3五分位層での傾向である。付表A-3で詳しくみていくと、このような傾向は、関東ブロックでは東京以外の諸県、東海ブロックでは愛知県一県の傾向であることが分る。この両ブロックを除けば、どのブロックどの得点階層をとっても、自ブロック内志願率・自県内志願率は、2～3%の幅での上下動がみられる他に、これといって顕著な傾向はみてとれない。この年度間では、自ブロック内志願率と自県内志願率とともに、比較的安定していたものと考えられる。

(2)各地方の中心都市への志願率

つぎに、表2-6で、同じ地域ブロック内でも、各地方の中心都市への志願率の動向についてみてみよう。

東海ブロックの得点第1,第3五分位層で、愛知への志願が減少している。この点も付表A-5で確かめれば、このような傾向は東海3県に共通したものであることが分る。それ以外のブロックでは、ここでも、数パーセントの増減がみられるだけで、大きな変動はみられない。各地方の中心都市への志願率も、昭和54年度から昭和61年度までは、時系列的に安定していたといえよう。

(3)東京への志願率

それでは、東京への志願についてはどうだろうか(表2-7)。各地域ブロックからの東京への志願率もやはり、時系列的にはジグザグしている。しかし、これをならすと、どのブロックでも、そしてどの得点階層でも、大方の傾向として、微細ながら増加傾向がみられる。

表2-6. 地域ブロックの中心都市への志願率
 (全体)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東 北 圏	15.6	17.8	16.4	15.8	14.6	16.4	16.3	16.4
東 海 圏	34.4	34.6	34.8	33.8	31.2	30.2	29.0	29.2
関 西 圏	33.7	33.6	32.7	33.0	32.7	31.3	30.2	29.5
	12.3	12.6	13.3	13.6	14.4	15.0	14.3	13.8
九 州 圏	22.9	24.8	24.3	23.0	23.1	22.6	19.9	20.9

(得点第1五分位層)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東 北 圏	12.1	21.6	15.7	13.4	12.2	15.0	12.4	12.5
東 海 圏	34.8	32.9	30.8	28.7	24.4	25.6	23.8	23.9
関 西 圏	27.3	26.5	23.3	20.8	19.5	18.3	19.0	18.1
	14.9	16.3	17.4	17.8	19.4	20.2	17.9	16.8
九 州 圏	22.6	23.7	24.0	20.0	20.1	19.3	18.8	21.1

(得点第3五分位層)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東 北 圏	9.7	9.6	10.6	10.3	10.2	11.1	12.8	12.0
東 海 圏	32.3	32.4	29.8	29.2	26.9	25.4	24.3	25.0
関 西 圏	33.9	34.0	33.0	34.4	33.4	28.6	26.5	25.5
	9.1	9.2	9.4	9.8	11.3	12.8	11.5	11.3
九 州 圏	19.4	22.1	23.2	21.5	20.3	19.9	16.8	17.1

(得点第5五分位層)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東 北 圏	38.6	32.7	34.3	34.7	33.3	34.8	33.7	35.0
東 海 圏	37.4	39.5	43.2	44.7	43.7	42.0	40.8	42.0
関 西 圏	36.4	36.6	36.0	37.9	37.6	38.8	39.7	41.0
	18.4	17.6	19.2	19.6	19.7	19.7	19.0	18.7
九 州 圏	31.8	32.4	30.0	30.9	32.6	32.3	27.1	28.7

注) ここでの地域ブロックの中心都市とは、東北圏では宮城県、東海圏では愛知県、関西圏では大阪府（上段）と京都府（下段）、九州圏では福岡県のことである。表2-9についても同様。

表2-7. 東京への志願率

(全体)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東北圏	6.6	7.1	7.4	7.8	7.3	7.7	7.3	7.3
関東圏	39.0	42.9	42.7	44.3	43.2	44.1	43.4	43.7
中部圏	9.0	10.6	10.9	11.4	10.5	10.9	10.8	10.6
東海圏	5.0	5.9	6.5	7.1	6.7	6.9	7.0	7.0
関西圏	3.1	3.9	4.0	4.3	4.2	4.1	3.9	4.1
中国・四国圏	5.9	6.6	6.9	7.2	7.2	7.3	6.9	7.1
九州圏	5.0	5.8	6.3	6.8	6.3	6.5	6.2	6.6

(得点第1五分位層)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東北圏	6.4	7.9	7.8	7.9	7.1	7.3	7.0	6.6
関東圏	43.5	49.0	49.8	51.1	47.9	50.0	47.1	47.1
中部圏	9.4	12.0	11.8	11.3	10.4	11.7	11.4	10.6
東海圏	6.0	7.2	8.5	9.3	9.0	9.9	11.0	10.6
関西圏	3.5	4.7	4.7	5.3	5.0	5.2	4.8	5.6
中国・四国圏	7.7	8.1	8.4	8.7	8.3	8.7	8.0	7.9
九州圏	5.2	6.6	6.1	6.4	6.8	6.9	5.9	6.8

(得点第3五分位層)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東北圏	4.8	4.4	4.9	4.5	4.9	4.7	4.0	4.2
関東圏	31.5	32.6	30.8	31.6	31.2	32.1	32.3	31.5
中部圏	5.5	6.1	6.5	6.2	6.4	5.8	5.6	5.3
東海圏	2.4	3.1	2.9	2.8	3.4	3.3	2.7	2.7
関西圏	1.5	1.9	1.9	1.9	2.2	2.1	2.0	1.6
中国・四国圏	3.2	3.1	2.9	3.2	3.4	3.1	2.7	3.1
九州圏	2.6	2.5	2.5	3.0	2.6	2.8	2.4	2.4

(得点第5五分位層)

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東北圏	13.1	14.4	15.7	18.2	17.3	19.6	18.6	19.4
関東圏	53.2	56.2	58.7	61.4	60.3	59.1	61.5	61.4
中部圏	17.8	20.8	23.7	25.4	23.6	24.1	24.6	24.7
東海圏	11.0	12.8	13.7	15.1	14.2	13.1	13.1	13.7
関西圏	6.9	7.9	8.3	8.7	7.9	7.5	7.6	7.5
中国・四国圏	12.6	15.5	15.5	16.1	16.0	16.1	15.4	16.5
九州圏	13.4	15.7	17.8	19.9	18.3	16.8	16.9	18.5

(4)合格者の動向

最後に、合格者についてみておこう。これについてもまず、表2-8で、各ブロック出身の全合格者に占める、出身ブロック内にある大学に合格した者の割合からみていこう。(なお、ここでの出身ブロックの構成県は、志願者のところで用いたものと同じものである。)

関東ブロックと東海ブロックでの、自県内志願率の減少傾向に対応するように、自県内

合格者率(各県出身の合格者に占める、自県にある大学に合格した者の割合)も、わずかではあるが減少する傾向がみられる。その他のブロックでは、東北ブロックのように、自県内合格者率が幾分上昇しているブロックもみられるが、全体としては、一定と考えてよかろう。

つぎに、合格者のうち、各地方の中心都市と東京にある大学に合格した者の比率をみて

表2-8. 合格者に占める地域ブロック内の大学での合格者

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東北圏	71.5 (44.7)	68.8 (42.3)	69.8 (43.9)	69.7 (45.3)	68.9 (45.7)	70.4 (46.9)	69.2 (46.1)	68.1 (44.9)
関東圏	71.9 (41.8)	70.0 (40.5)	70.7 (40.2)	69.9 (40.0)	69.4 (39.1)	67.8 (38.0)	68.9 (38.4)	67.7 (37.0)
中部圏	51.2 (39.7)	51.9 (39.6)	52.6 (40.7)	53.6 (41.4)	53.1 (41.4)	51.7 (40.4)	51.5 (40.2)	50.8 (39.1)
東海圏	57.8 (43.5)	57.1 (42.7)	53.7 (40.4)	55.2 (42.0)	54.9 (41.7)	53.7 (40.3)	54.8 (40.6)	53.7 (39.5)
関西圏	68.7 (34.6)	68.6 (34.9)	69.2 (34.4)	70.4 (36.4)	70.4 (35.7)	68.9 (34.2)	66.9 (32.5)	68.0 (33.1)
中国・四国圏	63.5 (38.2)	65.0 (39.4)	65.4 (40.1)	65.2 (39.6)	65.0 (39.5)	64.4 (38.9)	64.0 (37.7)	62.7 (36.2)
九州圏	75.0 (43.5)	75.3 (43.8)	73.7 (43.1)	72.5 (42.3)	73.2 (43.6)	71.5 (41.7)	70.3 (42.3)	69.5 (42.4)

表2-9. 合格者に占める各地域ブロックの中心都市所在大学での合格者

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東北圏	15.9	15.4	15.3	14.9	15.0	16.5	16.1	16.5
東海圏	39.3	38.8	36.0	37.2	37.1	35.3	36.1	35.2
関西圏	28.7	28.1	28.7	29.0	28.5	28.8	27.2	27.7
	14.9	14.6	15.2	14.7	15.2	14.6	14.6	15.3
九州圏	26.1	24.8	23.8	23.2	23.8	22.8	23.1	22.1

注) 表の見方については、表2-6の注参照。

表2-10. 合格者に占める東京の大学での合格者

昭和 出身ブロック	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
東北圏	5.6	5.5	5.0	5.4	5.1	5.4	5.2	5.4
関東圏	42.0	40.3	39.7	39.4	39.8	39.7	40.1	40.1
中部圏	9.3	9.2	9.0	9.1	9.1	8.8	8.7	8.9
東海圏	5.3	5.0	5.5	5.6	5.7	5.9	5.7	6.2
関西圏	4.1	4.0	4.2	4.0	4.1	3.9	3.9	4.1
中国・四国圏	5.7	5.8	5.5	5.5	5.6	5.6	5.4	5.7
九州圏	4.9	5.0	5.2	5.2	5.1	5.1	5.1	4.9

みよう。表2-9をみれば、東海3県からの愛知への志願の減少が、合格者率にも反映していることが分る。その他のブロックに顕著な動きはみられない。

表2-10の方に目を移すと、東京に向けての合格者の比率は、全ブロックで一定もしくは、年々減少していることがみてとれる。にもかかわらず、先にみたように東京へ志願する者はどのブロックでも増加していた。このことは、東京という大都市県にある大学では、合格可能性を越えて志願が増加していることを示している。

以上で指摘した、東海3県における愛知への志願率・合格者率の減少、或いは東京にある大学への志願率の増大と、東京へ向けての合格者率の減少等の原因が何であるのかについては、今後明らかにしていく必要がある。それらの傾向にしても、数字の上では、わずか数パーセントの動きを示したのみであった。全体として、昭和54年度から昭和61年度の間で、国公立大学受験生の地理的な志願動向は、安定していたものと考えられる。よって、昭和59年度を、受験機会が複数化される以前の時期の代表と見做して差し支えないものと考えられる。

第3章 昭和62年度の地理的志願動向

ここまで、受験機会が複数化される以前の、地理的な志願動向についてみてきた。複数受験制度の導入によって、以上でみてきた傾向にいかなる変化が起こったのかを比較検討するのが、本章の目的である。

第1に、今年度の複数化方式の下では、A、Bグループ分けは、ほとんどが大学別に行われた。従って、A、B2つのグループの大学・学部をもつ一部の県を除いて、同一県内にある学部を組み合わせ受検することは不可能

である。しかも、同じ県内にA、B両グループの大学・学部があったとしても、それらが同一学部系統に属する学部である場合は少ない。第2に、志望学部・学科、自分の学力を睨み合わせた合格可能性を考慮すれば、従来あまり顧みられなかった遠隔地域(県)にある大学が、併願大学として浮上してくることも考えられる。以上の点から、昭和62年度の複数化方式の下では、受験機会が1回の時と較べて、地元以外の県へ志願したり、従来あまり志願しなかった遠方の県にまで志願するといった、地理的流動性は増加しているものと考えられる。本章ではこの仮説を実証的に検証していくことにする。

3.1 各県の主な志願先県

まず、昭和62年度には、各県出身者の主な志願先県は、どのような県になったのかをみてみよう。表3-1は、国公立大学の全志願者について、その志願先を示したものである。この表は、昭和61年度以前のものとは異なり、志願票(延べ人数)を扱っていることに注意しておく必要がある。表では、各県出身者(実数)を分母にして、その5%以上の者が、少なくとも1回志願した県のみについて示してある。(従って、仮にこの比率を合計すれば、トータルは100%を越えることになる。)ここに列記された県は、昭和62年度において、昭和61年度以前の各県出身者の5%水準以上の規模の受験生が志願を行った県ということになる。昭和59年度には、各県出身者の5%以上の志願があった県(表2-1に列記されている県)は、平均すると1出身県当たり3.9県であった。これが、昭和62年度には、これと同じ規模以上の受験生の志願があった県は、1出身県当たり9.4県と2倍以上に増えている。このように、①各県出身者の5%以上という、受験生の規模(実数)からみると、昭

表3-1. 出身県別志願先県 (昭和62年度)

出身県	グループ	志願者数	総出願数	平均出願回数	1	2	3	4	5	6	7
1. 北海道	BA	15,500	27,434	1.77	北海道(61.1)	青森(6.4)	東京(6.3)				岩手
2. 青森	A	3,573	6,553	1.83	青森(32.0)	北海道(13.1)	岩手(11.7)	東京(6.7)	宮城(5.4)		秋田,山形,神奈川
3. 岩手	B	3,646	6,690	1.83	岩手(34.1)	青森(14.3)	宮城(8.8)	山形(7.5)	東京(6.5)		北海道,福島,秋田
4. 宮城	BA	5,427	9,953	1.83	宮城(29.8)	山形(11.2)	岩手(11.0)	東京(6.4)			福島,茨城,神奈川,群馬
5. 秋田	B	3,030	5,556	1.83	秋田(28.8)	青森(14.6)	山形(9.1)	東京(6.4)	宮城(6.2)		岩手,北海道,新潟
6. 山形	A	3,138	5,945	1.89	山形(35.5)	新潟(10.1)	岩手(6.6)	宮城(6.6)	東京(5.5)		秋田,茨城,群馬,北海道,山梨
7. 福島	AB	4,522	8,558	1.89	福島(21.6)	茨城(11.5)	東京(9.4)	宮城(8.4)	宮城(6.2)		岩手,新潟,千葉,群馬,神奈川,栃木,山梨
8. 茨城	BA	6,403	11,647	1.82	茨城(34.5)	東京(13.5)	栃木(5.7)	埼玉(5.1)			神奈川,千葉,長野,福島,山形,群馬
9. 栃木	A	4,183	8,124	1.94	栃木(20.9)	茨城(13.6)	東京(10.6)	群馬(7.5)			千葉,埼玉,新潟,神奈川,岩手,山形,宮城
10. 群馬	ABC	5,526	10,665	1.93	群馬(35.2)	東京(10.2)	茨城(8.6)	新潟(6.8)			神奈川,千葉,長野,山梨,埼玉
11. 埼玉	A	10,677	19,125	1.79	東京(28.9)	埼玉(20.1)	千葉(7.3)	茨城(6.0)	神奈川(5.8)	群馬(5.0)	
12. 千葉	B	12,094	21,472	1.78	東京(26.1)	千葉(20.9)	埼玉(8.7)	茨城(7.0)	神奈川(6.7)		長野
13. 東京	BAC	33,266	58,034	1.74	東京(43.6)	埼玉(9.5)	神奈川(9.5)	千葉(8.0)			茨城,京都
14. 神奈川	BA	17,075	29,524	1.73	神奈川(22.8)	東京(9.1)	山形(7.9)	長野(6.3)			千葉,茨城,長野,埼玉,京都
15. 新潟	BA	5,777	10,419	1.82	新潟(40.1)	東京(9.1)	山形(7.9)	長野(6.3)			群馬,石川,神奈川
16. 富山	B	5,011	9,714	1.94	富山(29.6)	石川(13.7)	東京(8.3)	長野(7.0)	新潟(6.7)		山梨,山形,大阪
17. 石川	AB	3,773	7,242	1.92	石川(29.5)	富山(21.2)	東京(8.1)				長野,大阪,新潟,愛知,神奈川,山梨
18. 福井	BA	2,685	5,474	2.04	福井(19.8)	石川(12.3)	東京(7.2)	富山(5.8)	大阪(5.8)	山梨(5.1)	京都,長野,兵庫,愛知,新潟,山形
19. 山梨	ABC	2,288	4,437	1.94	山梨(36.6)	東京(13.3)	茨城(6.8)				千葉,神奈川,長野,静岡,新潟
20. 長野	A	5,925	11,345	1.91	長野(27.2)	東京(13.3)	新潟(8.0)	茨城(5.2)	神奈川(5.1)	山梨(5.0)	千葉,愛知,群馬,富山
21. 岐阜	AC	6,520	13,054	2.00	岐阜(18.1)	愛知(16.0)	東京(6.8)	長野(5.2)			三重,静岡,滋賀,富山,山梨,茨城,群馬,福井,大阪
22. 静岡	BC	8,476	16,703	1.97	静岡(19.0)	山梨(12.8)	山梨(8.1)	長野(5.8)	神奈川(5.5)	愛知(5.5)	茨城,群馬,石川,千葉,大阪
23. 愛知	ABC	25,358	49,520	1.95	愛知(31.9)	三重(7.9)	岐阜(7.7)	東京(7.2)	長野(5.2)		静岡,大阪,山梨
24. 三重	B	4,668	9,181	1.97	三重(22.8)	愛知(15.3)	東京(7.6)	大阪(7.2)			長野,岐阜,京都,奈良,神奈川,山梨,兵庫
25. 滋賀	B	2,828	5,622	1.99	京都(14.9)	大阪(13.2)	滋賀(12.7)	兵庫(6.1)			東京,長野,愛知,石川,岐阜,福井,三重
26. 京都	AB	7,472	14,218	1.90	京都(28.4)	大阪(17.7)	兵庫(7.9)	東京(6.3)	滋賀(5.6)		長野
27. 大阪	ABC	27,889	56,466	2.02	大阪(34.7)	京都(12.1)	兵庫(12.0)				東京,和歌山,奈良,三重
28. 兵庫	AB	15,994	32,103	2.01	兵庫(22.6)	大阪(18.7)	京都(8.4)	東京(6.7)			徳島,岡山,鳥取
29. 奈良	A	3,455	7,073	2.05	大阪(28.6)	京都(13.2)	兵庫(10.4)	奈良(8.3)	東京(6.6)		三重
30. 和歌山	B	2,874	5,675	1.97	和歌山(20.8)	大阪(20.0)	兵庫(5.9)	東京(5.4)			京都,徳島,三重,奈良
31. 鳥取	B	2,250	4,481	1.99	鳥取(23.9)	島根(12.2)	大阪(6.8)	東京(6.7)	岡山(5.2)		山口,広島,兵庫,京都,山梨
32. 島根	AB	2,511	5,119	2.04	島根(23.3)	鳥取(8.3)	山口(8.1)	広島(7.7)	東京(5.5)		福岡,兵庫,岡山
33. 岡山	A	7,807	15,454	1.98	岡山(21.1)	香川(8.9)	大阪(6.1)	山口(5.5)	東京(5.2)		兵庫,高知,広島,愛媛,鳥取,徳島,島根,福岡
34. 広島	BA	9,147	17,776	1.94	広島(23.6)	山口(13.2)	東京(8.4)	大阪(5.8)	愛媛(5.4)		岡山,福岡,島根,兵庫,京都
35. 山口	AC	5,722	11,391	1.99	山口(27.1)	福岡(9.7)	広島(8.5)	大阪(6.7)			大阪,愛媛,岡山,大分,兵庫
36. 徳島	A	2,915	5,990	2.05	徳島(31.5)	香川(9.5)	高知(9.5)	大阪(5.5)	愛媛(5.1)		東京,兵庫,広島,山梨,山口
37. 香川	BA	3,612	7,310	2.02	香川(21.4)	徳島(8.7)	徳島(8.5)	大阪(7.4)	岡山(7.2)		広島,愛媛,京都,山口,神奈川
38. 愛媛	B	5,625	11,347	2.02	愛媛(24.0)	高知(11.3)	徳島(7.1)	大分(6.6)	大阪(5.1)		岡山,山口,兵庫,広島,福岡,香川
39. 高知	AB	1,969	3,596	1.83	高知(39.8)	東京(8.8)	愛媛(6.5)	大阪(5.3)			徳島,香川,兵庫,京都,神奈川
40. 福岡	AB	17,124	32,380	1.89	福岡(33.0)	山口(10.5)	熊本(7.5)	東京(6.4)	佐賀(6.4)		長崎,広島,鹿児島,宮崎,大分
41. 佐賀	B	2,736	5,206	1.90	佐賀(26.6)	福岡(17.3)	山口(10.3)	長崎(7.0)	熊本(5.7)		宮崎
42. 長崎	AB	6,073	11,977	1.97	長崎(23.1)	福岡(11.4)	佐賀(9.8)	山口(6.5)	熊本(5.6)		大分,沖縄,鹿児島
43. 熊本	BA	5,864	10,962	1.87	熊本(32.4)	福岡(15.1)	山口(5.8)	宮崎(5.7)	宮崎(5.2)		鹿児島,佐賀
44. 大分	BA	4,518	9,014	1.99	大分(21.7)	福岡(11.5)	山口(11.4)	高知(5.6)	熊本(5.5)		宮崎,沖縄,長崎
45. 宮崎	AB	4,645	8,922	1.92	宮崎(17.9)	鹿児島(11.5)	福岡(8.2)	沖縄(7.9)	熊本(5.6)		大分,佐賀,山口,高知,長崎
46. 鹿児島	B	6,216	11,658	1.88	鹿児島(31.0)	福岡(10.2)	東京(9.8)	沖縄(8.1)	宮崎(5.7)		山口,熊本,京都,大阪
47. 沖縄	AB	4,937	6,454	1.31	沖縄(81.2)						

注) 太字は、昭和59年度の5%以上の志願先県 (表2-1)

受験機会の複数化による地理的流動性
——昭和61年度以前の地理的志願動向との比較をとおして——

和61年度以前と比較して、今年度の志願の地理的な流動性は、大多数の県で増加したことが分かる。(しかも、昭和59年度と比較すると、昭和62年度の各県の国公立大学志願者数は、どの県でも増加している。従って、同じ5%水準でも、今年度の方が、志願者の実数は多いことになる。)

表中の比率は、各県から出た志願票の何割が、どの県にある大学に集中したかを示している。ここでも5%以上の集中度があった志願先のみについて、その志願率が示してある。

例えば、秋田県出身の国公立大学志願者は3,030人いた。かれらから国公立大学へ5,556の志願票が寄せられた。(秋田県出身の受験生の平均出願回数は、 $1.83=5556 \div 3030$ となる。)この志願票のうち、28.8%までが自県(秋田)への志願であった。以下、青森へ14.6%、山形へ9.1%、東京へ6.4%、宮城へ6.2%、さらに岩手、北海道、新潟と続く。

このように、②第一に自県、第二に近県、そして東京が大口の志願先になっているという傾向は以前と変わらない。

ただし、③志願票の流れからいえば、昭和59年度(表2-1)と比較して、自県の外へ向かう志願の流れは大きくなっている。このことは決して、自県にある大学を受けた者の、実数が減ったことを意味しない。

例えば、昭和59年度と比較して、自県内志願率が大幅に減った県の1つに、佐賀県があげられる。佐賀では、昭和59年度の自県内志願率は、42.3%であった。これが今年度、佐賀出身者から出された志願票のうち、佐賀にある大学に寄せられたものは、26.6%に激減している。しかし、実数をみると、昭和59年度に佐賀にある大学を志願した佐賀出身者は、992人(=2343×42.3%)であった。これが、昭和62年度には、延べ1,386人(=5206×26.6%)の佐賀出身者が、自県内にあ

る大学に志願したことになる。これは、昭和59年度の1.34倍の人数にあたる。

しかし、佐賀以外の県にある大学を受験した佐賀出身者は、昭和59年度には1,351人(=2343×57.7%)であった。これが、昭和62年度には延べ3,820人(=5206×73.4%)にもふくれあがっている。昭和59年度の2.83倍にもものぼる佐賀出身者が、佐賀以外の大学を受験したことになる。これを大学の立場に立ってみると、次のようなことになる。即ち、多くの大学では、今まで以上に自県出身者から志願票が寄せられた。しかし、自県出身者以上に他県出身者の志願票の提出がめざましかった。

このような意味からも、受験機会の複数化に伴い、自県という範囲を越えるといった方向での、地理的流動性が増したことが示唆される。

表中の「グループ」の欄には、各県にある大学・学部がA、B、Cいずれのグループに属しているかが示してある。2つ以上のグループの大学・学部を有する県では、A、B、Cは、各グループに属する学部数・定員の多い順に並べてある。表からは、④自県の大学がA(B)グループに属している場合は、近県の中でも、B(A)グループに属している大学がある県への志願率が増加していることがみてとれる。

一例として、Bグループに属する大学・学部しか有しない秋田県についてみてみよう。昭和59年度(表2-1)と比較すると、同じBグループの大学が中心である宮城(7.4%→6.2%)、岩手(5.3%→4.7%)への志願は減少している。しかし、同じ近県でも、Aグループに属する大学を有する、青森(9.8%→14.6%)、山形(4.5%→9.1%)への志願は上昇している。

表3-2. ブロック間流出率 (昭和62年度)

志願先 出身ブロック	東 北 ブロック	関 東 ブロック	中 部 ブロック	東 海 ブロック	関 西 ブロック	中国・四国 ブロック	九 州 ブロック	その他の 諸 県	計 (出願総数)	平均出願 回数(人)
東 北 ブロック	58.7 (29.8)	14.4	6.0	1.0	2.1	0.4	0.4	17.1	100.0 (43,255)	1.85 (23,336)
関 東 ブロック	3.7	67.1 (31.5)	7.3	2.3	5.9	1.7	1.3	10.7	100.0 (128,155)	1.76 (73,112)
中 部 ブロック	5.8	19.1	43.5 (26.4)	4.8	7.2	2.5	0.8	16.3	100.0 (61,143)	1.95 (31,390)
東 海 ブロック	3.5	10.8	16.9	45.3 (28.2)	10.3	4.6	1.3	7.4	100.0 (71,755)	1.96 (36,546)
関 西 ブロック	2.0	7.7	6.5	4.9	61.1 (27.5)	12.0	2.0	3.8	100.0 (121,157)	2.00 (60,512)
中国・四国 ブロック	1.3	10.0	3.2	2.2	13.6	57.6 (24.8)	7.5	4.6	100.0 (82,464)	1.98 (41,558)
九 州 ブロック	0.8	9.3	1.9	1.1	5.7	16.2	58.4 (28.4)	6.7	100.0 (90,119)	1.91 (47,176)

3.2 地域ブロックごとの地理的志願 パターン

それでは、地域ブロック間の志願者の動きは、どのように変わったのだろうか。この点を、表3-2 でみてみよう。なお、ここでは、昭和61年度以前の志願動向との比較のために、昭和62年度についても以前と同じ地域ブロックを用いることにした。

昭和62年度では、東北ブロック出身の国公立大学志願者数は23,336人であった。そして、東北ブロックから計43,255の志願票が、全国の国公立大学に提出された。(このブロックの平均出願回数は、 $1.85=43255 \div 23336$ 。)この43,255の志願票のうち、自ブロック(東北ブロック)内にある大学への志願は58.7%であった。(うち29.8%は、自県への志願。)よって、自ブロックを越えた志願は41.3%あったことになる。このうち、関東ブロックへの志願は14.4%、中部ブロックへの志願は6.0%であった。

以上の例からも分かるように、①どのブロックでも、大半の志願は自ブロック内の大

学へなされている。②自ブロックを越えた志願は、せいぜい隣のブロックまでである。③どのブロックからも、東京を中心とした関東ブロックへは、かなり大きな集中傾向がみられる。以上3点は、昭和61年度以前にもみられた傾向である。

しかし、さらに詳細にみていくと次の点に気付く。④動いた志願票の割合だけからいえば、自県への志願は相対的に減っているが、近県への志願は増加している。(例えば、昭和59年度の東北ブロック出身者の、自県を除く自ブロック内志願率は、 $23.7\%=63.7-40.0$ 。これが昭和62年度には、 $28.9\%=58.7-29.8$ に増加している。)⑤自県を含めた自ブロック内志願率が減少していることから示唆されるように、自ブロックを越えた志願も増加している。特に、九州ブロックから東北ブロックへ志願する者や、その逆の流れのように、距離的にはかなり遠い所へ志願する者の数も増えている。

つまり、第一に自県、第二に近県の範囲内での志願が多いという傾向は変わらないもの

表3-3. A・Bグループに属する大学への県別志願動向

出身県	A-Bグループ 大学志願者 数(人)	単願者		A-Bグループ 各1大志願者			単願者率 (a+b)	昭和58~ 61年度平 均自県志 願率(f)	「自県=他県」併願者 のうちわけ	
		自県	他県	自県 =自県	自県 =他県	他県 =他県			従来自県 (f-(a+c))	従来他県 (100-(f) -(b)+e)
		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)		(f)	(f- (a+c))	(100-(f) -(b)+e)
1. 北海道	14,422	27.3	6.0	25.1	26.8	14.9	33.3	72.7	20.3	6.4
2. 青森	3,452	13.4	12.2	—	44.1	30.4	25.6	41.3	27.9	16.1
3. 岩手	3,570	16.8	8.6	—	46.4	28.2	25.4	47.5	30.7	15.7
4. 宮城	5,254	12.6	14.6	7.9	26.9	38.1	27.2	41.1	20.6	6.2
5. 秋田	2,950	13.9	9.1	—	39.2	37.7	23.0	38.7	24.8	14.5
6. 山形	3,010	13.2	9.6	—	53.2	24.0	22.8	44.2	31.0	22.2
7. 福島	4,388	10.1	13.4	0.4	30.0	46.1	23.5	29.7	19.2	10.8
8. 茨城	6,173	16.9	11.1	3.3	39.2	29.5	28.0	51.7	31.5	7.7
9. 栃木	4,040	5.8	11.8	—	34.5	48.0	17.6	28.2	22.4	12.0
10. 群馬	4,983	10.2	13.8	3.7	32.8	39.5	24.0	47.0	33.1	▲0.3
11. 埼玉	10,115	8.1	24.0	—	28.1	39.9	32.1	23.3	15.2	12.8
12. 千葉	11,432	11.1	22.4	—	25.1	41.4	33.5	26.2	15.1	10.0
13. 東京	30,929	23.8	13.6	4.9	30.7	27.0	37.4	53.4	14.7	6.0
14. 神奈川	15,927	11.4	28.1	4.3	19.2	37.1	39.5	22.9	7.2	11.9
15. 新潟	5,374	20.8	9.1	2.0	45.0	23.1	29.9	56.3	33.5	11.5
16. 富山	4,779	13.8	6.4	—	41.1	38.7	20.2	42.0	28.2	12.9
17. 石川	3,620	8.0	11.7	0.2	46.5	33.6	19.7	32.5	24.3	22.2
18. 福井	2,553	5.3	8.5	0.3	30.8	55.1	13.8	31.0	25.4	5.4
19. 山梨	2,195	15.0	9.4	0.7	42.6	32.4	24.4	53.4	37.7	4.8
20. 長野	5,724	10.8	11.0	—	41.7	36.5	21.8	32.5	21.7	20.0
21. 岐阜	6,299	5.3	12.2	—	27.7	54.7	17.5	25.0	19.7	8.1
22. 静岡	8,178	5.6	12.7	—	28.6	53.1	18.3	30.7	25.1	3.5
23. 愛知	24,510	9.8	9.8	1.0	37.4	42.0	19.6	36.8	26.0	11.4
24. 三重	4,540	7.6	10.1	—	37.9	44.3	17.7	34.1	26.5	11.5
25. 滋賀	2,731	5.2	12.0	—	20.6	62.2	17.2	19.1	13.9	6.7
26. 京都	7,040	10.1	13.4	5.6	32.3	38.7	23.5	35.8	20.1	12.1
27. 大阪	25,440	8.1	11.8	3.7	35.5	40.9	19.9	41.6	19.8	5.7
28. 兵庫	14,986	4.5	12.9	6.3	26.8	49.6	17.4	26.9	16.1	10.6
29. 奈良	3,061	2.3	14.2	—	12.7	70.8	16.5	11.4	9.1	3.6
30. 和歌山	2,738	12.1	8.6	—	28.7	50.7	20.7	29.6	17.5	11.1
31. 鳥取	2,174	8.1	8.0	—	39.9	44.0	16.1	32.5	24.4	15.5
32. 島根	2,450	6.2	7.2	0.3	40.9	45.4	13.4	31.6	25.1	15.8
33. 岡山	7,529	7.8	9.7	—	33.3	49.2	17.5	24.2	16.4	16.9
34. 広島	8,899	6.4	12.6	5.5	28.3	47.2	19.0	30.2	18.3	10.0
35. 山口	5,473	6.3	11.2	—	37.3	45.3	17.5	36.5	30.3	7.0
36. 徳島	2,617	9.6	8.9	—	43.6	37.9	18.5	28.1	18.5	25.1
37. 香川	3,482	4.1	8.1	3.0	33.5	51.2	12.2	30.6	23.5	10.1
38. 愛媛	5,433	5.9	7.2	—	42.2	44.8	13.1	30.2	24.3	17.8
39. 高知	1,933	19.6	7.0	13.5	26.8	33.1	26.6	49.1	16.0	10.8
40. 福岡	16,724	13.3	9.5	7.9	33.3	36.1	22.8	40.7	19.5	13.7
41. 佐賀	2,671	15.5	10.4	—	34.9	39.1	25.9	42.0	26.5	8.5
42. 長崎	5,923	7.6	9.9	1.5	33.9	47.0	17.5	30.2	21.1	12.9
43. 熊本	5,750	10.4	12.9	7.0	36.6	33.2	23.3	37.4	20.0	16.5
44. 大分	4,370	8.0	11.3	0.4	34.8	45.5	19.3	29.5	21.1	13.7
45. 宮崎	4,590	4.1	11.3	0.3	29.8	54.5	15.4	26.8	22.4	7.4
46. 鹿児島	6,088	13.4	10.0	—	45.2	31.4	23.4	42.8	29.4	15.8
47. 沖縄	4,384	77.7	2.4	1.6	14.2	4.2	80.1	92.0	12.7	1.4
48. 全国	334,903	12.5	12.4	4.3	32.0	38.8	24.9			

も呼べるようなブロックが新たに形成されている。②山梨は今年度は中部ブロックに加わっている。③関東ブロックおよび、東海ブロック以西の地域ブロックは、以前と同じ県で構成されている。(このブロック分けによる、ブロック間の志願票の動きを、図A-2に示しておく。)

ここでみられたブロックは、昭和61年度以前の合格者についてのクラスター分析の結果とほぼ等しい。いかなる要因によるのかは不明だが、今年度の入試改革は、志願動向を今までの合格(入学)実績に対応させる方向に働いたものと考えられる。⁽⁷⁾

3.4 志願先県の組み合わせ

以上までは、各県・各地域ブロックから提出された、志願票の数(延べ人数)をもとに話を進めてきた。そこで得られた知見の解釈を容易にするためにも、志願者の実数をもとに分析を進めていくことにしよう。

それでは、受験生はどのような県と、どのような県を組み合わせ、志願したのだろうか。ここでは、自県、他県といった大まかな分類を用いた場合、志願者がどのような組み合わせで受験したか、についてみていくことにする。受験機会が複数化されたことによって、A、Bグループから各1大学を受験した者(A-B併願者)が多かった中で、1大学にしか志願しなかった者(単願者)もいる。ここでは、A-B併願者のみならず、単願者をも含めて、その志願動向をみていくことにした。

表3-3は、A、Bグループに属する大学への志願者(A、B志願者)のみ取り上げ、その志願動向をみたものである。(表3-1とは異なり、Cグループの大学への志願、A-A、B-Bといった、同一グループ内の志願を含まない。表3-5を除く以下の表についても同

様。)

自県にあるAもしくはBグループに属する1学部にしかな志願しなかった者(自県単願者)、A、Bグループから自県と自県という組み合わせで、1大学ずつを受験した者、および自県と他県という組み合わせを選んだ者を合計すると、少なくとも1回は自県の大学を志願した者の割合は、全国で48.8%(=12.5+4.3+32.0)となる。このような計算を行うと、過半数近くの受験生が、自県を志願の対象にしたことになる。以上のような意味での自県大学志願者の割合は、いずれの県でも、昭和61年度以前の自県内志願率を大きく上回っている。つまり、今年度のような制度下においても、大学を選択するに際して、自県という地理的範囲が大きな意味を持つことは、この表からも明らかである。

この表から、複数受験制度が導入されなかった場合に自県を志願したと思われる者が、どの程度「自県=他県」という組み合わせで併願するようになったのか、他県を志願した者が、どの程度自県と併願するようになったのか。この点について、一つの推計を行ってみよう。

例えば、高知県の自県単願者の割合(表中の①)は19.6%である。「自県(高知)=自県(高知)」という組み合わせで受験した者(②)は13.5%いた。よって、高知全体の33.1%(=19.6+13.5)の者が、仮に受験機会が複数化されなければ、自県(高知)を志願したものと推測される(①+②)。表には、昭和58年度から昭和61年度までの、各県の自県内志願率の平均が示してある(③)。高知では毎年49.1%の者が、自県を志願していたことになる。この自県への志願傾向が、昭和62年度についても当てはまると仮定しよう。⁽⁸⁾このような前提をおけば、複数受験制度が導入されなかった場合には、自県を受けていたと思わ

表3-4. 自県との併願県

出身県	自県一他県併願者数	1	2	3	4	5	6	7
1. 北海道	3857	青森 (31.4)	岩手 (14.5)	秋田 (8.4)	東京 (7.7)	茨城 (5.9)		
2. 青森	1521	北海道 (34.3)	岩手 (28.5)	秋田 (8.5)	宮城 (8.0)			
3. 岩手	1657	青森 (42.6)	山形 (19.0)	宮城 (12.7)	福島 (7.3)	栃木 (5.6)		
4. 宮城	1409	岩手 (27.7)	山形 (16.0)	神奈川 (7.2)	福島 (6.1)			
5. 秋田	1157	青森 (42.7)	山形 (25.4)	宮城 (6.3)				
6. 山形	1602	新潟 (27.1)	岩手 (18.3)	秋田 (11.9)	宮城 (11.0)	茨城 (8.8)	北海道 (7.6)	千葉 (5.2)
7. 福島	1316	茨城 (33.8)	岩手 (12.2)	新潟 (11.2)	千葉 (9.1)	宮城 (8.4)	山形 (5.9)	神奈川 (5.4)
8. 茨城	2422	栃木 (19.7)	福島 (13.6)	埼玉 (12.5)	東京 (11.7)	山形 (10.8)	長野 (8.9)	
9. 栃木	1393	茨城 (39.6)	岩手 (12.2)	千葉 (11.6)	新潟 (8.9)	東京 (6.4)		
10. 群馬	1638	茨城 (32.0)	新潟 (18.9)	東京 (10.4)	千葉 (9.6)	富山 (5.7)	神奈川 (5.1)	
11. 埼玉	2838	東京 (44.3)	千葉 (23.5)	茨城 (13.5)	神奈川 (6.7)			
12. 千葉	2867	埼玉 (34.1)	東京 (17.2)	長野 (9.8)	神奈川 (7.6)			
13. 東京	9512	埼玉 (26.1)	神奈川 (17.4)	京都 (15.7)	千葉 (8.0)	大阪 (5.7)		
14. 神奈川	2946	東京 (52.1)	埼玉 (7.9)	長野 (6.6)				
15. 新潟	2418	山形 (27.0)	長野 (20.4)	石川 (8.6)	東京 (7.6)			
16. 富山	1966	石川 (38.8)	長野 (22.6)	山形 (9.6)				
17. 石川	1684	富山 (58.4)	東京 (8.6)	新潟 (6.2)				
18. 福井	788	石川 (37.2)	長野 (12.7)	山梨 (7.4)	京都 (6.5)	岐阜 (5.5)		
19. 山梨	935	茨城 (21.4)	静岡 (11.9)	千葉 (11.8)	東京 (11.7)	新潟 (7.5)	神奈川 (7.4)	秋田 (6.1)
20. 長野	2386	新潟 (24.6)	東京 (14.5)	茨城 (12.9)	富山 (10.5)	千葉 (10.0)	神奈川 (7.8)	
21. 岐阜	1747	三重 (17.2)	滋賀 (16.5)	愛知 (16.4)	静岡 (12.5)	福井 (7.5)	富山 (6.5)	
22. 静岡	2337	山梨 (23.4)	長野 (15.6)	愛知 (10.2)	東京 (8.4)	石川 (6.2)		
23. 愛知	6973	三重 (18.9)	静岡 (14.2)	東京 (13.3)	岐阜 (12.3)	神奈川 (5.7)		
24. 三重	1720	愛知 (24.9)	岐阜 (13.8)	長野 (12.5)	奈良 (8.8)	大阪 (7.8)	京都 (5.5)	
25. 滋賀	562	京都 (34.9)	大阪 (20.1)	奈良 (8.4)	兵庫 (7.7)	岐阜 (5.7)		
26. 京都	2262	大阪 (29.3)	滋賀 (16.5)	東京 (16.1)	兵庫 (14.1)			
27. 大阪	9013	京都 (25.9)	兵庫 (13.5)	和歌山 (11.1)	東京 (7.8)	奈良 (7.4)	三重 (5.8)	
28. 兵庫	3836	大阪 (27.8)	京都 (9.0)	広島 (7.4)	東京 (6.9)	徳島 (6.3)		
29. 奈良	390	大阪 (36.9)	京都 (11.0)	滋賀 (10.8)	三重 (10.0)	和歌山 (7.2)		
30. 和歌山	786	大阪 (45.8)	奈良 (11.3)	兵庫 (8.4)	京都 (5.9)	徳島 (5.1)		
31. 鳥取	868	島根 (39.2)	岡山 (12.3)	徳島 (7.0)	山口 (6.0)			
32. 島根	1001	鳥取 (28.1)	広島 (17.0)	福岡 (8.0)	大阪 (5.4)			
33. 岡山	2509	香川 (26.7)	広島 (12.8)	愛媛 (11.8)	鳥取 (8.3)	兵庫 (6.7)	大阪 (6.4)	
34. 広島	2520	山口 (32.2)	岡山 (16.0)	大阪 (9.9)	福岡 (9.2)	兵庫 (6.5)	島根 (5.4)	
35. 山口	2042	広島 (21.2)	福岡 (15.0)	愛媛 (11.2)	大分 (8.7)	佐賀 (7.0)	鳥取 (5.0)	
36. 徳島	1142	香川 (24.1)	愛媛 (17.6)	高知 (14.7)	広島 (8.4)	兵庫 (5.5)		
37. 香川	1074	高知 (24.2)	岡山 (22.4)	徳島 (19.6)	大阪 (6.1)			
38. 愛媛	2290	高知 (30.3)	徳島 (20.0)	岡山 (15.4)				
39. 高知	517	愛媛 (26.3)	香川 (18.2)	徳島 (6.8)	大阪 (5.4)	東京 (5.2)		
40. 福岡	5561	熊本 (23.7)	佐賀 (11.5)	東京 (10.5)	広島 (10.4)	山口 (8.4)	長崎 (5.1)	
41. 佐賀	933	福岡 (28.2)	長崎 (21.1)	山口 (14.5)	宮崎 (9.3)	沖縄 (5.9)		
42. 長崎	2011	佐賀 (30.7)	熊本 (12.7)	福岡 (11.0)	大分 (9.6)	鹿児島 (5.9)	広島 (5.1)	
43. 熊本	2104	福岡 (40.5)	長崎 (15.0)	宮崎 (13.9)	山口 (9.8)			
44. 大分	1523	福岡 (15.4)	山口 (13.7)	高知 (13.6)	宮崎 (12.3)	沖縄 (8.9)	熊本 (6.6)	
45. 宮崎	1368	鹿児島 (33.8)	大分 (16.1)	熊本 (12.0)	佐賀 (9.6)			
46. 鹿児島	2751	沖縄 (23.4)	宮崎 (19.1)	福岡 (17.4)	山口 (5.9)	長崎 (5.5)		
47. 沖縄	619	鹿児島 (15.2)	茨城 (9.7)	東京 (9.0)	愛媛 (6.8)	福岡 (6.3)	熊本 (5.5)	

れる者（以下、従来の自県志願者と呼ぶ）のうち、今回の複数化制度の実施により他県を併願した者の数は、高知出身の受験生全体の16.0%（ $=49.1-33.1$ ）になるものと推計される。

同様に、他県単願者の割合（⑥）は7.0%である。また、「他県＝他県」という組み合わせで受験した者（④）は33.1%いた。よって、高知全体の40.1%（ $⑥+④；=7.0+33.1$ ）の者が、仮に受験機会が複数化されなければ、他県を志願したものと考えられよう（以下、このような受験生を、従来の他県志願者と呼ぶことにする）。高知の従来の他県志願率は、50.9%（ $=100-49.1$ ）である。よって、高知全体の10.8%（ $=50.9-40.1$ ）の者が、受験機会が複数化されたことによって、他県のみならず、自県にも志願するようになったものと推計される。

以上のような推計を、47都道府県について行なった結果、神奈川、岡山、徳島の3県を例外として、つぎのことが明らかになった。即ち、今回の複数受験制度の導入によって、従来の他県志願者のうち自県の大学をも志願の対象にするようになった者より、従来の自県志願者のうち他県の大学をも志願の対象にするようになった者の数の方が多かった。（神奈川では横浜国立大学のA・B分割入試、徳島では徳島大学総合科学部の新設が、この例外的現象の一因をなしているものと考えられる。）

このような意味でも、今回の受験機会複数化の導入によって、自県の範囲を越える方向での地理的流動性が増加したことが示唆される。

それでは、「自県＝他県」併願者は、自県の大学と、どのような県にある大学を組み合わせ、志願したのだろうか。表3-4は、A(B)グループで自県を志願した者が、どこの県に

あるB(A)グループと併願したのかを示したものである。ここでは、「自県＝他県」併願者の総数を100%として、5%以上の者が自県との組み合わせで併願した、大口併願県についてのみ表示しておいた。

例えば、Aグループに属する大学しか持たない愛媛県についてみれば、自県との組み合わせで最も多く選ばれたのは、高知である(30.3%)。以下、徳島(20.0%)、岡山(15.4%)と続く。このように、自県との組み合わせで選ばれたのは、専ら近県であったことがみてとれる。

先に表3-1で、自県への志願が減っているのに対し、自県にある大学が属する(A, B)グループと、異なるグループに属する大学が所在する近県への志願は増えていることを指摘した。表3-4でみたとおり、これは、複数受験制度が導入されなければ自県を志願していたと思われる者が、今回の複数受験制度の実施に伴い、「自県＝近県」という組み合わせで志願したためであった。このような事態は、今回のような複数化方式では当然のことと考えられる。なぜなら、自県にあるA(B)グループに属する大学を第1志望にする受験生は、他県にあるB(A)グループに属する大学を受験できる。しかし、他県にあるA(B)グループに属する大学を、第1志望にする受験生は、自県の大学がA(B)グループであれば、第2志望として自県の大学へ志願することはできないからである。

3.5 得点階層別にみた志願先

それでは、共通1次得点階層別に志願動向をみた場合、どのような傾向がみられるのだろうか。

(1) 受験していない教科得点の推計

ところで、今年度からは、以前のように、単純に志願者を共通1次試験の得点で5等分

するわけにはいかない。なぜなら、今回の改革によって、国公立大学の全学部・学科が必ずしも、共通1次の全教科を課さなくてもよいことになったからである。昭和62年度についていえば、このような大学・学部は全部で、29大学40学部あった。これらの学部の志願者で、5教科受験しなかった者（ただし各学部の指定教科は受験）の数は計17,134人（共通1次全受験者の4.7%）であった。これらの学部でも、ほとんどの志願者は、5教科全部を受験している。そこでここでは、全教科受験者以外の者の教科得点を、各学部ごとに、次のような方法で推計することにした。⁹⁾以下、共通1次で理科を課していない学部の場合を例にとって説明しよう。

(a)この学部の志願者で、全教科を受験した者について、教科別の平均値、標準偏差を求める。

(b)共通1次の理科を受験しなかった、この学部志願者個々について、国語・社会・数学・英語の共通1次得点を、(a)で求めた全教科受験者の平均値・標準偏差で、標準化得点に換算する。

(c)その4教科について、標準化得点の平均を求める。

(d)(c)で算出した標準化得点の平均を、(a)で求めた理科の平均値・標準偏差をもとに、得点に換算する。

(e)この受験生が、理科を課さない他の学部へも志願していた場合には、同様にその学部について、(a)から(d)の推計を行う。そして、2つの学部それぞれについて推計された理科の得点の平均を取ることにした。(各学部の指定教科は受験しているが、5教科受験しなかった者のうち、2つ以上の学部を志願した者の数は2,973人であった。)

(2)各県出身者の主な志願先県

さて、共通1次得点階層別にみた場合、昭和62年度の志願動向にはどのような傾向がみられるのだろうか。表3-5は、共通1次得点第1、第3、第5五分位層について、5%以上の志願先を示したものである。昭和62年度の各得点階層の合格率は、志願票総数を母数とすれば、得点第1、第2五分位層で数%、得点第3五分位層で約15%、得点第4五分位層で約30%、得点第5五分位層で約50%であった。

①得点第1、第3五分位層に関しては、昭和62年度でも、表3-1でみたのとほぼ同様の志願先県があがっている。②昭和62年度の場合も、得点第5五分位層では、その県が属する地方の中心都市（7大学所在県；宮城、愛知、京都、大阪、福岡）、及び東京が上位志願先となっている。これらの点は、昭和59年度（表2-2）の傾向と同じである。

しかし、昭和59年度と昭和62年度の、得点第5五分位層を比べると、つぎの点に気付く。

③その県が属する地方の中心都市（7大学所在県）への志願が、どの県でも下がっている。例えば、昭和59年度、福島県の得点第5五分位層に属する受験生の、26.5%が宮城へ志願していた。これが、昭和62年度には、福島出身のこの得点階層に属する受験生から寄せられた志願票のうち、宮城にある大学へ提出されたものは18.2%に過ぎなかった。（ただし、先述のように、実数が減った訳ではない。）

これに対して、④その県が属する地方の中心都市（7大学所在県）にある大学の（A・B）グループとは異なるグループに属する大学をもつ、別の地方の中心都市（7大学所在県）への志願が増加している。特に、昭和59年度と比較すれば、中部ブロック以東で、京都・大阪への志願が増加し、逆に東海ブロック以西で、東京への志願が増加している。

表3-5. 得点階層別出身県別志願先県

(1) 得点第1五分位層

(太字は、昭和59年度の5%以上の志願先県(表2-2))

出身県	1	2	3	4	5	6	7
1. 北海道	北海道(67.0)	青森(7.5)					
2. 青森	青森(37.9)	北海道(18.5)	岩手(11.4)	秋田(9.2)			
3. 岩手	岩手(46.2)	青森(16.5)	山形(7.9)				
4. 宮城	宮城(21.7)	岩手(16.8)	山形(16.1)	東京(6.3)	福島(5.9)		東京
5. 秋田	秋田(40.1)	青森(17.5)	山形(11.3)	北海道(5.1)	岩手(5.1)		東京 秋田,北海道,東京,福島 秋田,茨城,群馬
6. 山形	山形(45.0)	岩手(9.5)	秋田(7.5)	新潟(6.1)	北海道(5.9)		茨城,群馬,福島
7. 福島	福島(27.9)	茨城(13.9)	山形(11.7)	東京(7.9)	岩手(7.5)		秋田,新潟,群馬
8. 茨城	茨城(45.6)	東京(11.4)	栃木(7.2)	山形(5.3)			福島,群馬
9. 栃木	栃木(23.0)	茨城(14.3)	東京(11.9)	群馬(9.8)	山形(7.0)	岩手(5.7)	秋田,新潟
10. 群馬	群馬(44.6)	茨城(8.8)	東京(8.5)	新潟(7.4)			山形,長野
11. 東京都	東京都(27.0)	埼玉(22.9)	茨城(9.0)	群馬(7.1)			千葉,神奈川,栃木
12. 千葉県	千葉県(24.4)	千葉(21.3)	茨城(11.0)	埼玉(8.8)	神奈川(5.2)		長野,群馬
13. 東京都	東京都(44.3)	埼玉(10.8)	神奈川(9.3)	千葉(7.7)	茨城(5.5)		
14. 東京都	東京都(37.8)	神奈川(24.8)					茨城,長野
15. 新潟	新潟(47.6)	山形(13.3)	東京(6.3)	長野(6.0)			群馬
16. 富山	富山(47.2)	長野(8.5)	新潟(7.8)	山形(7.3)	石川(6.0)		東京,山梨
17. 富山	富山(30.2)	富山(25.2)					長野,新潟,東京
18. 福井	福井(27.4)	富山(7.2)	石川(7.0)	新潟(5.8)			山梨,京都,東京,長野,群馬
19. 山梨	山梨(44.4)	東京(11.5)	茨城(8.8)	長野(5.0)			秋田,新潟
20. 長野	長野(37.5)	新潟(10.3)	東京(9.3)	茨城(6.1)	富山(5.1)		群馬,山梨
21. 岐阜	岐阜(16.9)	愛知(10.6)	長野(7.3)	三重(5.9)	東京(5.5)	富山(5.4)	滋賀,茨城,福井,秋田,山梨,群馬,山形
22. 静岡県	静岡県(18.6)	愛知(12.6)	山梨(8.7)	長野(7.4)	山形(5.1)		茨城,群馬,秋田,愛知,神奈川
23. 愛知県	愛知(26.1)	三重(10.1)	長野(7.7)	岐阜(6.8)	東京(6.2)		山形
24. 三重	三重(30.7)	愛知(11.3)	東京(7.3)	長野(5.4)			岐阜,大阪,奈良
25. 滋賀	滋賀(19.6)	京都(12.5)	長野(7.0)	大阪(5.8)	福井(5.3)		岐阜
26. 京都	京都(30.2)	大阪(12.5)	滋賀(7.6)				長野,兵庫,東京,奈良
27. 大阪	大阪(28.2)	京都(10.5)	兵庫(8.2)	和歌山(6.4)			奈良,三重,東京
28. 兵庫県	兵庫(19.2)	大阪(12.5)	京都(7.7)	徳島(5.0)			鳥取,東京,山口,高知,長野
29. 奈良	奈良(17.6)	大阪(13.2)	奈良(12.8)	三重(7.6)			長野,兵庫,和歌山,東京
30. 和歌山	和歌山(32.2)	大阪(11.7)					東京,徳島,高知,山口,長野
31. 鳥取	鳥取(31.6)	鳥根(20.2)	山口(5.9)				福岡,高知,東京,徳島
32. 島根	島根(31.9)	鳥取(11.9)	山口(9.9)	福岡(6.2)			東京
33. 岡山	岡山(13.5)	香川(10.4)	山口(9.0)	高知(8.8)	鳥取(5.1)		福岡,徳島,東京,島根,愛媛,兵庫
34. 広島	広島(20.4)	山口(14.6)	愛媛(8.1)	東京(6.4)	島根(6.3)		福岡,高知,鳥取
35. 山口	山口(37.7)	福岡(11.9)	東京(5.4)				愛媛,島根,佐賀,大分,高知,鳥取
36. 徳島	徳島(36.2)	高知(16.9)	香川(12.0)				山口,愛媛
37. 香川	香川(34.6)	高知(15.2)	徳島(9.0)	東京(7.0)			山口,愛媛
38. 愛媛	愛媛(22.1)	高知(21.7)	山口(6.6)	徳島(5.8)			東京,福岡,香川
39. 高知	高知(62.5)	愛媛(6.4)	東京(5.7)				
40. 福岡	福岡(32.8)	山口(16.5)	佐賀(12.2)				宮崎,東京,大分,長崎
41. 佐賀	佐賀(39.2)	福岡(14.6)	山口(11.4)				沖繩,長崎,宮崎
42. 長崎	長崎(24.9)	山口(10.9)	山口(9.0)	福岡(8.6)	沖繩(7.8)	東京(5.9)	鹿児島,高知
43. 熊本	熊本(23.7)	福岡(15.0)	佐賀(7.9)	山口(7.4)	宮崎(6.7)	東京(6.3)	長崎,沖繩
44. 大分	大分(23.2)	福岡(13.2)	福岡(11.7)	沖繩(7.2)	高知(7.1)		宮崎,東京,長崎,佐賀
45. 宮崎	宮崎(18.1)	沖繩(16.4)	鹿児島(11.1)	福岡(7.6)			長崎,大分,山口,高知,東京,佐賀
46. 鹿児島	鹿児島(41.0)	沖繩(18.5)	福岡(5.9)	宮崎(5.5)			山口,東京
47. 沖繩	沖繩(91.8)						

(2) 得点第3五分位層

出身県	1	2	3	4	5	6	7
1. 北海道	北海道 (59.1)	青森 (7.3)	東京 (5.2)				群馬, 岩手
2. 青森	道森手 (32.3)	岩手 (14.1)	北海道 (12.8)				東京, 山形, 宮城, 群馬, 秋田, 山梨, 神奈川, 茨城, 千葉
3. 岩手	岩手 (36.1)	青森 (15.5)	山形 (8.7)	宮城 (8.3)			東京, 群馬, 福島, 山梨
4. 宮城	宮城田 (31.6)	岩手 (12.0)	山形 (10.8)	東京 (5.7)			福島, 神奈川, 茨城, 群馬, 山梨, 千葉
5. 秋田	秋田 (28.6)	青森 (16.1)	山形 (9.2)	岩手 (6.1)	東京 (5.4)	新潟 (5.3)	宮城, 群馬, 北海道
6. 山形	山形 (36.0)	新潟 (13.9)	岩手 (7.9)				群馬, 茨城, 東京, 秋田, 山梨, 宮城, 神奈川, 北海道, 千葉
7. 福島	福島 (23.6)	茨城 (13.0)	山形 (7.4)	東京 (6.9)	新潟 (6.1)	千葉 (5.8)	岩手, 宮城, 山梨, 栃木, 群馬, 神奈川, 埼玉
8. 茨城	茨城 (35.2)	東京 (10.9)	栃木 (6.7)	埼玉 (5.9)	千葉 (5.1)	神奈川 (5.1)	長野, 群馬, 福島, 山梨, 山形
9. 栃木	栃木 (24.1)	茨城 (16.1)	群馬 (8.5)	東京 (6.3)	新潟 (5.7)	千葉 (5.3)	岩手, 埼玉, 神奈川, 山梨, 山形
10. 群馬	群馬 (37.4)	茨城 (9.7)	東京 (7.7)	新潟 (7.5)	神奈川 (5.3)		山梨, 千葉, 長野, 埼玉
11. 埼玉	東京 (25.7)	埼玉 (23.0)	千葉 (8.8)	神奈川 (6.5)	茨城 (6.0)	群馬 (5.4)	栃木
12. 千葉	千葉 (24.0)	東京 (22.9)	埼玉 (10.4)	神奈川 (7.8)	茨城 (6.6)		長野, 群馬
13. 東京	東京 (39.3)	神奈川 (11.9)	埼玉 (11.4)	千葉 (10.3)			茨城
14. 神奈川	東京 (33.0)	神奈川 (27.0)	千葉 (5.0)				埼玉, 長野, 茨城
15. 新潟	新潟 (44.2)	山形 (8.2)	長野 (7.4)	東京 (7.2)			群馬, 石川, 山梨, 神奈川
16. 富山	富山 (32.0)	石川 (12.3)	長野 (9.5)	新潟 (9.2)	山梨 (5.3)		東京, 群馬, 山形
17. 石川	石川 (30.4)	富山 (26.3)					東京, 長野, 山梨, 福井, 神奈川, 新潟, 大阪
18. 福井	福井 (21.8)	石川 (11.2)	富山 (7.7)	山梨 (7.2)	長野 (5.4)		新潟, 東京, 大阪, 群馬, 滋賀, 神奈川, 京都, 愛知, 岐阜, 兵庫, 静岡
19. 山梨	山梨 (40.3)	東京 (10.1)	茨城 (7.3)	神奈川 (5.3)	千葉 (5.1)		静岡, 長野, 新潟
20. 長野	長野 (28.9)	東京 (11.3)	新潟 (8.9)	神奈川 (6.4)	山梨 (6.1)	千葉 (5.6)	茨城 (5.3)
21. 岐阜	岐阜 (20.8)	愛知 (10.6)	長野 (6.4)	三重 (6.2)	静岡 (5.2)		山梨, 滋賀, 富山, 福井, 群馬, 東京, 茨城
22. 静岡	静岡 (21.9)	山梨 (11.3)	東京 (9.2)	神奈川 (7.0)	神奈川 (6.0)		茨城, 群馬, 愛知, 千葉, 石川
23. 愛知	愛知 (28.6)	三重 (10.2)	岐阜 (8.7)	長野 (6.7)	静岡 (5.5)		東京, 山梨, 神奈川, 群馬
24. 三重	三重 (26.3)	愛知 (11.1)	長野 (6.4)	大阪 (5.8)	岐阜 (5.3)	東京 (5.1)	奈良, 神奈川, 兵庫, 京都, 山梨
25. 滋賀	滋賀 (15.9)	京都 (13.9)	大阪 (9.7)				長野, 兵庫, 石川, 福井, 三重, 静岡, 愛知, 東京, 岐阜
26. 京都	京都 (25.6)	大阪 (17.9)	兵庫 (8.2)	滋賀 (5.2)			東京, 長野
27. 大阪	大阪 (36.6)	兵庫 (11.4)	京都 (9.7)				和歌山, 三重, 奈良, 東京, 長野
28. 兵庫	兵庫 (23.9)	大阪 (17.6)	京都 (5.0)				徳島, 岡山, 東京, 鳥取, 山口, 長野
29. 奈良	大阪 (27.9)	奈良 (10.5)	兵庫 (8.8)	京都 (7.8)	三重 (6.7)		長野, 東京, 愛知
30. 和歌山	和歌山 (24.4)	大阪 (18.7)	兵庫 (5.3)				徳島, 京都, 三重, 山口, 高知, 東京, 長野
31. 鳥取	鳥取 (26.7)	鳥根 (14.3)	山口 (6.0)	大阪 (5.9)	岡山 (5.3)		東京, 山梨, 兵庫
32. 岡山	鳥根 (26.9)	山口 (10.3)	山口 (9.3)	福岡 (5.3)			広島, 大阪, 山梨, 兵庫, 東京
33. 広島	岡山 (22.0)	香川 (10.9)	山口 (6.8)	高知 (5.3)	兵庫 (5.2)		鳥取, 大阪, 愛媛, 徳島, 島根, 山梨
34. 山口	広島 (24.9)	山口 (16.8)	愛媛 (7.0)	東京 (5.4)			岡山, 大阪, 福岡, 島根, 神奈川
35. 徳島	山口 (31.3)	福岡 (10.0)	愛媛 (6.5)	愛媛 (5.5)			東京, 大阪, 大分, 岡山, 佐賀
36. 香川	徳島 (35.7)	香川 (11.1)	高知 (8.6)	愛媛 (6.7)	山梨 (5.3)		大阪, 兵庫, 山口, 東京
37. 愛媛	香川 (26.9)	徳島 (11.7)	岡山 (7.9)	高知 (7.8)	愛媛 (5.7)		大阪, 東京, 兵庫, 山口, 神奈川, 広島, 山梨
38. 高知	愛媛 (27.9)	高知 (15.9)	山口 (5.0)	山口 (6.0)			東京, 香川, 岡山, 福岡, 大阪, 山梨
39. 福岡	高知 (43.2)	愛媛 (8.3)	香川 (5.5)	東京 (5.3)			徳島, 神奈川, 大阪
40. 佐賀	福岡 (31.7)	山口 (12.4)	熊本 (7.8)	佐賀 (7.3)			長崎, 鹿児島, 東京, 宮崎, 大分
41. 熊本	佐賀 (30.1)	福岡 (14.7)	山口 (12.3)	長崎 (9.9)	熊本 (5.2)		山梨, 宮崎, 東京
42. 鹿儿岛	長崎 (25.0)	佐賀 (12.4)	福岡 (9.6)	山口 (7.7)			熊本, 大分, 高知, 鹿児島, 山梨, 沖縄, 東京
43. 大分	熊本 (36.9)	福岡 (12.7)	宮崎 (6.4)	山口 (6.4)	長崎 (5.6)		鹿児島, 佐賀, 東京, 山梨
44. 宮崎	大分 (24.2)	山口 (13.6)	福岡 (9.6)	高知 (7.1)			熊本, 宮崎, 沖縄, 東京
45. 鹿児島	宮崎 (20.3)	鹿児島 (13.4)	沖縄 (6.6)	大分 (6.3)	福岡 (5.6)		佐賀, 熊本, 高知, 山口, 茨城, 東京
46. 沖縄	鹿児島 (37.1)	沖縄 (9.5)	福岡 (7.6)	宮崎 (7.0)	山口 (5.4)		東京, 熊本, 長崎
47. 沖縄	沖縄 (71.9)						

(注) ただし, 表2-2でみられた, 広島・大分から山梨への志願は, 本表では消えている。

(3) 得点第5五分位層

出身	県	1	2	3	4	5	6	7	
1. 北海道	道	北海道 (55.5)	東京 (12.5)						京都, 大阪, 青森, 宮城
2. 青森	森	青森 (18.6)	東京 (18.1)	宮城 (16.5)	北海道 (6.6)				京都, 神奈川, 石川, 埼玉, 岩手, 千葉, 秋田
3. 岩手	手	宮城 (23.5)	東京 (15.8)	青森 (7.9)	岩手 (7.0)	北海道 (5.1)	京都 (5.1)		山形, 埼玉, 愛知, 神奈川, 秋田, 石川, 栃木
4. 宮城	城	宮城 (39.9)	東京 (14.1)	宮城 (5.6)	山形 (5.3)				神奈川, 愛知, 埼玉
5. 秋田	田	宮城 (18.1)	東京 (13.7)	秋田 (12.2)	石川 (7.5)	青森 (5.4)	北海道 (5.1)		埼玉, 山形, 京都, 神奈川
6. 山形	形	宮城 (24.2)	山形 (23.1)	東京 (14.7)					新潟, 京都, 神奈川, 千葉
7. 福島	島	宮城 (18.2)	東京 (17.2)	福島 (10.1)	山形 (6.2)	茨城 (5.3)	京都 (5.0)		神奈川, 栃木, 埼玉, 千葉, 愛知
8. 茨城	城	東京 (23.1)	茨城 (16.4)	宮城 (7.6)	埼玉 (6.0)	千葉 (5.1)			京都, 愛知, 神奈川, 大阪, 北海道
9. 栃木	木	東京 (19.7)	栃木 (10.7)	宮城 (8.8)	茨城 (7.8)	京都 (5.9)	神奈川 (5.8)	埼玉 (5.4)	千葉, 愛知, 群馬, 石川, 北海道
10. 群馬	馬	東京 (21.1)	群馬 (18.5)	宮城 (5.5)	京都 (5.3)	千葉 (5.3)			神奈川, 愛知, 新潟, 茨城, 大阪, 石川, 北海道, 埼玉, 山梨
11. 埼玉	玉	東京 (40.5)	埼玉 (11.8)	京都 (7.6)					千葉, 宮城, 神奈川, 愛知, 大阪, 北海道
12. 千葉	葉	東京 (35.5)	千葉 (12.5)	京都 (9.4)	神奈川 (5.5)	埼玉 (5.4)			大阪, 宮城, 愛知, 茨城
13. 東京都	東	東京 (51.3)	京都 (10.3)	神奈川 (5.4)					埼玉, 千葉, 大阪, 愛知
14. 東京都	東	東京 (44.3)	神奈川 (14.0)	京都 (9.4)					大阪, 愛知, 宮城
15. 東京都	東	東京 (20.5)	新潟 (19.2)	宮城 (7.5)	石川 (7.2)	京都 (7.0)	神奈川 (5.6)		愛知, 長野, 埼玉, 茨城, 福井
16. 富山	山	石川 (18.7)	東京 (18.6)	富山 (12.8)	宮城 (7.8)	大阪 (7.5)	京都 (7.0)		愛知, 兵庫, 新潟, 神奈川, 長野
17. 石川	川	東京 (25.4)	大阪 (18.3)	富山 (8.5)	京都 (6.9)	大阪 (6.6)	愛知 (6.0)		宮城, 兵庫, 神奈川
18. 福井	井	石川 (14.5)	東京 (14.2)	石川 (12.6)	大阪 (10.7)	京都 (7.9)	兵庫 (6.4)	愛知 (5.9)	茨城, 神奈川, 富山, 宮城
19. 山梨	梨	東京 (23.1)	山梨 (19.8)	宮城 (6.3)	愛知 (6.1)	千葉 (5.7)	京都 (5.6)		神奈川, 長野, 静岡, 石川, 大阪
20. 長野	野	東京 (24.2)	長野 (13.4)	愛知 (8.5)	京都 (6.8)	宮城 (6.5)	千葉 (5.2)	神奈川 (5.1)	大阪, 石川, 山梨, 茨城, 新潟
21. 岐阜	阜	愛知 (30.0)	東京 (15.0)	岐阜 (12.2)	京都 (5.7)	大阪 (5.2)			静岡, 兵庫, 石川, 神奈川
22. 静岡	岡	愛知 (21.6)	静岡 (13.5)	大阪 (10.5)	大阪 (6.2)	京都 (5.6)	神奈川 (5.3)		宮城, 石川, 山梨, 長野, 千葉, 茨城, 兵庫
23. 愛知	知	愛知 (40.8)	東京 (14.5)	京都 (6.3)	岐阜 (5.5)	大阪 (5.5)			静岡, 宮城, 三重
24. 三重	重	愛知 (22.5)	東京 (15.8)	大阪 (12.3)	三重 (11.8)	京都 (8.8)			兵庫, 宮城, 岐阜, 神奈川
25. 滋賀	賀	京都 (21.1)	大阪 (20.5)	兵庫 (9.1)	東京 (8.3)	滋賀 (5.5)			愛知, 広島, 宮城, 石川, 北海道
26. 京都	都	京都 (32.9)	大阪 (20.4)	東京 (14.0)	兵庫 (9.3)				滋賀, 宮城
27. 大阪	阪	京都 (35.3)	京都 (18.2)	兵庫 (13.4)	東京 (9.2)				宮城, 広島
28. 兵庫	庫	大阪 (22.6)	兵庫 (21.1)	京都 (14.7)	東京 (14.2)				広島, 宮城, 岡山
29. 奈良	和	京都 (31.0)	京都 (18.8)	兵庫 (12.0)	東京 (12.0)	奈良 (5.1)			宮城, 愛知
30. 和歌山	歌	大阪 (26.8)	和歌山 (10.8)	東京 (10.5)	京都 (8.6)	兵庫 (8.5)			宮城, 愛知, 奈良, 静岡
31. 鳥取	取	東京 (14.7)	大阪 (12.9)	鳥取 (12.3)	広島 (9.7)	京都 (7.9)	岡山 (7.4)	兵庫 (7.0)	鳥根, 神奈川, 愛知, 山口
32. 島根	根	東京 (16.2)	東京 (13.0)	島根 (11.1)	大阪 (10.9)	京都 (7.4)	兵庫 (6.8)		岡山, 山口, 鳥取, 神奈川, 愛知
33. 岡山	山	大阪 (22.4)	大阪 (12.6)	東京 (11.6)	広島 (8.7)	京都 (6.3)	兵庫 (6.3)		香川, 愛媛, 神奈川
34. 広島	島	東京 (20.7)	東京 (17.7)	大阪 (13.2)	京都 (8.2)	兵庫 (5.3)	岡山 (5.3)		福岡, 山口, 神奈川
35. 山口	口	広島 (15.6)	東京 (12.8)	大阪 (12.4)	福岡 (12.4)	大阪 (8.4)	京都 (6.7)		兵庫, 岡山, 神奈川
36. 徳島	島	徳島 (18.0)	大阪 (14.5)	東京 (14.1)	広島 (9.3)	兵庫 (6.6)	京都 (6.4)		愛媛, 岡山, 神奈川, 香川
37. 香川	川	東京 (17.1)	大阪 (15.8)	兵庫 (9.6)	広島 (8.8)	京都 (7.9)	岡山 (7.4)	香川 (7.0)	徳島
38. 愛媛	媛	東京 (15.3)	愛媛 (14.9)	岡山 (11.6)	岡山 (7.4)	京都 (6.8)	兵庫 (6.8)	広島 (6.5)	福岡, 徳島
39. 高知	知	東京 (19.0)	高知 (15.0)	大阪 (13.1)	京都 (8.7)	兵庫 (6.8)			岡山, 徳島, 神奈川, 広島, 愛媛
40. 福岡	岡	福岡 (33.8)	東京 (14.8)	熊本 (9.8)	広島 (5.4)	大阪 (5.3)			京都, 山口, 神奈川
41. 佐賀	賀	福岡 (27.6)	東京 (14.3)	佐賀 (9.0)	熊本 (8.0)	広島 (7.2)	大阪 (5.2)		長崎, 山口, 兵庫
42. 長崎	崎	福岡 (17.1)	長崎 (17.0)	東京 (11.9)	熊本 (9.9)	広島 (6.4)			大阪, 佐賀, 京都, 山口, 神奈川, 鹿児島
43. 熊本	本	福岡 (29.1)	福岡 (20.4)	東京 (12.8)					長崎, 京都, 大阪, 山口
44. 大分	分	福岡 (15.0)	東京 (13.3)	大分 (12.3)	熊本 (8.5)	広島 (6.4)	大阪 (5.7)	山口 (5.2)	京都, 長崎, 宮崎, 岡山, 兵庫
45. 宮崎	崎	福岡 (14.8)	東京 (14.5)	宮崎 (14.2)	熊本 (10.1)	鹿児島 (6.1)			広島, 大阪, 京都, 大分, 神奈川
46. 鹿児島	島	東京 (23.8)	鹿児島 (16.5)	福岡 (15.7)	京都 (9.1)	大阪 (6.4)			熊本
47. 沖縄	縄	沖縄 (39.0)	東京 (9.8)	鹿児島 (6.9)					茨城, 山梨, 京都, 鳥取

(注) ただし, 表2-2でみられた, 山形から北海道, 佐賀から京都への志願は本表では消えている。

さらに、得点第5五分位層では、得点第1、第3五分位層とは異なる傾向を示す県がいくつかみられる。⑤得点第1、第3五分位層では、どの県でも、昭和59年度に比べて昭和62年度の方が、自県への志願票の流れは割合としては少なくなっていた。しかし、⑥岩手、山形、栃木、埼玉、神奈川、富山、長野、兵庫、島根、山口、愛媛、佐賀、大分、鹿児島、の14県では、昭和59年度と比較して、得点第5五分位層の自県への志願票の流れが、割合としても大きくなっている。

以上に示した、得点第5五分位層に関する、各地方の中心都市（7大学所在県）と、自県への志願傾向の特徴を、実数をもとに確認しておこう。

(3)各地方の中心都市への志願動向

まず、各地方の中心都市（7大学所在県）の志願動向からみていこう。各地方の中心都市いずれについても、程度の差はあれ、以下に示すとほぼ同様の傾向がみられたので、ここでは、一例として、得点第5五分位層の、東京への志願動向を示しておく(表3-6)。この表からは、先と同じ方法で推計を行なった結果、複数受験制度が導入されなかった場合には、出身県が属する地方の中心都市（7大学所在県）所在の大学に志願していたと思われる者の中には、複数化制度の実施によって、別の地方の中心都市にある大学をも志願の対象とするに至った者が、少なからずいたことがみてとれる。

例えば、岩手県の場合、仮に受験機会が複数化されなければ、東京を志願したと考えられる者(従来の東京志願者；東京単願者+「東京=東京」併願者)の割合は、5.3% (=3.5+1.8) である。ここでも、従来の東京への志願傾向(昭和58年度から昭和61年度までの岩手からの東京への志願率の平均,19.8%)が、昭

和62年度についても当てはまると仮定しよう。このような前提をおけば、従来の東京志願者のうち、今回の複数化制度の導入によって、東京以外の県へも志願したことになる者の割合は、岩手出身の受験生全体の14.5% (=19.8-5.3) と推計される。この数字は、昭和62年度の岩手の「東京=東京以外の県」併願者の割合とほぼ等しい。つまり、岩手では、従来の「東京以外の県」志願者のほとんどが、複数受験制度下においても東京を併願先として選ばなかったことになる。

岩手ほど極端ではないにしろ、このような傾向は、中部ブロック以東の県については、ほぼ同様にみられる。しかし逆に、東海ブロック以西の県では、従来の「東京以外の県」志願者の多くが、今回の複数化制度の導入によって、東京を併願県として選んだことがみてとれる。中でもこの傾向は、東海、近畿ブロック、及び徳島、香川、福岡、沖縄の諸県で一層顕著である。

(4)自県への志願動向

つぎに、自県への志願動向についてみてみよう。表3-7は、受験生の共通1次得点階層別に、表3-3と同様の表を作成したものである。ここでも、複数受験制度が導入されなかった場合に自県を志願したと思われる者が、今回の複数化制度の実施によって、どの程度「自県=他県」という組み合わせで併願するようになったのか、他県を志願した者がどの程度、自県と併願するようになったのか。この点についての推計を行ってみた。

①得点第1、第3五分位層の「自県=他県」併願者についてみると、ほとんどの県では、従来の他県志願者以上に、従来の自県志願者の数が多かったと推計される。

しかし、得点第5五分位層になると、事情は少し異なってくる。②青森、岩手、山形、

表3-6. 東京への志願動向 (得点第5五分位層)

出身県	東京単願者 (a)	A-Bグループ各1大学志願者		昭和58~61年度平 均東京への志願率 (d)	「東京=東京以外の県」併願者のうちわけ	
		東京=東京 (b)	東京=東京以外の県 (c)		従来東京 (e=d-(a)+(b))	従来東京以外の県 (c-e)
1. 北海道	2.8	1.1	12.9	13.1	9.2	3.7
2. 青森	3.4	3.2	19.2	21.4	14.8	4.4
3. 岩手	3.5	1.8	14.5	19.8	14.5	0.0
4. 宮城	4.7	1.3	13.1	15.3	9.3	3.8
5. 秋田	3.7	1.2	16.0	16.5	11.6	4.4
6. 山形	5.4	1.5	12.8	18.5	11.6	1.2
7. 福島	4.3	1.3	19.4	21.7	16.1	3.3
8. 茨城	5.4	1.8	29.7	29.0	21.8	7.9
9. 栃木	2.8	2.1	26.1	26.7	21.8	4.3
10. 群馬	5.2	1.4	28.4	25.8	19.2	9.2
11. 埼玉	12.9	4.9	42.3	50.6	32.8	9.5
12. 千葉	9.9	4.1	39.0	43.9	29.9	9.1
13. 東京都	21.8	6.8	44.1	69.1	40.5	3.6
14. 神奈川県	15.5	5.0	43.9	56.3	35.8	8.1
15. 新潟	2.7	1.8	24.2	24.7	20.2	4.0
16. 富山	2.4	1.0	30.7	28.0	24.6	6.1
17. 石川	4.1	1.0	27.7	20.9	15.8	11.9
18. 福井	0.4	0.9	23.4	15.2	13.9	9.5
19. 山梨	6.1	1.1	32.5	31.4	24.2	8.3
20. 長野	3.7	2.1	33.2	29.4	23.6	9.6
21. 岐阜	1.1	0.5	26.4	12.9	11.3	15.2
22. 静岡県	3.4	2.3	31.6	23.7	18.0	13.6
23. 愛知県	1.2	0.6	25.2	13.6	11.8	13.4
24. 三重	1.5	0.7	29.0	14.2	12.0	17.0
25. 滋賀	0.5	0.0	17.1	5.7	5.2	11.9
26. 京都	1.3	0.4	28.2	7.3	5.6	22.6
27. 大阪	0.6	0.2	21.5	4.9	4.1	17.4
28. 兵庫県	2.1	0.2	28.1	13.0	10.7	17.4
29. 奈良	1.2	0.2	27.7	6.6	5.2	22.5
30. 和歌山	0.7	0.5	19.6	8.8	7.6	12.0
31. 鳥取	1.0	1.5	24.2	15.5	13.0	11.2
32. 島根	1.0	0.6	22.4	14.9	13.3	9.1
33. 岡山	0.7	0.5	19.9	12.0	10.8	9.1
34. 広島	3.3	1.1	27.9	19.4	15.0	12.9
35. 山口	1.1	0.1	23.2	14.8	13.6	9.6
36. 徳島	1.4	0.4	26.2	11.2	9.4	16.6
37. 香川	1.9	1.0	29.0	15.1	12.2	16.8
38. 愛媛	1.9	0.8	25.5	19.5	16.8	8.7
39. 高知	3.2	1.5	27.7	19.2	14.5	13.2
40. 福岡	2.0	0.6	23.3	13.4	10.8	12.5
41. 佐賀	1.3	0.3	24.9	14.2	12.6	12.3
42. 長崎	0.7	0.8	19.0	13.9	12.4	6.6
43. 熊本	2.4	0.4	18.7	15.7	12.9	6.8
44. 大分	1.2	1.6	18.5	14.2	11.4	7.1
45. 宮崎	1.7	1.5	21.0	16.6	13.4	7.6
46. 鹿児島	4.6	2.0	34.3	33.0	26.4	7.9
47. 沖縄	1.7	0.0	13.7	8.4	6.7	7.0
48. 全国	5.3	1.9	28.2			

栃木、埼玉、神奈川、富山、長野、三重、兵庫、和歌山、鳥取、島根、山口、愛媛、高知、佐賀、長崎、大分、宮崎、鹿児島、の21県では、従来の自県志願者のうち他県を併願した者の数以上に、従来の他県志願者のうち自県を併願した者の方が多かったと推計される。

島根県を例にとつて、この点を確認しておこう。島根の場合、仮に受験機会が複数化されなければ、自県（島根）を志願したと考えられる者（従来の自県志願者；自県単願者＋「自県＝自県」併願者）の割合は、1.9%（ $=1.5+0.4$ ）である。従来の自県への志願傾向（8.4%）を考慮に入れば、従来の自県志願者のうち、今回他県を併願したことになる者の割合は、島根出身の受験生全体の6.5%（ $=8.4-1.9$ ）と推計される。

同様に、島根全体の77.4%（ $=2.9+74.5$ ）の者が、仮に受験機会が複数化されなければ、他県を志願したものと考えられる（従来の他県志願者；他県単願者＋「他県＝他県」併願者）。島根の昭和61年度以前の他県志願率は、91.6%（ $=100-8.4$ ）である。よつて、全体の14.2%（ $=91.6-77.4$ ）の者が、受験機会が複数化されたことによつて、他県のみならず、自県にも志願するようになったと考えられる。

つまり、島根では、複数化制度導入の結果、従来の他県志願者のうち自県にも志願するようになった者の比率は、従来の自県志願者のうち他県をも志願対象にするようになった者の2倍以上の比率となっている。

先に示した21県以外でも、「従来の他県志願者」：「従来の自県志願者」の比率は、他の得点階層に較べ、かなり大きくなつてゐる。（ただし、宮城・東京・愛知・福岡等の、もともと極めてこの得点階層の自県内志願率が高かつた、各地方の中心都市では、これと逆の傾向がみられる。）

それでは、自県以外のどのような県を志願していた者達が、自県の大学にも併願するようになったのだろうか。得点階層別に自県との併願県を調べた結果は、表3-4と大差なかつた。自県との併願県として、多くの受験生が選択したのは近県であつた。つまり、得点第5五分位層では、複数制度が導入されなかつた場合には、自県にある大学が属する（A、B）グループとは、反対のグループに属する大学がある近県を志願していたと思われる受験生が、今回の複数化制度の実施によつて、これらの近県と自県を組合わせて志願したことが示唆される。

(5)得点階層と地理的流動性

本節で明らかにしたように、得点第1、第3五分位層では、従来の自県志願者の多くが、今回の複数受験制度の導入に伴い、「自県＝近県」という志願パターンで受験していた。このような現象に伴つて、自県の範囲を越えて近県へ、という方向での地理的流動性が増していた。これに対し、得点第5五分位層では、全国の約半数に当たる県で、逆の現象が生じた。従来の近県志願者が、今回の複数受験制度の実施によつて、「自県＝近県」という志願パターンを取り、少なくとも志願段階では、自県の大学をも対象にするようになったのである。

このように考えると、学力（共通1次得点）上位者の方が、そうでない者より、地元（自県）という範囲を越えるといった意味での地理的な流動性は、活性化しなかつたといえよう。しかし、一方で、得点第5五分位層では、近県の範囲内にある各地方の中心都市（7大学所在県）を越えて、他の地方にある中心都市（7大学所在県）へ、という方向での地理的流動性が増していた。

表3-7. A・Bグループに属する大学への県別志願動向

(1) 得点第1五分位層

出身県	単願者		Aグループ 各1大学志願者			単願者率	昭和58～ 61年度平 均自県内 志願率	「自県＝他県」併願者 のう ち わ け	
	自 県	他 県	自県 ＝自県	自県 ＝他県	他県 ＝他県			従来自県	従来他県
	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(a)+(b)	(f)	$\frac{f}{(a+c)}$	$\frac{100-f}{-(b+e)}$
1. 北海道	49.1	9.4	12.5	21.3	7.8	58.5	79.1	17.5	3.7
2. 青森	22.2	22.7	—	37.5	17.7	44.9	48.3	26.1	11.3
3. 岩手	33.6	13.4	—	39.5	13.6	47.0	57.7	24.1	15.3
4. 宮城	14.2	28.5	2.7	16.4	38.2	42.7	35.4	18.5	▲2.1
5. 秋田	26.1	16.2	—	38.6	19.1	42.3	51.7	25.6	13.0
6. 山形	30.6	14.8	—	42.7	12.0	45.4	52.7	22.1	20.5
7. 福島	18.4	24.5	0.0	27.3	29.9	42.9	32.9	14.5	12.7
8. 茨城	31.6	20.6	2.5	33.8	11.6	52.2	60.6	26.5	7.2
9. 栃木	13.1	29.6	—	25.2	32.1	42.7	30.8	17.7	7.5
10. 群馬	21.4	27.4	4.5	23.6	23.1	48.8	57.0	31.1	▲7.5
11. 埼玉県	16.0	43.5	—	17.4	23.2	59.5	25.8	9.8	7.5
12. 千葉	15.5	41.5	—	16.4	26.6	57.0	23.0	7.5	8.9
13. 東京都	38.4	23.0	2.4	16.2	20.1	61.4	56.2	15.4	0.7
14. 神奈川県	17.3	47.4	3.9	10.7	20.7	64.7	20.5	▲0.7	11.4
15. 新潟	32.2	18.3	2.2	36.3	10.9	50.5	62.5	28.1	8.3
16. 富山	40.5	14.8	—	29.4	15.4	55.3	53.0	12.5	16.8
17. 石川	21.4	30.3	0.4	25.5	22.4	51.7	30.4	8.6	16.9
18. 福井	20.3	23.3	0.0	21.6	34.8	43.6	35.4	15.1	6.5
19. 山梨	31.4	18.4	0.7	31.1	18.4	49.8	58.6	26.5	4.6
20. 長野	25.3	19.4	—	37.0	18.3	44.7	44.1	18.8	18.2
21. 岐阜	9.7	30.5	—	19.6	40.1	40.2	19.9	10.2	9.5
22. 静岡県	12.1	33.4	—	17.7	36.7	45.5	25.8	13.7	4.1
23. 愛知県	16.0	27.9	2.5	14.9	38.7	43.9	31.4	12.9	2.0
24. 三重	20.3	22.4	—	32.7	24.6	42.7	42.9	22.6	10.1
25. 滋賀	15.4	30.5	—	16.5	37.7	45.9	18.9	3.5	12.9
26. 京都府	21.2	25.3	3.9	19.2	30.5	46.5	42.3	17.2	1.9
27. 大阪府	14.0	28.6	2.6	24.0	30.8	42.6	29.2	12.6	11.4
28. 兵庫県	9.5	33.6	6.1	13.9	37.0	43.1	27.7	12.1	1.7
29. 奈良	4.6	35.8	—	16.1	43.6	40.4	14.1	9.5	6.5
30. 和歌山	28.7	21.6	—	22.8	27.0	50.3	44.0	15.3	7.4
31. 鳥取	19.2	20.5	—	35.3	24.9	39.7	41.5	22.3	13.1
32. 島根	15.5	20.6	0.0	42.2	21.7	36.1	37.0	21.5	20.7
33. 岡山	10.3	28.6	—	13.4	47.7	38.9	14.8	4.5	8.9
34. 広島	12.8	29.2	4.3	13.4	40.3	42.0	26.8	9.7	3.7
35. 山口	16.6	28.2	—	28.2	27.1	44.8	41.9	25.3	2.8
36. 徳島	22.0	18.7	—	34.0	25.3	40.7	24.0	2.0	32.0
37. 香川県	13.7	24.4	13.3	26.9	21.8	38.1	37.6	10.6	16.2
38. 愛媛	11.4	24.4	—	28.2	36.0	35.8	28.2	16.8	11.4
39. 高知県	44.9	10.9	15.2	18.5	10.5	55.8	75.4	15.3	3.2
40. 福岡	28.1	24.5	4.4	17.2	25.7	52.6	38.0	5.5	11.8
41. 佐賀	35.6	21.2	—	26.8	16.4	56.8	55.6	20.0	6.8
42. 長崎	15.5	28.5	3.6	20.1	32.3	44.0	31.5	12.4	7.7
43. 熊本	17.3	34.6	2.9	14.7	30.5	51.9	30.8	10.6	4.1
44. 大分	18.7	30.1	0.3	20.5	30.4	48.8	25.0	6.0	14.5
45. 宮崎	11.2	27.2	0.0	16.5	45.0	38.4	26.8	15.6	1.0
46. 鹿児島	29.6	21.0	—	35.8	13.7	50.6	42.2	12.6	23.1
47. 沖縄	89.9	2.1	2.1	5.0	0.9	92.0	95.9	3.9	1.1
48. 全国	26.0	26.2	2.8	20.5	24.6	52.2			

(2) 得点第3五分位層

出身県	単願者		Aグループ志願者			単願者率 (a+b)	昭和58～ 61年度平 均自県内 志願率 (f)	「自県=他県」併願者 のうちわけ	
	自県 (a)	他県 (b)	自県 =自県 (c)	自県 =他県 (d)	他県 =他県 (e)			従来自県 (f) (a+c)	従来他県 (100-f) -(b+e)
1. 北海道	18.7	5.2	28.2	31.3	16.5	23.9	69.7	22.8	8.6
2. 青森	10.1	9.6	—	48.7	31.6	19.7	45.3	35.2	13.5
3. 岩手	10.1	5.7	—	61.6	22.7	15.8	52.4	42.3	19.3
4. 宮城	10.6	8.7	11.4	28.9	40.4	19.3	40.3	18.3	10.6
5. 秋田	10.9	4.6	—	44.8	39.7	15.5	37.8	26.9	17.9
6. 山形	9.5	5.5	—	61.2	23.9	15.0	52.0	42.5	18.6
7. 福島	8.3	8.5	0.6	36.8	45.9	16.8	35.8	26.9	9.8
8. 茨城	13.2	7.3	3.7	46.5	29.4	20.5	56.9	40.0	6.4
9. 栃木	4.9	8.6	—	42.2	44.3	13.5	38.1	33.2	9.0
10. 群馬	8.7	8.8	4.7	39.1	38.7	17.5	49.3	35.9	3.2
11. 埼玉県	7.4	16.7	—	36.1	39.8	24.1	31.9	24.5	11.6
12. 千葉県	11.4	16.8	—	31.9	40.0	28.2	32.3	20.9	10.9
13. 東京都	17.7	13.2	4.6	32.5	32.0	30.9	41.8	19.5	13.0
14. 神奈川県	11.0	22.4	7.3	23.7	35.7	33.4	30.0	11.7	11.9
15. 新潟	19.2	5.7	2.6	55.3	17.2	24.9	63.4	41.6	13.7
16. 富山	9.4	4.7	—	52.4	33.5	14.1	54.2	44.8	7.6
17. 石川	6.8	8.4	0.1	51.9	32.8	15.2	32.3	25.4	26.5
18. 福井	4.9	8.3	0.0	34.4	52.4	13.2	37.6	32.7	1.7
19. 山梨	12.0	7.0	0.7	52.1	28.2	19.0	64.4	51.7	0.4
20. 長野	7.4	9.3	—	49.7	33.6	16.7	35.5	28.1	21.6
21. 岐阜	5.9	8.9	—	34.4	50.8	14.8	32.7	26.8	7.6
22. 静岡県	5.3	9.1	—	36.6	49.0	14.4	38.0	32.7	3.9
23. 愛知県	10.2	6.8	8.3	27.6	47.2	17.0	33.3	14.8	12.7
24. 三重	6.2	7.7	—	47.1	39.0	13.9	44.2	38.0	9.1
25. 滋賀	5.1	8.9	—	27.0	59.0	14.0	27.0	21.9	5.1
26. 京都	6.8	11.4	6.3	30.8	44.8	18.2	31.5	18.4	12.3
27. 大阪	8.8	8.7	5.5	39.6	37.4	17.5	40.6	26.3	13.3
28. 兵庫県	4.1	10.2	8.9	27.5	49.3	14.3	31.8	18.8	8.7
29. 奈良	2.6	13.8	—	14.5	69.1	16.4	15.9	13.3	1.2
30. 和歌山	12.3	6.1	—	34.2	47.6	18.4	34.5	22.2	11.8
31. 鳥取	5.8	6.0	—	49.0	39.2	11.8	36.2	30.4	18.6
32. 島根	6.3	5.2	0.0	50.2	38.3	11.5	44.9	38.6	11.6
33. 岡山	8.5	6.8	—	35.0	49.7	15.3	20.6	12.1	22.9
34. 広島	5.5	9.1	7.8	28.4	49.3	14.6	32.0	18.7	9.6
35. 山口	5.0	10.0	—	46.6	38.4	15.0	50.9	45.9	0.7
36. 徳島	6.0	5.0	—	55.4	33.6	11.0	32.4	26.4	29.0
37. 香川	2.2	4.9	6.4	43.3	43.3	7.1	39.9	31.3	11.9
38. 愛媛	7.4	5.9	—	49.5	37.3	13.3	44.8	37.4	12.0
39. 高知	13.7	4.7	18.9	32.8	29.9	18.4	49.2	16.6	16.2
40. 福岡	11.6	6.4	8.7	31.7	41.7	18.0	38.7	18.4	13.2
41. 佐賀	12.8	8.2	—	46.4	32.5	21.0	50.3	37.5	9.0
42. 長崎	7.1	8.5	2.1	37.7	44.7	15.6	32.9	23.7	13.9
43. 熊本	11.2	6.4	10.5	40.2	31.7	17.6	37.2	15.5	24.7
44. 大分	6.8	9.0	0.4	42.2	41.6	15.8	42.7	35.5	6.7
45. 宮崎	3.3	7.5	0.2	37.1	51.9	10.8	35.0	31.5	5.6
46. 鹿児島	13.8	7.0	—	57.7	21.6	20.8	62.2	48.4	9.2
47. 沖縄	56.6	2.3	0.2	30.9	10.0	58.9	85.5	28.7	2.2
48. 全国	10.1	9.2	4.8	37.1	38.8	19.3			

(3) 得点第5五分位層

出身県	単願者		A各1B大学志願者			単願者率	昭和58~61年度平均自県内志願率	「自県=他県」併願者のうちわけ	
	自県	他県	自県=自県	自県=他県	他県=他県			従来自県	従来他県
	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(a)+(b)	(f)	$\frac{(1)-(f)}{(a)+(c)}$	$\frac{(100-(1))}{-(b)+(e)}$
1. 北海道	12.7	4.6	34.3	25.2	23.2	17.3	65.1	18.1	17.1
2. 青森	3.7	7.3	—	34.8	54.2	11.0	19.6	15.9	18.9
3. 岩手	1.8	11.0	—	12.7	74.6	12.8	5.8	4.0	8.6
4. 宮城	14.6	7.2	11.1	38.8	28.2	21.8	54.5	28.8	10.1
5. 秋田	4.7	8.6	—	19.7	67.0	13.3	19.1	14.4	5.3
6. 山形	2.8	15.6	—	42.3	39.2	18.4	17.9	15.1	27.3
7. 福島	1.3	7.4	0.8	18.3	72.2	8.7	15.8	13.7	4.6
8. 茨城	3.1	8.3	1.9	24.1	62.7	11.4	21.7	16.7	7.3
9. 栃木	0.6	5.7	—	21.8	71.9	6.3	6.2	5.6	16.2
10. 群馬	1.6	8.4	0.5	28.6	61.0	10.0	20.9	18.8	9.7
11. 埼玉	0.7	17.1	—	23.7	58.6	17.8	3.4	2.7	20.9
12. 千葉	4.4	13.9	—	18.2	63.5	18.3	16.0	11.6	6.6
13. 東京都	21.8	3.4	6.8	44.1	23.9	25.2	69.1	40.5	3.6
14. 神奈川県	3.2	18.0	2.2	18.5	58.1	21.2	11.7	6.3	12.2
15. 新潟	8.3	6.5	0.1	28.6	56.6	14.8	27.9	19.5	9.0
16. 富山	0.8	3.5	—	26.1	69.6	4.3	10.5	9.7	16.4
17. 石川	3.4	5.7	0.0	45.3	45.7	9.1	30.3	26.9	18.3
18. 福井	1.0	3.2	0.9	26.4	68.6	4.2	15.5	13.6	12.7
19. 山梨	0.8	7.9	1.1	31.5	58.7	8.7	23.5	21.6	9.9
20. 長野	0.9	6.0	—	27.4	65.8	6.9	12.5	11.6	15.7
21. 岐阜	1.6	4.8	—	17.2	76.4	6.4	17.9	16.3	0.9
22. 静岡県	1.2	6.3	—	20.4	72.1	7.5	20.1	18.9	1.5
23. 愛知県	4.7	3.1	18.3	38.5	35.4	7.8	47.4	24.4	14.1
24. 三重	1.1	4.8	—	24.5	69.5	5.9	11.3	10.2	14.4
25. 滋賀	0.5	5.2	—	12.2	82.1	5.7	7.5	7.0	5.2
26. 京都府	3.6	3.8	7.0	51.9	33.7	7.4	38.5	27.9	24.0
27. 大阪府	3.3	4.7	2.1	36.7	53.2	8.0	47.4	42.0	▲5.3
28. 兵庫県	1.7	4.8	6.1	28.3	59.1	6.5	20.4	12.6	15.7
29. 奈良	0.7	7.4	—	7.9	84.0	8.1	6.9	6.2	1.7
30. 和歌山	1.4	4.6	—	23.8	70.2	6.0	10.0	8.6	15.2
31. 鳥取	2.7	2.7	—	23.4	71.2	5.4	14.2	11.5	11.9
32. 島根	1.5	2.9	0.4	20.7	74.5	4.4	8.4	6.5	14.2
33. 岡山	4.0	2.1	—	42.1	51.8	6.1	28.1	24.1	18.0
34. 広島	1.8	5.1	2.4	35.6	55.2	6.9	26.5	22.3	13.2
35. 山口	1.0	3.9	—	24.0	71.2	4.9	9.8	8.8	15.1
36. 徳島	2.0	3.8	—	33.2	61.0	5.8	24.3	22.3	10.9
37. 香川県	0.9	3.6	0.5	13.5	81.5	4.5	9.8	8.4	5.1
38. 愛媛	1.4	3.7	—	29.2	65.7	5.1	10.8	9.4	19.8
39. 高知県	3.2	5.8	2.9	21.6	66.5	9.0	14.6	8.5	13.1
40. 福岡	4.7	3.9	7.6	48.1	35.8	8.6	45.9	33.6	14.4
41. 佐賀	0.5	4.4	—	18.2	76.9	4.9	9.5	9.0	9.2
42. 長崎	2.5	2.6	0.1	31.9	62.9	5.1	18.2	15.6	16.3
43. 熊本	4.2	4.7	2.6	48.3	40.2	8.9	33.0	26.2	22.1
44. 大分	1.1	2.6	0.8	23.8	71.8	3.7	13.1	11.2	12.5
45. 宮崎	0.2	2.9	1.2	26.3	69.3	3.1	14.0	12.6	13.8
46. 鹿児島	3.4	6.4	—	29.7	60.5	9.8	17.7	14.3	15.4
47. 沖縄	19.8	3.9	0.0	46.7	29.7	23.7	64.3	44.5	2.1
48. 全国	5.2	5.9	4.9	31.6	52.5	11.1			

つまり、得点第1、第3五分位層では、専ら自県という第一の地理的範囲を越える、といった方向での地理的流動性が増加した。逆に、得点第5五分位層では、この方向での地理的流動性はそれほど増加しなかった。しかし、この得点階層では、近県という第2の地理的範囲を越えて、他のブロックへ出ていくという方向での地理的流動性が増加したことになる。⁽¹⁰⁾

(6)地理的流動性の増加

本章の冒頭で、昭和62年度の複数化方式の下では、受験機会が1回の時と較べて、受験生が地元以外の県へも志願したり、従来あまり志願しなかった遠方の県にまで志願するといった方向での、地理的流動性は増加しているのではないかと仮説を立てた。

本章の前節までみてきたように、今回のようなA、B分割方式による複数化制度の下で、受験生が2つの異なる県にある大学を受験したことによって、地理的な流動性は増加したことが明らかになった。以下の節では、先の仮説が明らかにされたものとして、分析を進めていくことにする。

3.6 単願者の志願動向

受験機会が複数化されたにもかかわらず、1つの大学にしか志願しなかった受験生(単願者)も少なからず存在する。(表3-3でみたように、全国で、A、B日程国公立大学全志願者のうち約4分の1が、1大学にしか志願しなかった。)彼らも2つの大学を志願していれば、今年度の地理的流動性は、より促進されたものと考えられる。それでは、このような単願者は、どこへ志願したのであろうか。まず、表3-8で単願者の志願先をみてみよう。

単願者の第1の志願先県は、表2-1でみた昭和59年度の第1の志願先県と一致してい

る。①埼玉、千葉、神奈川、奈良の4県を除けば、どの県でも単願者の志願先は、自県が中心である。②奈良では、昭和59年度に第1の志願先であった大阪が、単願者の第1の志願先県となっている。③埼玉、千葉、神奈川といった、もともと東京への集中傾向が強かった関東ブロックの諸県では、単願者についても東京が最大の志願先となっている。④単願者の2番目以降の志願先県をみていくと、近県と東京への志願傾向が強い。⑤東北ブロックで宮城が単願者の上位志願先となっていないことを除けば、全国的には、近県の中でも、各地方の中心都市(7大学所在県)が上位の志願先になっている。

⑥群馬、静岡、大阪、山口といった県を例外とすれば、どの県でも、単願者の自県への志願傾向は、昭和59年度実績に比べかなり強い。例えば、昭和59年度の、和歌山県の自県内志願率は31.1%であった。これに対し、昭和62年度の和歌山県の単願者についてみれば、その自県内志願率は58.5%となっている。

このことは、自県という地理的範囲に固執する傾向の強い受験生が、かなり存在することを示唆している。同様に、単願者の中には、近県といった地理的範囲や東京にある大学に固執する受験生が、かなり存在することも示唆される。

以上でみてきたように、単願者の多くは自県に志願していた。それでは、どのような県で自県単願者が多かったのだろうか。表3-3で、昭和61年度以前の自県内志願率と、自県単願者の比率を較べるとつぎの点に気付く。即ち、もともと自県内志願率が極めて高かった北海道(72.7%)、東京(53.4%)、新潟(56.3%)、沖縄(92.0%)では、自県単願者の比率が20%を越えている(北海道27.3%、東京23.8%、新潟20.8%、沖縄77.7%)。

このように、もともと自県内志願率が高

表3-8. 単願者の志願先

出身県	単願者数	1	2	3	4	5	7
1. 北海道	4792	北海道(82.1)	東京 (5.9)				
2. 青森	882	青森(52.3)	東京(8.6)	秋田(8.4)	岩手(7.7)	北海道(6.8)	
3. 岩手	905	岩手(66.2)	東京(7.8)				
4. 宮城	1426	宮城(46.4)	東京(12.0)	山形(11.9)	福島(6.0)		
5. 秋田	680	秋田(60.4)	東京(10.1)				
6. 山形	685	山形(58.0)	東京(9.8)	宮城(6.7)	秋田(5.7)		
7. 福島	1032	福島(42.9)	東京(17.2)	山形(7.6)	茨城(5.6)		
8. 茨城	1729	茨城(60.4)	東京(17.5)				
9. 栃木	710	栃木(33.1)	東京(22.4)	茨城(6.9)	群馬(5.2)		
10. 群馬	1196	群馬(42.6)	東京(20.8)				
11. 埼玉	3245	東京(40.2)	埼玉(25.2)	神奈川(6.0)			
12. 千葉	3833	東京(35.1)	千葉(33.1)	茨城(7.8)	神奈川(6.3)		
13. 東京	11555	東京(63.6)	神奈川(8.3)	千葉(7.6)	埼玉(5.9)		
14. 神奈川	6288	東京(51.1)	神奈川(28.8)				
15. 新潟	1608	新潟(69.7)	東京(9.3)				
16. 富山	963	富山(68.2)	東京(7.2)	新潟(6.6)			
17. 石川	713	石川(40.4)	富山(24.0)	東京(9.8)			
18. 福井	352	福井(38.4)	富山(12.5)	石川(8.5)	東京(7.1)		
19. 山梨	535	山梨(61.5)	東京(18.1)				
20. 長野	1247	長野(49.6)	東京(20.2)				
21. 岐阜	1106	岐阜(30.3)	愛知(20.9)	東京(8.9)	長野(6.3)		
22. 静岡	1495	静岡(30.6)	東京(21.9)	神奈川(7.9)	愛知(5.2)		
23. 愛知	4809	愛知(50.1)	東京(9.5)	岐阜(6.3)	長野(5.5)		
24. 三重	807	三重(43.0)	愛知(16.4)	東京(11.6)			
25. 滋賀	470	滋賀(30.2)	京都(17.2)	大阪(6.4)			
26. 京都	1649	京都(43.0)	大阪(14.7)	東京(5.3)	兵庫(5.2)		
27. 大阪	5076	大阪(40.7)	京都(10.9)	兵庫(10.5)	和歌山(8.7)		
28. 兵庫	2598	兵庫(25.8)	大阪(17.6)	京都(8.7)	東京(8.1)		
29. 奈良	505	大阪(26.7)	京都(14.9)	奈良(14.1)	兵庫(8.9)	東京(6.3)	
30. 和歌山	564	和歌山(58.5)	大阪(7.3)	東京(6.6)			
31. 鳥取	350	鳥取(50.3)	島根(13.1)	東京(6.3)	福岡(5.7)		
32. 島根	330	島根(46.4)	東京(10.6)	福岡(10.0)			
33. 岡山	1318	岡山(44.7)	福岡(6.4)	東京(6.0)	高知(6.0)		
34. 広島	1695	広島(33.8)	東京(13.5)	福岡(8.2)	山口(7.5)		
35. 山口	952	山口(35.9)	福岡(24.4)	東京(10.4)			
36. 徳島	484	徳島(51.7)	高知(13.4)	東京(7.2)			
37. 香川	426	香川(33.6)	東京(18.3)	高知(7.3)	徳島(5.4)		
38. 愛媛	710	愛媛(45.1)	高知(11.5)	東京(9.6)	福岡(8.6)		
39. 高知	515	高知(73.6)	東京(9.1)				
40. 福岡	3801	福岡(58.3)	佐賀(9.7)	東京(7.9)			
41. 佐賀	693	佐賀(59.9)	福岡(17.6)	長崎(5.1)			
42. 長崎	1039	長崎(43.4)	福岡(13.7)	東京(9.0)	佐賀(7.9)		
43. 熊本	1339	熊本(44.7)	福岡(15.2)	東京(9.8)	佐賀(5.5)		
44. 大分	844	大分(41.4)	福岡(19.3)	東京(8.4)			
45. 宮崎	706	宮崎(26.6)	沖縄(16.1)	福岡(13.2)	東京(9.3)	鹿児島(5.8)	
46. 鹿児島	1425	鹿児島(57.4)	東京(9.4)	福岡(9.3)	沖縄(7.0)		
47. 沖縄	3507	沖縄(97.1)					

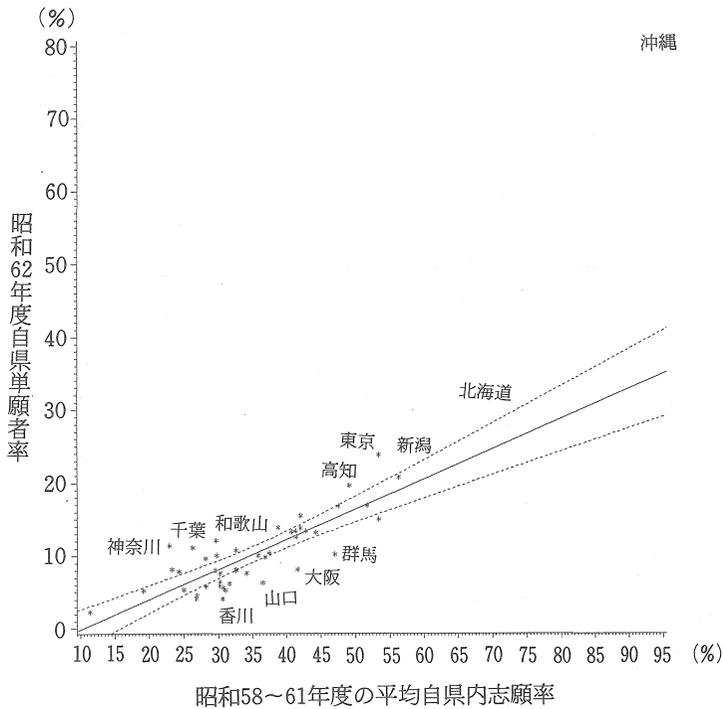


図3-2. 自県単願者率と以前の自県内志願率との関係

かった県で、自県単願者の比率が高いことがみてとれる。この点を、図3-2で確かめておこう。

図3-2の横軸は、昭和58年度から昭和61年度までの、各県の自県内志願率の平均(表3-3の①の数字)を表している。縦軸には、昭和62年度の自県単願者率(表3-3の②の数字)がとってある。図からは、この2つの変数間に、かなり高い相関があることがみてとれる。実際に、沖縄を除いた46県について、この2つの変数間の相関係数を求めたところ、0.862という数字が得られた。なお、昭和58年度から昭和61年度までの、各県の自県内志願率をX、昭和62年度の自県単願者率をYとして回帰分析を行った結果、 $Y = 0.413X - 4.257$ となった。(図中には実線で示してある。破線は、その回帰直線の90%の信頼区間であ

る。)そして、この図からは、東京、千葉、神奈川といった関東ブロックに属する県、および高知、和歌山では、従来の自県内志願率から推定された数値に較べ、相対的に昭和62年度の自県単願者率が高かった。群馬、大阪、山口、香川では、従来の自県内志願率に較べ、相対的に昭和62年度の自県単願者率が低かったことがみてとれる。

また、全国のA・B受験者の3.7%(12,781人)が、A-A、B-Bといった、同一グループ内の大学に志願している。かれらは、志願した2つの学部・学科の中から、足切り対策を含め、共通1次試験の結果をもとにした合格可能性を睨み合わせて、2次試験を受ける大学学部・学科を決めたものと思われる。かれらは、結局は1学部・学科しか受験しなかった、という意味では単願者と同じである。

表3-9. 東京への志願動向

出身地	東京単願者	A-Bグループ各1大学志願者		昭和58~61年度平均 東京への志願率
		東京=東京	東京=東京以外の県	
1. 北海道	2.0	0.4	6.1	5.6
2. 青森	2.2	0.6	6.6	7.8
3. 岩手	2.0	0.6	6.1	6.3
4. 宮城	3.3	0.7	5.9	7.0
5. 秋田	2.3	0.6	6.7	6.5
6. 山形	2.2	0.5	5.0	6.2
7. 福島	4.1	0.6	9.6	10.0
8. 茨城	4.9	0.9	13.9	12.4
9. 栃木	3.9	0.8	11.4	10.8
10. 群馬	5.0	0.6	11.2	10.0
11. 埼玉	12.9	2.1	26.5	30.5
12. 千葉	11.8	1.9	22.2	28.8
13. 東京都	23.8	4.9	30.8	53.4
14. 神奈川県	20.2	2.8	27.4	41.7
15. 新潟	2.8	0.6	9.7	8.5
16. 富山	1.4	0.5	11.9	8.8
17. 石川	1.9	0.5	10.6	7.5
18. 福井	1.0	0.5	10.2	6.6
19. 山梨	4.4	0.7	15.0	12.5
20. 長野	4.4	0.9	15.8	14.7
21. 岐阜	1.6	0.2	9.0	6.0
22. 静岡	4.0	0.8	15.7	12.3
23. 愛知	1.9	0.3	9.5	7.1
24. 三重	2.1	0.3	9.8	7.4
25. 滋賀	0.8	0.1	6.6	3.2
26. 京都	1.3	0.2	9.3	4.3
27. 大阪	0.9	0.1	8.4	3.1
28. 兵庫	1.4	0.1	10.3	5.7
29. 奈良	1.1	0.1	12.5	4.2
30. 和歌山	1.4	0.2	7.2	4.3
31. 鳥取	1.0	0.4	9.7	7.1
32. 島根	1.4	0.4	7.9	5.9
33. 岡山	1.1	0.2	7.2	5.3
34. 広島	2.6	0.4	10.0	9.7
35. 山口	1.8	0.3	9.5	6.8
36. 徳島	1.3	0.2	7.8	4.7
37. 香川	2.2	0.6	11.2	7.2
38. 愛媛	1.3	0.4	9.6	7.3
39. 高知	2.4	0.5	9.6	8.7
40. 福岡	1.8	0.2	8.0	5.6
41. 佐賀	1.2	0.3	6.4	4.1
42. 長崎	1.6	0.4	6.7	5.4
43. 熊本	2.3	0.3	6.1	6.0
44. 大分	1.6	0.5	5.7	5.0
45. 宮崎	1.4	0.4	7.3	6.1
46. 鹿児島	2.2	0.7	12.3	12.1
47. 沖縄	0.9	0.0	2.4	1.7
48. 全国	5.6	1.0	13.0	

表3-10. 出身県別入学先 (昭和62年度)

出身県	1	2	3	4	5	6
1. 北海道	北海道 (75.3)					
2. 青森	青森 (39.0)	北海道 (13.2)	岩手 (12.4)	宮城 (7.6)	東京 (6.1)	
3. 岩手	岩手 (45.5)	宮城 (11.8)	青森 (11.0)			
4. 宮城	宮城 (43.6)	山形 (10.4)	岩手 (8.8)	東京 (6.5)	福島 (6.2)	
5. 秋田	秋田 (44.9)	宮城 (7.6)	青森 (7.6)	岩手 (5.8)	新潟 (5.8)	山形 (5.2)
6. 山形	山形 (47.9)	新潟 (10.7)	宮城 (10.3)			
7. 福島	福島 (36.3)	宮城 (9.7)	山形 (8.5)	茨城 (8.5)	東京 (6.2)	新潟 (5.0)
8. 茨城	茨城 (46.0)	東京 (12.4)	千葉 (5.4)			
9. 栃木	栃木 (30.2)	茨城 (11.9)	東京 (9.2)	千葉 (5.1)		
10. 群馬	群馬 (42.2)	東京 (8.6)	新潟 (6.7)	茨城 (6.6)		
11. 埼玉	東京 (29.0)	埼玉 (21.9)	千葉 (8.4)			
12. 千葉	東京 (27.6)	千葉 (25.9)	茨城 (6.9)	埼玉 (5.0)		
13. 東京	東京 (50.3)	千葉 (8.2)	神奈川 (6.5)	埼玉 (6.1)		
14. 神奈川	東京 (39.0)	神奈川 (19.7)				
15. 新潟	新潟 (58.6)	東京 (7.7)				
16. 富山	富山 (36.4)	石川 (14.3)	東京 (9.1)	新潟 (8.0)		
17. 石川	石川 (37.0)	富山 (20.5)	東京 (7.9)			
18. 福井	福井 (31.6)	石川 (11.9)	東京 (7.0)	富山 (5.1)	大阪 (5.0)	
19. 山梨	山梨 (40.9)	東京 (12.0)	千葉 (5.8)	新潟 (5.1)	神奈川 (5.1)	
20. 長野	長野 (29.5)	東京 (14.1)	新潟 (8.3)	茨城 (5.1)		
21. 岐阜	岐阜 (24.9)	愛知 (20.0)	東京 (6.7)			
22. 静岡	静岡 (29.5)	東京 (13.5)	茨城 (5.0)			
23. 愛知	愛知 (41.1)	東京 (7.1)	岐阜 (6.6)	三重 (5.9)	静岡 (5.4)	
24. 三重	三重 (32.6)	愛知 (16.7)	東京 (8.7)	大阪 (5.1)		
25. 滋賀	滋賀 (20.3)	京都 (16.5)	大阪 (11.2)			
26. 京都	京都 (30.8)	大阪 (14.9)	兵庫 (7.8)	東京 (7.8)	滋賀 (6.7)	
27. 大阪	大阪 (34.9)	京都 (13.9)	兵庫 (12.0)	東京 (5.1)		
28. 兵庫	兵庫 (25.8)	大阪 (17.5)	京都 (10.1)	東京 (7.8)		
29. 奈良	大阪 (28.8)	京都 (14.0)	奈良 (11.3)	兵庫 (10.4)	東京 (7.2)	
30. 和歌山	和歌山 (29.5)	大阪 (20.9)				
31. 鳥取	鳥取 (35.5)	島根 (9.1)	東京 (7.0)	大阪 (6.4)	岡山 (5.5)	広島 (5.5)
32. 島根	島根 (35.6)	広島 (10.1)	東京 (6.3)	大阪 (5.3)	山口 (5.1)	
33. 岡山	岡山 (29.1)	香川 (9.2)	広島 (5.7)	大阪 (5.7)	兵庫 (5.1)	
34. 広島	広島 (29.9)	山口 (10.5)	東京 (9.6)	大阪 (6.1)	福岡 (5.7)	
35. 山口	山口 (31.5)	広島 (10.7)	福岡 (10.7)	東京 (5.7)		
36. 徳島	徳島 (41.1)	香川 (7.5)	広島 (6.9)	大阪 (6.4)	高知 (5.2)	
37. 香川	香川 (28.8)	東京 (7.9)	岡山 (7.4)	大阪 (7.0)	徳島 (6.7)	広島 (6.6)
38. 愛媛	愛媛 (35.3)	高知 (7.1)	東京 (6.9)	岡山 (5.6)	大阪 (5.1)	徳島 (5.0)
39. 高知	高知 (49.8)	東京 (8.5)	徳島 (5.3)			
40. 福岡	福岡 (45.2)	熊本 (7.8)	山口 (5.7)	東京 (5.5)	佐賀 (5.0)	
41. 佐賀	佐賀 (35.7)	福岡 (20.0)	熊本 (7.0)	長崎 (6.0)	東京 (5.6)	山口 (5.1)
42. 長崎	長崎 (32.4)	福岡 (16.1)	佐賀 (8.0)	熊本 (5.6)	東京 (5.3)	
43. 熊本	熊本 (44.1)	福岡 (15.7)				
44. 大分	大分 (33.6)	福岡 (13.2)	熊本 (6.5)	山口 (5.5)		
45. 宮崎	宮崎 (24.3)	鹿児島 (11.5)	福岡 (11.2)	熊本 (8.4)	沖縄 (5.5)	東京 (5.3)
46. 鹿児島	鹿児島 (46.2)	福岡 (11.8)	東京 (10.4)	沖縄 (5.7)		
47. 沖縄	沖縄 (91.7)					

この同一グループ志願者のうち、自県にある大学について、A-A、B-Bといった、同じグループの組み合わせで志願した受験生は、33.2%（4,240人）であった。（彼らの多くは、同じ大学学部異なる学科へ志願している。）これら同一グループ志願者で、「自県＝自県」という組み合わせを選んだ者においては、どうしても自県の国公立大学に合格したい、という自県への固執傾向は、ある意味では、自県単願者以上に切実だったと考えられる。表は省略するが県別に、これらの受験生についても調べてみた。その結果、自県にある大学について、A-A、B-Bといった同じグループの組み合わせで志願した受験生が多い県もまた、もともと自県内志願率が高かった県であった。

つまり、もともと自県内志願率が高かった県では、他の県ほどには、自県を越えるという方向での地理的流動性は増さなかった。

同様に、埼玉、千葉、神奈川といった、東京の大学への志願傾向がもともと強かった関東ブロックの諸県でも単願者の割合は大きい。そのほとんどが東京への単願者である（表3-9）。このことから、これら関東ブロックの諸県では、東京への固執傾向が強い者が多く、東京以外の県に向けての地理的流動性が、他県に較べてそれほど促進されなかったことが分かる。

3.7 入学者の地理的分布

それでは、以上のように志願段階での地理的流動性が増えた結果として、入学者の散らばりは、どの程度拡散したのであろうか。ここで、合格者と区別して、入学者をみていくことにしたのは、つぎのような理由による。今年度の受験機会複数化の制度は、受験生が合格通知を受け取ってから、入学する大学を決定するというものである（事後選択制）。

よって、2つ以上の大学に合格する者も当然でてくる。これらの合格者に関しては、入学手続きを行った大学でのみ入学者となるが、それ以外の大学では入学辞退者となるからである。

表3-10は、入学手続きを行った各県出身者が、主にどのような県に散っているのかをみたものである。表2-4に示した昭和59年度の結果と較べると、志願者についてみられた地理的流動性と、同様の傾向がみられる。⁽¹¹⁾ 即ち、①自県にある大学へ入学した者は、全国どの県でも減少している。②自県にある大学が属する（A、B）グループとは異なるグループに属する大学がある近県への入学者が増加している。③東海ブロック以西で、東京の大学での入学者が増加している。表では省いてあるが、5%以下の志願先県まで調べてみると、④地理的に極めて遠い県にある大学に入学した者の比率が、以前より若干上昇していることなどが、今年度の志願状況との共通点である。

しかし、⑤以上の傾向もわずか数パーセントの差であり、志願者についてみられたほどの、地理的な流動性はみられない。志願段階では受験生の地理的流動性は大きかったが、結果として入学した者の地理的散らばりは以前とそれほど変わらなかった。⁽¹²⁾

第4章 まとめと今後の課題

最後に、本稿のまとめと若干の考察を行っておこう。昭和62年度から導入された受験機会の複数化に伴って、従来の受験生の地理的な志願動向には、いかなる変化が生じたのだろうか。

(1)まず、全志願者の動向から明らかにしておこう。

①従来同様、多くの受験生は第一に自県、

第二に近県の範囲を中心として志願していた。

②各県から提出された志願票の数（延べ志願者数）でみると、自県にある大学への志願率は、従来より減少していた。（ただし実数は増加している。）

③自県と併願可能な大学を有する、近県への志願率が増加していた。

④従来あまり志願されることのなかった、遠隔地域（例えば、出身県から最も遠いブロック）への志願傾向も増加していた。

⑤自県志願者の多くは近県と併願していた。

⑥延べ数をもとにした自県内志願率の減少の原因を探るために、次のような推計を行ってみた。昭和62年度についても受験機会が1回であったならば、自県へ志願したと思われる者（従来の自県志願者）のうち、複数化制度の実施によって、どの程度の者が、「自県＝他県（近県）」といったパターンで併願したのか。逆に、他県（近県）へ志願していたと思われる受験生（従来の他県志願者）のうち、今回の複数化制度の実施によって、どの程度の者が自県を併願県として選んだのか。この推計の結果、後者より前者のようなパターンをとった受験生の方が数が多かった。

以上の点から、複数受験制度の導入によって、昭和62年度の地理的流動性は全体としては、増加したと結論できる。

(2)このような傾向は、受験生のどの学力層（共通1次得点階層）にも、一様にみられたわけではない。

①学力（共通1次得点）が中程度以下の受験生（得点第1，第3五分位層）では、(1)に示した全志願者の動向とほぼ同様の志願傾向がみられた。

②学力が高い受験生（得点第5五分位層）は、昭和61年度以前においても、自県への志

願傾向は弱く、東京や各地方の中心都市（7大学所在県）への志願傾向が強かった。これと同じ傾向は昭和62年度についてもみられる。

③得点第5五分位層では、全国約半数の県で、延べ志願者（志願票）をもとにした自県内志願率が上昇していた。

④昭和62年度の得点第5五分位層では、受験生の出身県が属する地方の中心都市（7大学所在県）と併願可能な、他の地方にある中心都市（7大学所在県）への志願が総じて増加していた。特に、中部地方以東の諸県（東日本地区）で、京都・大阪への志願が増加し、東海地方以西の諸県（西日本地区）で、東京への志願傾向が強まっていた。

⑤学力（共通1次得点）上位層における、以上の動向の原因を明らかにするため、「自県＝他県」併願者について、先に(1)の⑥で示したのと同様の推計を行った。その結果、複数化制度の導入に伴い、従来の他県（近県）志願者のうち自県を併願先として選んだ者のほうが、従来の自県志願者のうち他県（近県）を併願先として選んだ者の数より多かった。

⑥各地方の中心都市（7大学所在県）への志願に関し、上と同様の推計を行った。その結果、複数化制度が導入されなかった場合には、距離的に近くにある地方の中心都市（7大学所在県）へ志願していたと思われる者の中には、今回の複数化制度の実施によって、別の地方の中心都市（7大学所在県）をも志願の対象にした者が少なからずいた。

つまり、学力（共通1次得点）が中程度以下の受験生については、自県の範囲を越えるという方向での地理的流動性が増加した。これに対し、学力が高い受験生については、自ブロック内の動きとしては、自県をも志願対象にする者が増加した。即ち、学力上位者については、学力下位者ほど、自県を越えると

いう方向での地理的流動性は増加しなかった。しかし、学力上位層では一方で、近県の範囲内にある地方の中心都市（7大学所在県）から、近県の範囲を越えた別の地方の中心都市（7大学所在県）へとといった動きが増大した。

(1)、(2)から、従来ならば一つの県にしか志願できなかった状態から、今回の制度改革にともない2回受験できるようになり、しかも同じ県には志願できないことによって、全般的には、地理的流動性は活性化したことが明らかになった。

(3)このような状況の中で、2回以上ある受験機会を利用しなかった者（単願者）も少なからず存在した。かれらは、地理的流動性を促進しない要因となった集団と考えられる。

①このような単願者の多くは自県・近県を目指していた。

②昭和61年度以前から自県への志願傾向が強かった県で、この自県単願者の割合は大きかった。

③昭和61年度以前から東京への志願傾向が強かった県（関東ブロック）で、東京にある大学を目指す単願者の割合は大きかった。

つまり、この単願者の志願動向からも、自県という地理的範囲のもつ拘束力の大きさが改めて認識された。

(4)いずれにせよ、少なくとも志願段階では、受験生が昭和61年度以上に移動したことは間違いない。それではその結果として、入学段階ではどのような事態が生じたのであろうか。

①結果的には、昭和61年度以前の状況と較べて、それほど地理的分布に変更はなかった。

②極めて小さい変化ではあるが、自県の大学入学者が若干減少したことなど、先にみた志願動向と同じ変化がいくつかみられた。

つまり、志願段階では、多くの受験生の移動がみられたが、入学状況に関しては、地理的な側面からみれば、ほとんど従来どおりとってよいものであった。

従来の受験機会が一本化されていた期間において、多くの受験生は地元を中心とした地理的範囲内で志願していた。受験生の地理的流動性を増加させることが当然予想された今回の複数受験制度下においても、多くの受験生は地元を中心とした地理的範囲内で志願していた。しかも、この大きな制度改革を経たにもかかわらず、地元大学への入学者率は、昭和61年度以前の実績とほとんど変わらなかった。つまり、受験生の大学選択（college choice）を規定する要因の一つとして、地理的要因が大きな比重を占めていることは確かだと思われる。

以下、今後の課題をあげておこう。技術的なものを含めて、各部分に個別な問題点に関しては、既に本文および注で触れてある。そこで、ここでは、本稿の全体に関わる問題を指摘するに留める。

(1)第2章第6節では、昭和54年度から昭和61年度までについて、自県内志願率等いくつかの指標に関する年次変化をみた。そこでは、大雑把に地理的志願動向の時系列的な安定を論じたが、より精緻な統計的解析を行い、より小さな変動傾向とその要因を明らかにしていく過程で、時系列的安定性を議論していくことが必要と考えられる。

(2)第3章では、「自県＝他県」併願者について、従来の自県志願者が他県を併願したのか、従来の他県志願者が自県を併願したのか、に関しての推計をおこなった。今回のデータをみる限り、前者は、昭和61年度以前の自県内志願率が高い県・得点階層ほど、多くみられ

る傾向があった。後者は、昭和61年度以前の自県内志願率が低い県・得点階層ほど、多くみられる傾向があった。この点の吟味が今後必要と思われる。

(3)今までの研究の連続性からいっても、受験生の大学選択における、学力、地理的な範囲といった要因の大きさを確定しなければならない。これは、例えば、2つの大学に合格した者がいずれの大学に入学を決定したのか、といった点などから明らかにしていく必要がある。

(4)本稿は、単に受験生の志願・入学の動態を数字でとらえたものに過ぎない。これだけでは、なぜ受験生が地元を中心とした地理的範囲に留まるのか、なぜこの範囲を越えた大学を目指したのか、といった点までは明らかにできない。各県にある大学を選択した理由を、受験生の学力、各大学のもつ個性、各県の高等教育機関の収容力、社会経済的な制約、地元での就職状況等々⁽¹³⁾、との関係を含めて説明していかなければならない。

本稿の役割分担・謝辞

本稿は、岩田のもつ基本的なアイデアをもとに進められた。統計的方法論の吟味については、岩坪が中心になった。データ解析に関しては、両者の議論をもとに岩田が一応のまとめを行った。

最後になったが、本稿のみならず、今まで岩田が行ってきた、国公立大学志願者の地理的志願動向に関する一連の研究については、元大学入試センター研究部・追跡研究部門助教授（現国立教育研究所室長）荒井克弘先生から多大の示唆を受けた。この場をかりてお礼申し上げたい。

<注>

- (1)①岩田弘三「国公立大学2次試験出願者の地理的選択の範囲に関する分析」『大学入試フォーラム』No.8, 1986年
- ②岩田弘三「学部系統別にみた受験者の地理的選択の範囲」『大学入試フォーラム』No.9, 1987年
- ③岩田弘三「志願者の属性別にみた地理的選択の範囲」『大学入試フォーラム』No.10, 1988年
- ④潮木守一・藤田英典・滝充・岩田弘三・木下かよ

子・盧錦姫「高等教育進学率の低滞傾向に関する分析（第一次報告）」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科—』第29巻, 1983年

- (2) 前掲,『大学入試フォーラム』No.8
- (3) 塚原修一は、同じ県内でも、地域によって、進学移動状況が違うのではないかと考えた。その一例として和歌山県では、大阪、関西方面への進学者が多い地域と、東京方面への進学者が多い地域があること等を指摘している。（「進学・就職にともなう高校生の地域間移動に関する研究—進学・就職選択の優先度と県内地域差の分析—」『国立教育研究所研究集録』第12号, 1986年）
- (4) 前掲,『大学入試フォーラム』No.8
- (5) 友田泰正は、大学の地理的分布の高等教育における人材選抜に及ぼす影響に関心を持った。そこで友田は、大学入試の難易度等によって、大学をクラス分けし、大学入学者の地域間移動などを分析した。そこで用いた地域割は、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州というア・プリアリな地域割であり、実際の入学者の移動状況を元にしたものではない。しかし、大学のランク別のブロック間移動等を明らかにしたという点では、貴重な先行研究である。（「大学入学者の地理的移動と地域別輩出率」『教育学研究』第35巻第4号, 昭和43年）
- (6) 図2-1のクラスター分析は、志願者の流出面に焦点を当てたものである。逆に、各県に集まった志願者総数を母数(100%)にして、それが各県出身者によって、どの程度占有されているかといった、流入率を変数にしたクラスター分析も行ってみた。その結果は、①岐阜・愛知・三重の3県は、極めて結び付きの強い独自のクラスターを形成していた。②東北と中部ブロックが、一体となって同一のクラスターを形成していた。③以上2点を除けば、図2-1とほぼ同様の県群（ブロック）が、クラスターとして抽出された。

この①の結果を勘案して、われわれは、岐阜・愛知・三重の3県を独自のブロックとして扱うことにした。

- (7) 流入傾向をみたクラスター分析の結果では、昭和61年度以前の志願者の流出・流入をもとにしたクラスター（ブロック）と、ほぼ同様のクラスターが得られたことを付記しておく。
- (8) 第2章第6節でみたとおり、自県内志願率等の指標は、数%の増減はあるものの、時系列的には安定していた。従ってここでは、回帰分析等の手法を用いず、単純に最近4年間の平均を、複数受験制度が導入されなかった場合の志願傾向と見なすことにした。

また、本文中の仮定は、今回の複数受験制度下において、受験生が選んだ志願先のうち、少なくとも1つの志願先が、複数受験制度が導入されなかった場合にも選択される、ということ前提に

したものである。換言すれば、複数受験が導入されなかった場合には、自県(他県)に志願するが、複数受験制度下では、「他県=他県」(「自県=自県」)という併願パターン、もしくは他県(自県)単願者になることはない、という仮定に立っている。この仮説が、どの程度現実状況に近いかは、今後明らかになっていくデータをもとに、少しずつ修正していく必要がある。いずれにせよ、われわれが現在持ちうる材料をもとに考えた場合どのような事態がみえてくるのか。この点を検討してみることは無駄ではあるまい。

- (9) 受験していない教科の推計に関しては、各学部ごとに、全教科受験者の値をもとにした重回帰分析を行い、そこで得られた方程式を用いて、受験していない教科を推定する方法も考えられる。この推計方法の方がむしろ一般的であるとも考えられる。今回は以下の2つの理由から単純推計法を用いた。

①いくつかの学部について、本稿で用いた推計値と、重回帰分析による推計値を比較してみた。その結果、得点階層が異なった者は、全体の1.7%に過ぎなかった。しかも、それらの受験生も、各得点階層の極めて境界近くに位置する者であった。

②和歌山大学経済学部を例にとると、共通1次試験で課す5教科の中から、受験生が3教科を自由選択することになっている。この学部志願者が受験した共通1次試験教科の組み合わせは、全教科受験を除いて15通りとなる。従って、この学部に関しては、15通りの志願者の同定、15通りの重回帰方程式の算出と志願者への当てはめが必要になる。時間的制約などの理由から、このような複雑さを避けるため、今回は先に示した単純推計法を用いることにした。

- (10) 得点第5五分位層において、昭和62年度に、近県から自県への流れと、別の地方の中心都市(7大学所在県)への流れ、という受験生群の2つの流れが生じた理由としては、例えばつぎの点が考えられる。

第1は、志望学部の別によって、受験生が2つのタイプに分かれているとするものである。以前岩田は、昭和59年度について、学部系統ごとの志願動向の分析を行った。そこでは、①医学系・教員養成系の学部志願者の大口志願先は、専ら自県・近県である。この2つの学部系統では、東京および各地方の中心都市(7大学所在県)への志願傾向が極端に弱い。②医学系・教員養成系以外の学部志願者は、東京および各地方の中心都市への志願傾向が強い。中でも、法学系学部を志望す

る者は、特に東京への集中傾向が強いこと等を指摘した。(前掲、『大学入試フォーラム』No.9)これらの点を考慮にいれると、今年度の、近県から自県へという流れは、専ら医学系・教員養成系の学部志願者によって、また、地方の中心都市(7大学所在県)をめぐる流れは、専ら医学系・教員養成系以外の学部志願者によってもたらされた可能性が考えられる。

第2の理由として考えられることは、学力(共通1次得点)によって、得点第5五分位層がさらに、2分化していることである。得点第5五分位層の中でも最優秀組が、各地方の中心都市(7大学所在県)間を移動し、そうでない受験生が、自県をも志願対象とするようになったという解釈である。

得点第5五分位層にみられた2つの志願動向が、以上2つの理由のいずれによって説明されるのか。それとも、全く別の要素を考慮しなければならぬのか。この点に関する究明は、今後の課題としたい。

- (11) 本文中に上げた諸点の他、入学者の移動をもとにしたクラスター分析の結果も、昭和62年度の志願状況に関するクラスター分析の結果と、ほぼ同様のものであった。昭和62年度の入学状況は、以前の入学者(合格者)の移動パターンとほぼ同じであった。また、流入面からみたクラスター分析の結果では、北海道、青森、岩手、秋田の4県が1つのブロックを、そして、宮城以南、東海3県以東の諸県が集まり同一ブロックを形成していた。その他のブロックは従来どおりであった。
- (12) 昭和62年度も最終的に従来とほぼ同様の割合の者が、自県の大学に入学したとしても、この自県入学者層は、前年度以前の自県入学者層とは、大幅に異なっていることが予想される。今年度の自県入学者層は、少なくとも学力(共通1次得点)の面では、従来の自県入学者層をかなり上回っていると考えられるからである。
- (13) これらの点については、既にいくつかの研究がなされている。ここでは、大学評価、各県の大学の定員(受け皿)、および大学卒業後の就職機会に関する、以下3点の文献・論文を挙げるに留めておく。
- ①慶伊富長編『大学評価の研究』東京大学出版会、1984年
- ②潮木守一「高等教育の地方分散化と大学進学との関連(I)」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科—』第31巻、1985年
- ③中西信男・麻生誠・友田泰正編『就職—大学生の選職行動—』有斐閣、昭和55年

付表

〈目次〉

- 表A- 1 得点階層別出身県別志願先県（昭和54年度）
- 図A- 1 志願者の出願先に関するクラスター分析の結果（昭和54年度）
- 表A- 2 出身県別合格先（昭和54年度）
- 表A- 3 自県内志願率の年次変化（得点階層別）
- 表A- 4 宮城県への志願率の年次変化（得点階層別）
- 表A- 5 愛知県への志願率の年次変化（得点階層別）
- 表A- 6 大阪府・京都府への志願率の年次変化（得点階層別）
- 表A- 7 福岡県への志願率の年次変化（得点階層別）
- 表A- 8 東京都への志願率の年次変化（得点階層別）
- 表A- 9 合格者中に占める自県内大学合格者の年次変化
- 表A-10 合格者中に占める宮城県の大学での合格者の年次変化
- 表A-11 合格者中に占める愛知県の大学での合格者の年次変化
- 表A-12 合格者中に占める大阪府・京都府の大学での合格者の年次変化
- 表A-13 合格者中に占める福岡県の大学での合格者の年次変化
- 表A-14 合格者中に占める東京都の大学での合格者の年次変化
- 図A- 2 各ブロックからの志願先（昭和62年度）

表A-1. 得点階層別・出身県別志願先県(昭和54年度)

(1) 得点第1五分位層

出身県	1	2	3	4	5	6	7
1. 北海道	北海道(79.5)						
2. 青森	青森(46.0)	北海道(21.4)	東京(5.8)				
3. 岩手	岩手(44.1)	北海道(11.0)	青森(10.5)	東京(6.3)	宮城(5.3)		
4. 宮城	宮城(34.8)	福島(12.8)	山形(11.8)	岩手(7.1)	東京(5.4)		
5. 秋田	秋田(60.0)	青森(6.9)	北海道(5.4)				
6. 山形	山形(47.8)	福島(7.8)	東京(6.7)	宮城(6.1)			
7. 福島	福島(46.3)	茨城(9.4)	東京(9.3)	山形(6.9)	宮城(5.2)		
8. 茨城	茨城(70.3)	東京(10.0)					
9. 栃木	栃木(34.5)	東京(15.2)	群馬(10.2)	茨城(8.5)	千葉(7.0)		
10. 群馬	群馬(55.5)	東京(7.9)	千葉(5.1)				
11. 埼玉	埼玉(32.2)	東京(26.7)	群馬(7.5)	千葉(6.6)			
12. 千葉	東京(30.4)	千葉(23.9)	茨城(12.2)	埼玉(8.7)			
13. 東京	東京(50.9)	埼玉(11.0)	千葉(8.9)	神奈川(5.6)			
14. 神奈川	東京(40.6)	神奈川(27.3)	千葉(5.6)				
15. 新潟	新潟(44.6)	東京(12.7)					
16. 富山	富山(48.2)	石川(6.9)	新潟(6.8)				
17. 石川	石川(34.3)	富山(14.5)	福井(12.2)	山梨(7.6)			
18. 福井	福井(40.9)	東京(5.7)	石川(5.4)				
19. 山梨	山梨(62.1)	東京(16.1)					
20. 長野	長野(39.2)	東京(13.5)	山梨(10.7)	千葉(5.4)			
21. 岐阜	岐阜(26.7)	愛知(17.2)	山梨(7.8)	東京(6.9)			
22. 静岡	静岡(24.3)	山梨(13.6)	東京(12.5)	茨城(5.7)	千葉(5.6)	愛知(5.2)	
23. 愛知	愛知(46.0)	岐阜(8.7)	東京(5.6)	長野(5.4)			
24. 三重	三重(26.0)	愛知(12.8)	山梨(7.4)	東京(6.3)	大阪(5.9)		
25. 滋賀	滋賀(30.0)	京都(11.7)	大阪(7.1)	福井(5.5)			
26. 京都	京都(40.0)	大阪(13.2)	兵庫(5.0)				
27. 大阪	大阪(38.9)	京都(10.7)	兵庫(9.0)	奈良(5.0)			
28. 兵庫	兵庫(22.0)	大阪(21.2)	京都(9.1)	東京(5.0)			
29. 奈良	大阪(23.3)	奈良(22.5)	京都(9.3)	兵庫(5.1)			
30. 和歌山	和歌山(35.5)	大阪(14.4)	東京(6.0)				
31. 鳥取	鳥取(33.9)	島根(17.1)	東京(7.6)				
32. 島根	島根(35.8)	東京(10.1)	鳥取(6.7)	福岡(5.6)			
33. 岡山	岡山(18.5)	高知(7.1)	島根(6.4)	山口(6.0)	東京(5.8)	香川(5.5)	福岡(5.4)
34. 広島	広島(31.3)	東京(10.2)	山口(10.1)				
35. 山口	山口(41.2)	福岡(11.7)	東京(7.2)	広島(5.2)			
36. 徳島	徳島(38.0)	高知(17.5)	東京(6.5)				
37. 香川	香川(31.0)	高知(17.0)	東京(8.4)				
38. 愛媛	愛媛(29.9)	高知(16.4)	東京(6.4)				
39. 高知	高知(72.7)	東京(5.7)					
40. 福岡	福岡(39.6)	佐賀(11.3)	山口(8.4)	長崎(6.3)			
41. 佐賀	佐賀(46.5)	福岡(16.6)	長崎(10.6)				
42. 長崎	長崎(32.1)	福岡(13.8)	沖縄(10.0)	佐賀(9.7)			
43. 熊本	熊本(35.2)	福岡(14.5)	佐賀(7.7)	鹿児島(7.7)	東京(6.9)	長崎(5.3)	
44. 大分	大分(22.2)	福岡(16.1)	東京(6.6)	山口(6.3)	長崎(6.0)	佐賀(5.7)	沖縄(5.7)
45. 宮崎	宮崎(23.0)	福岡(11.9)	沖縄(11.4)	鹿児島(10.1)	熊本(5.8)	長崎(5.8)	佐賀(5.2)
46. 鹿児島	鹿児島(45.7)	沖縄(16.0)	東京(5.4)				
47. 沖縄	沖縄(94.9)						

(2) 得点第3五分位層

出身県	1	2	3	4	5	6
1. 北海道	北海道 (69.4)	青森 (6.1)				
2. 青森	青森 (46.7)	岩手 (11.5)	北海道 (9.0)	千葉 (5.5)	東京 (5.3)	
3. 岩手	岩手 (51.2)	青森 (7.3)	千葉 (5.2)			
4. 宮城	宮城 (32.5)	山形 (10.7)	福島 (10.6)	岩手 (7.9)		
5. 秋田	秋田 (44.9)	岩手 (7.1)	青森 (6.3)	宮城 (5.0)	新潟 (5.0)	
6. 山形	山形 (46.0)	千葉 (7.0)	福島 (6.0)			
7. 福島	福島 (35.7)	茨城 (8.5)	千葉 (7.9)	山形 (7.3)	東京 (5.8)	新潟 (5.6)
8. 茨城	茨城 (54.8)	千葉 (11.8)	東京 (5.4)			
9. 栃木	栃木 (41.7)	群馬 (9.8)	千葉 (9.8)	茨城 (5.3)		
10. 群馬	群馬 (42.8)	千葉 (8.2)	埼玉 (5.8)	東京 (5.8)	新潟 (5.6)	
11. 埼玉	埼玉 (38.3)	東京 (17.3)	千葉 (8.7)	群馬 (5.3)		
12. 千葉	千葉 (33.0)	東京 (19.9)	埼玉 (9.4)	茨城 (8.7)		
13. 東京	東京 (40.2)	千葉 (12.6)	埼玉 (11.4)	神奈川 (9.9)		
14. 神奈川	神奈川 (34.9)	東京 (26.7)	千葉 (8.1)			
15. 新潟	新潟 (50.7)	東京 (7.6)				
16. 富山	富山 (52.7)	新潟 (8.7)				
17. 石川	石川 (23.8)	富山 (22.6)	山梨 (7.2)	福井 (6.1)		
18. 福井	福井 (34.5)	山梨 (8.7)	富山 (7.3)	千葉 (5.3)		
19. 山梨	山梨 (61.8)	千葉 (8.2)	東京 (7.2)			
20. 長野	長野 (34.0)	山梨 (12.3)	東京 (8.5)	千葉 (8.4)		
21. 岐阜	岐阜 (29.0)	愛知 (12.9)	山梨 (10.5)	静岡 (7.1)	富山 (5.1)	
22. 静岡	静岡 (34.2)	山梨 (13.7)	千葉 (6.7)	東京 (5.8)		
23. 愛知	愛知 (42.9)	岐阜 (9.9)	静岡 (7.0)	山梨 (6.8)		
24. 三重	三重 (28.6)	愛知 (13.2)	大阪 (8.1)	静岡 (7.0)	山梨 (6.7)	
25. 滋賀	滋賀 (28.7)	大阪 (12.5)	京都 (7.8)			
26. 京都	京都 (30.1)	大阪 (19.7)	兵庫 (6.9)			
27. 大阪	大阪 (45.2)	兵庫 (8.6)	京都 (8.3)			
28. 兵庫	大阪 (25.1)	兵庫 (22.8)				
29. 奈良	大阪 (32.5)	奈良 (19.6)	京都 (7.7)	兵庫 (5.9)		
30. 和歌山	和歌山 (32.8)	大阪 (20.5)				
31. 鳥取	鳥取 (31.5)	島根 (10.0)	大阪 (6.0)			
32. 島根	島根 (34.9)	山口 (14.8)	鳥取 (6.8)			
33. 岡山	岡山 (21.8)	山口 (8.7)	高知 (6.3)	香川 (5.9)	大阪 (5.7)	山梨 (5.3)
34. 広島	広島 (35.0)	山口 (14.3)				
35. 山口	山口 (46.8)	福岡 (7.3)	広島 (6.9)			
36. 徳島	徳島 (33.8)	高知 (15.6)	大阪 (8.6)	香川 (5.6)		
37. 香川	香川 (30.1)	徳島 (7.1)	高知 (6.9)	大阪 (6.6)	岡山 (5.3)	
38. 愛媛	愛媛 (25.8)	高知 (16.7)	香川 (5.8)	山口 (5.4)		
39. 高知	高知 (47.1)	徳島 (6.5)	千葉 (5.2)			
40. 福岡	福岡 (37.6)	山口 (11.6)	長崎 (6.8)	熊本 (6.4)	佐賀 (5.8)	
41. 佐賀	佐賀 (40.6)	長崎 (12.5)	福岡 (11.0)	山口 (5.9)	熊本 (5.3)	
42. 長崎	長崎 (38.8)	福岡 (12.4)	佐賀 (10.3)	山口 (5.6)		
43. 熊本	熊本 (41.0)	福岡 (13.8)	長崎 (6.7)	鹿児島 (5.7)	佐賀 (5.1)	
44. 大分	大分 (31.0)	山口 (11.6)	福岡 (11.3)	長崎 (7.9)		
45. 宮崎	宮崎 (30.5)	鹿児島 (13.7)	福岡 (7.4)	熊本 (6.4)	長崎 (5.5)	山口 (5.4)
46. 鹿児島	鹿児島 (53.8)	福岡 (6.1)				
47. 沖縄	沖縄 (73.3)					

(3) 得点第5五分位層

出身県	1	2	3	4	5	6	7	8
1. 北海道	北海道(66.1)	東京(8.4)	宮城(6.0)					
2. 青森	青森(24.9)	宮城(23.4)	東京(13.4)	北海道(11.3)				
3. 岩手	宮城(37.8)	東京(11.2)	岩手(9.8)	北海道(8.3)				
4. 宮城	宮城(62.3)	東京(8.8)						
5. 秋田	宮城(29.4)	秋田(14.8)	東京(13.1)	北海道(7.6)	新潟(5.5)			
6. 山形	宮城(33.6)	山形(20.4)	東京(12.6)					
7. 福島	宮城(27.1)	東京(19.8)	福島(17.0)					
8. 茨城	茨城(22.0)	東京(20.1)	宮城(16.1)	千葉(5.6)				
9. 栃木	東京(20.7)	宮城(20.4)	茨城(6.9)	千葉(6.7)	群馬(5.4)	栃木(5.2)		
10. 群馬	群馬(23.9)	東京(17.7)	宮城(14.3)	京都(5.9)				
11. 埼玉	東京(44.1)	宮城(9.4)	埼玉(6.9)	千葉(6.2)				
12. 千葉	東京(36.0)	千葉(21.2)	宮城(8.4)					
13. 東京	東京(59.4)	千葉(7.1)						
14. 神奈川	東京(49.0)	神奈川(14.3)	宮城(5.0)					
15. 新潟	新潟(32.6)	東京(15.1)	宮城(14.3)					
16. 富山	東京(19.7)	石川(18.5)	富山(14.4)	大阪(7.1)	京都(7.1)	宮城(6.6)		
17. 石川	石川(31.7)	東京(15.5)	京都(7.0)	大阪(6.8)				
18. 福井	石川(16.7)	福井(13.6)	大阪(12.0)	東京(11.4)	京都(9.0)	兵庫(5.4)		
19. 山梨	東京(24.3)	山梨(13.7)	宮城(10.9)	静岡(6.7)	京都(5.9)	茨城(5.3)		
20. 長野	東京(21.8)	長野(13.4)	宮城(11.5)	京都(7.1)	千葉(5.3)			
21. 岐阜	愛知(26.6)	岐阜(18.1)	東京(9.9)	京都(7.7)	静岡(7.1)	大阪(6.8)		
22. 静岡	静岡(23.7)	東京(17.6)	宮城(8.8)	愛知(8.8)	京都(7.2)			
23. 愛知	愛知(44.8)	東京(11.5)	京都(7.2)	岐阜(7.0)	静岡(6.2)	大阪(5.4)		
24. 三重	愛知(20.3)	三重(14.4)	東京(10.4)	大阪(10.2)	京都(10.2)	静岡(6.0)		
25. 滋賀	大阪(24.3)	京都(23.5)	滋賀(10.0)	兵庫(6.2)	愛知(5.6)			
26. 京都	京都(37.0)	大阪(23.6)	兵庫(7.7)	東京(7.0)				
27. 大阪	大阪(45.6)	京都(18.0)	兵庫(12.2)					
28. 兵庫	大阪(27.8)	兵庫(21.0)	京都(13.2)	東京(12.2)				
29. 奈良	大阪(39.1)	京都(16.0)	兵庫(11.0)	奈良(10.1)	東京(5.9)			
30. 和歌山	大阪(32.3)	和歌山(15.3)	兵庫(8.7)	東京(7.4)	京都(7.1)			
31. 鳥取	鳥取(17.3)	大阪(13.9)	広島(10.0)	東京(8.4)	京都(7.4)	兵庫(5.2)		
32. 島根	広島(17.0)	大阪(13.9)	島根(13.0)	京都(9.2)	東京(8.3)			
33. 岡山	岡山(30.8)	大阪(13.9)	東京(12.5)	京都(7.4)	広島(6.0)	兵庫(5.2)		
34. 広島	広島(32.6)	東京(15.6)	大阪(10.7)	京都(8.8)				
35. 山口	福岡(15.2)	広島(14.5)	山口(13.4)	東京(11.6)	大阪(11.1)	京都(8.8)		
36. 徳島	徳島(29.5)	大阪(15.8)	京都(9.9)	東京(9.8)	兵庫(5.3)			
37. 香川	大阪(15.4)	東京(14.1)	京都(10.4)	広島(8.3)	兵庫(7.2)	岡山(7.0)	徳島(6.8)	香川(5.4)
38. 愛媛	東京(14.2)	大阪(13.2)	広島(10.6)	愛媛(10.3)	京都(6.9)	兵庫(6.2)		
39. 高知	高知(24.5)	大阪(10.0)	東京(9.8)	京都(8.7)	徳島(6.7)	兵庫(5.3)		
40. 福岡	福岡(45.2)	東京(11.5)	京都(5.5)					
41. 佐賀	福岡(31.3)	佐賀(15.0)	東京(8.7)	熊本(7.6)	長崎(5.8)			
42. 長崎	長崎(27.4)	福岡(26.0)	東京(8.6)	広島(6.6)				
43. 熊本	熊本(33.2)	福岡(22.1)	東京(10.0)					
44. 大分	福岡(24.4)	東京(12.8)	大分(10.6)	熊本(9.7)	広島(7.9)	大阪(7.0)		
45. 宮崎	福岡(25.4)	宮崎(12.8)	東京(9.1)	熊本(7.1)	鹿児島(6.2)	大阪(6.2)		
46. 鹿児島	東京(26.8)	福岡(21.0)	鹿児島(18.6)	京都(5.4)				
47. 沖縄	沖縄(8.2)	佐賀(8.2)	大阪(8.2)	鹿児島(6.8)	宮崎(6.8)	福岡(5.4)	京都(5.4)	茨城(5.4)

表A-2. 出身県別合格先 (昭和54年度)

出身県	1	2	3	4	5	6	7
1. 北海道	北海道(77.1)						
2. 青森	青森 (45.6)	岩手 (12.3)	北海道(11.4)	宮城 (7.7)	東京 (6.1)		
3. 岩手	岩手 (54.9)	宮城 (10.1)	青森 (6.3)				
4. 宮城	宮城 (41.8)	山形 (15.1)	岩手 (7.9)	福島 (6.7)	東京 (5.2)		
5. 秋田	秋田 (43.1)	宮城 (9.8)	岩手 (8.0)	新潟 (6.7)	青森 (5.6)	東京 (5.2)	
6. 山形	山形 (50.5)	宮城 (9.8)					
7. 福島	福島 (34.3)	宮城 (10.8)	山形 (10.4)	茨城 (9.2)	東京 (8.5)	新潟 (5.2)	
8. 茨城	茨城 (61.9)	東京 (9.3)	宮城 (5.1)				
9. 栃木	栃木 (35.9)	東京 (10.0)	宮城 (8.5)	群馬 (8.4)	茨城 (6.8)		
10. 群馬	群馬 (44.9)	東京 (9.1)	宮城 (6.5)	新潟 (5.5)			
11. 埼玉	埼玉 (31.0)	東京 (26.7)	千葉 (5.9)	宮城 (5.0)			
12. 千葉	千葉 (31.9)	東京 (24.7)	茨城 (8.0)				
13. 東京	東京 (52.1)	千葉 (8.7)	神奈川(7.5)	埼玉 (5.7)			
14. 神奈川	東京 (37.5)	神奈川(29.9)					
15. 新潟	新潟 (55.3)	東京 (7.8)	宮城 (5.7)				
16. 富山	富山 (43.7)	石川 (13.8)	東京 (7.8)	新潟 (6.5)			
17. 石川	石川 (37.9)	富山 (15.3)	東京 (7.5)	山梨 (5.3)			
18. 福井	福井 (37.9)	石川 (10.7)	東京 (5.6)				
19. 山梨	山梨 (51.2)	東京 (12.3)					
20. 長野	長野 (35.6)	東京 (14.0)	山梨 (7.2)	宮城 (5.3)			
21. 岐阜	岐阜 (27.8)	愛知 (23.1)	山梨 (5.2)				
22. 静岡	静岡 (38.6)	東京 (9.6)	山梨 (6.2)	愛知 (5.2)			
23. 愛知	愛知 (50.2)	岐阜 (6.8)	東京 (5.6)	静岡 (5.5)			
24. 三重	三重 (37.6)	愛知 (17.1)					
25. 滋賀	滋賀 (31.2)	京都 (14.8)	大阪 (8.6)				
26. 京都	京都 (39.6)	大阪 (14.7)	兵庫 (7.3)				
27. 大阪	大阪 (41.0)	京都 (14.2)	兵庫 (13.0)				
28. 兵庫	兵庫 (27.3)	大阪 (20.5)	京都 (8.9)	東京 (6.9)			
29. 奈良	大阪 (30.6)	奈良 (18.6)	京都 (13.4)	兵庫 (9.5)			
30. 和歌山	和歌山(33.5)	大阪 (18.8)	兵庫 (7.6)				
31. 鳥取	鳥取 (37.2)	広島 (6.8)	島根 (6.3)	大阪 (5.7)	東京 (5.2)		
32. 島根	島根 (37.2)	広島 (11.3)	山口 (8.0)				
33. 岡山	岡山 (35.4)	東京 (5.4)					
34. 広島	広島 (41.6)	山口 (8.3)	東京 (7.0)				
35. 山口	山口 (36.9)	福岡 (12.4)	広島 (12.3)	東京 (5.9)			
36. 徳島	徳島 (43.2)	高知 (8.1)	大阪 (5.8)	香川 (5.6)			
37. 香川	香川 (31.1)	徳島 (7.3)	東京 (7.2)	広島 (6.3)	岡山 (5.8)	大阪 (5.7)	愛媛 (5.1)
38. 愛媛	愛媛 (38.1)	高知 (6.6)	広島 (6.5)	東京 (5.4)			
39. 高知	高知 (51.8)	東京 (5.8)					
40. 福岡	福岡 (48.8)	山口 (7.1)	熊本 (7.0)	佐賀 (5.3)			
41. 佐賀	佐賀 (43.1)	福岡 (17.6)	長崎 (8.6)	熊本 (6.7)			
42. 長崎	長崎 (41.3)	福岡 (17.6)	佐賀 (8.3)				
43. 熊本	熊本 (48.4)	福岡 (16.9)					
44. 大分	大分 (34.0)	福岡 (16.3)	熊本 (9.1)				
45. 宮崎	宮崎 (31.5)	福岡 (14.2)	鹿児島(12.6)	熊本 (9.0)	沖縄 (5.5)		
46. 鹿児島	鹿児島(46.6)	福岡 (14.9)	東京 (10.3)				
47. 沖縄	沖縄 (92.9)						

表A-3. 自県内志願率の年次変化
 (全体)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
1. 北海道	72.0	71.0	72.3	73.3	73.8	73.8	71.8	71.3
2. 青森	41.3	44.3	39.9	44.8	39.3	40.9	45.4	39.5
3. 岩手	42.0	40.5	43.9	44.5	47.4	47.1	49.5	46.1
4. 宮城	39.3	43.3	39.2	39.5	38.9	41.5	42.0	42.1
5. 秋田	42.5	35.1	37.2	38.2	37.5	39.1	40.9	37.1
6. 山形	40.4	40.8	40.9	42.8	41.7	43.6	44.1	47.4
7. 福島	35.0	27.9	33.6	31.9	29.8	30.6	30.3	28.0
8. 茨城	57.1	59.1	57.6	55.4	54.4	52.9	50.7	48.6
9. 栃木	31.1	30.4	30.1	33.6	32.5	29.7	27.0	23.7
10. 群馬	44.2	45.4	45.4	47.6	48.6	47.1	45.6	46.7
11. 埼玉	28.3	27.7	25.4	25.0	24.1	22.9	23.5	22.7
12. 千葉	29.1	26.5	28.8	27.3	27.0	25.7	27.0	24.9
13. 東京	47.1	52.3	52.3	54.0	53.1	54.0	53.2	53.3
14. 神奈川	28.4	29.0	27.5	26.8	24.9	22.9	21.2	22.5
15. 新潟	44.9	50.3	56.3	55.6	57.6	54.1	57.1	56.2
16. 富山	40.3	43.7	40.0	42.8	42.7	42.0	42.6	40.8
17. 石川	29.9	30.5	32.3	31.8	33.2	31.9	30.9	34.1
18. 福井	30.1	28.6	30.4	31.4	35.6	32.5	26.5	29.3
19. 山梨	54.2	53.7	58.4	59.2	55.8	53.7	51.7	52.5
20. 長野	30.3	30.8	30.4	31.6	33.3	31.7	32.6	32.5
21. 岐阜	25.6	23.1	24.1	23.0	23.8	25.1	26.9	24.1
22. 静岡	30.0	30.8	30.9	31.5	31.3	31.3	31.5	28.7
23. 愛知	44.3	43.2	43.0	42.0	38.5	37.2	35.5	35.8
24. 三重	24.1	30.6	28.8	28.8	32.3	35.0	34.0	34.9
25. 滋賀	24.6	25.4	22.0	21.8	20.4	18.5	20.1	17.4
26. 京都	33.8	34.7	35.3	36.3	36.4	36.1	35.3	35.2
27. 大阪	44.7	45.2	44.2	45.0	44.0	41.7	40.4	40.2
28. 兵庫	22.6	23.3	24.5	29.4	25.4	24.7	26.2	31.3
29. 奈良	16.7	12.2	15.5	11.8	12.5	11.3	9.6	12.2
30. 和歌山	28.4	30.0	33.4	31.7	30.2	31.1	26.7	30.5
31. 鳥取	27.7	30.0	29.8	34.1	32.6	34.4	30.6	32.2
32. 島根	29.9	27.1	31.9	32.5	29.9	29.0	36.3	31.0
33. 岡山	26.8	26.7	29.4	27.0	25.9	23.5	24.6	22.8
34. 広島	34.8	35.6	33.8	32.3	31.8	29.6	30.7	28.7
35. 山口	37.3	32.8	36.5	35.8	35.3	38.6	35.8	36.2
36. 徳島	34.5	29.7	32.4	30.8	32.0	31.6	26.3	22.5
37. 香川	22.7	31.1	29.5	33.9	32.7	30.4	29.3	30.0
38. 愛媛	23.6	32.7	32.1	31.1	30.7	28.9	31.9	29.2
39. 高知	50.1	52.8	47.8	44.7	46.4	50.6	49.4	49.8
40. 福岡	40.1	45.5	44.2	42.6	43.2	42.1	37.2	40.2
41. 佐賀	36.9	36.3	39.1	43.5	43.9	42.3	41.7	40.1
42. 長崎	34.8	39.3	32.1	33.6	31.8	28.8	30.7	29.3
43. 熊本	38.8	38.0	38.6	38.4	38.7	37.2	35.9	37.9
44. 大分	24.1	30.1	28.5	29.1	30.2	27.6	32.4	27.7
45. 宮崎	22.9	29.5	27.3	28.6	27.9	26.3	27.1	25.9
46. 鹿児島	40.5	41.3	40.6	39.8	42.3	40.6	45.3	43.1
47. 沖縄	88.1	86.9	90.8	93.2	92.3	90.4	92.1	93.3

(得点第1五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
1. 北海道	79.6	77.5	79.9	82.0	79.3	81.1	77.5	78.4
2. 青森	46.0	50.4	42.9	50.5	46.1	44.0	55.9	47.1
3. 岩手	44.1	44.4	50.1	52.0	57.1	56.4	62.2	55.2
4. 宮城	34.8	49.8	37.6	36.0	34.6	39.0	33.9	33.9
5. 秋田	60.0	45.4	49.6	46.7	49.2	54.2	53.6	49.9
6. 山形	47.8	44.1	46.6	49.9	50.4	48.7	53.6	58.1
7. 福島	46.3	28.4	34.8	32.2	34.1	32.7	33.8	30.8
8. 茨城	70.3	69.4	65.7	65.8	63.7	63.1	60.8	54.9
9. 栃木	34.5	34.8	34.0	37.4	37.9	33.6	28.2	23.3
10. 群馬	55.5	53.7	55.0	59.8	58.9	57.7	54.4	56.8
11. 埼玉	32.2	30.8	27.2	29.5	25.8	25.4	25.5	26.6
12. 千葉	23.9	23.9	24.6	22.3	21.3	22.3	25.4	22.8
13. 東京	50.9	57.9	58.9	60.1	56.2	57.5	55.4	55.7
14. 神奈川	27.3	26.7	24.4	23.4	22.0	19.1	18.0	22.9
15. 新潟	44.6	51.2	62.9	62.3	63.0	61.9	63.0	61.9
16. 富山	48.2	54.1	46.1	47.0	52.8	51.8	53.4	53.8
17. 石川	34.3	30.3	31.2	27.9	26.5	27.8	34.0	33.1
18. 福井	40.9	35.8	42.2	43.7	45.4	36.1	27.7	32.5
19. 山梨	62.1	55.0	65.7	60.0	61.5	62.1	52.2	58.7
20. 長野	39.2	39.8	35.8	40.0	46.5	46.0	40.2	43.8
21. 岐阜	26.7	26.3	24.3	23.9	19.1	22.4	19.3	18.8
22. 静岡	24.3	27.5	23.0	23.3	24.8	27.4	25.8	25.3
23. 愛知	46.0	41.6	39.9	37.1	31.2	33.0	30.2	31.2
24. 三重	26.0	38.5	34.8	33.5	42.6	44.5	39.8	44.5
25. 滋賀	30.0	23.9	22.7	18.8	16.4	18.3	22.1	18.6
26. 京都	40.0	44.0	42.4	42.6	43.5	45.8	40.0	39.8
27. 大阪	39.0	38.6	34.7	32.7	30.0	28.6	29.6	28.7
28. 兵庫	22.0	22.0	25.3	34.0	28.2	26.8	28.4	27.5
29. 奈良	22.5	12.9	15.8	11.7	13.1	11.7	14.2	17.2
30. 和歌山	35.5	37.8	46.9	42.5	42.5	46.1	44.8	42.7
31. 鳥取	33.9	36.6	40.6	46.5	42.9	44.4	38.0	40.8
32. 島根	35.8	29.9	34.1	34.0	38.0	32.0	41.5	36.4
33. 岡山	18.5	17.4	21.7	17.2	13.3	16.6	16.0	13.4
34. 広島	31.3	30.9	28.0	25.0	26.3	27.9	27.4	25.5
35. 山口	41.2	34.2	40.6	39.4	39.8	44.3	42.2	41.2
36. 徳島	38.0	26.6	30.0	22.8	26.0	27.4	20.3	22.3
37. 香川	31.0	37.4	36.0	44.3	38.3	36.9	36.8	38.3
38. 愛媛	29.9	41.7	36.2	30.3	30.5	27.7	29.3	25.1
39. 高知	72.7	67.3	65.9	64.2	73.9	77.8	73.9	76.1
40. 福岡	39.6	45.8	44.2	39.9	38.6	39.3	35.2	38.9
41. 佐賀	46.5	50.9	49.7	59.3	60.2	58.1	50.5	53.6
42. 長崎	32.1	33.9	29.2	33.5	30.0	29.8	35.0	31.2
43. 熊本	35.2	32.5	34.3	35.9	33.4	31.3	26.6	31.7
44. 大分	22.2	25.2	22.4	22.1	19.1	23.5	33.2	24.3
45. 宮崎	23.0	34.1	26.9	33.2	30.5	29.8	24.4	22.6
46. 鹿児島	45.7	41.2	42.2	40.3	42.0	40.7	45.2	40.9
47. 沖縄	94.9	94.5	94.4	96.2	95.9	95.1	95.7	96.7

(得点第3五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
1. 北海道	69.4	66.9	68.2	68.7	71.2	71.4	68.6	67.6
2. 青森	46.7	52.0	46.5	54.4	45.2	41.3	48.0	46.6
3. 岩手	51.2	53.0	54.2	53.4	54.4	48.9	54.4	51.9
4. 宮城	32.5	32.8	33.6	33.7	38.6	38.7	41.9	42.0
5. 秋田	44.9	38.3	34.9	41.3	38.4	37.6	40.1	35.1
6. 山形	46.0	46.4	45.9	51.1	45.9	56.3	50.6	55.2
7. 福島	35.7	34.2	40.4	37.2	36.5	36.7	35.1	34.8
8. 茨城	54.8	59.9	63.2	62.3	57.8	59.1	54.0	56.7
9. 栃木	41.7	40.4	38.1	43.8	40.4	38.0	37.6	36.5
10. 群馬	42.8	47.7	49.3	47.8	51.3	48.3	47.2	50.3
11. 埼玉	38.3	38.8	36.2	33.5	33.7	34.1	31.8	28.1
12. 千葉	33.0	27.6	32.2	32.1	34.4	32.2	32.2	30.3
13. 東京	40.2	43.2	40.2	41.2	41.0	42.2	43.1	40.9
14. 神奈川	34.9	37.7	37.3	35.6	33.6	30.5	27.9	27.9
15. 新潟	50.8	56.8	62.0	63.0	64.6	58.8	63.4	66.6
16. 富山	52.7	56.2	50.5	59.1	54.3	54.7	54.2	53.4
17. 石川	23.8	25.4	28.0	34.5	33.8	33.1	27.5	34.7
18. 福井	34.5	33.3	32.7	34.3	40.5	40.5	30.1	39.2
19. 山梨	61.8	64.9	68.1	72.4	64.1	67.8	67.6	57.9
20. 長野	34.0	35.0	33.5	35.7	35.9	33.6	37.3	35.2
21. 岐阜	29.0	22.4	28.0	26.0	32.5	33.0	35.1	30.2
22. 静岡	34.2	35.6	40.0	40.8	41.1	38.7	37.1	34.9
23. 愛知	42.9	41.0	38.1	38.7	34.9	33.3	32.2	32.8
24. 三重	28.6	36.7	36.1	32.9	37.0	46.9	46.5	46.2
25. 滋賀	28.7	30.7	28.3	32.0	28.1	26.4	27.5	25.9
26. 京都	30.1	29.1	30.2	34.3	31.2	32.2	30.5	32.0
27. 大阪	45.2	46.1	46.0	48.9	47.5	39.8	38.0	37.0
28. 兵庫	22.8	21.9	23.9	30.9	28.5	29.0	30.4	39.4
29. 奈良	19.6	15.6	19.2	15.6	16.4	15.3	14.8	17.2
30. 和歌山	32.8	35.1	41.8	36.4	34.9	34.3	32.8	35.9
31. 鳥取	31.5	29.9	30.5	37.4	36.8	37.4	33.0	37.6
32. 島根	34.9	34.2	42.7	45.2	42.0	42.4	49.9	45.4
33. 岡山	21.8	24.7	26.7	22.5	20.1	20.2	21.4	20.5
34. 広島	35.0	36.3	34.8	35.8	35.3	30.9	33.0	28.9
35. 山口	46.8	42.4	46.8	48.0	50.8	56.6	47.4	48.8
36. 徳島	33.8	29.4	39.2	37.7	36.8	37.7	29.6	25.5
37. 香川	30.1	40.8	36.9	42.5	40.1	42.0	36.6	40.7
38. 愛媛	25.8	39.4	40.7	43.8	43.8	41.4	48.4	45.5
39. 高知	47.1	58.3	55.5	46.4	45.0	52.9	50.5	48.2
40. 福岡	37.6	44.2	45.1	43.8	41.8	40.1	35.3	37.7
41. 佐賀	40.6	44.9	46.4	51.8	51.4	49.7	51.8	48.2
42. 長崎	38.8	45.3	26.8	35.8	35.7	29.8	33.5	32.6
43. 熊本	41.0	39.3	39.6	38.0	37.2	34.6	38.4	38.4
44. 大分	31.0	44.0	40.9	46.8	45.7	41.5	43.2	40.4
45. 宮崎	30.5	38.6	37.4	39.1	35.1	30.8	36.7	37.2
46. 鹿児島	53.9	55.3	60.4	59.5	61.5	61.6	63.6	62.1
47. 沖縄	73.3	74.2	80.9	77.3	80.1	85.0	87.9	89.0

(得点第5五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
1. 北海道	66.1	67.6	67.0	62.0	63.5	62.9	67.7	66.1
2. 青森	24.9	27.1	24.1	25.7	19.8	22.7	16.9	19.1
3. 岩手	9.8	9.5	9.4	3.6	4.3	3.6	6.2	8.9
4. 宮城	62.3	54.2	55.3	53.8	53.0	54.5	56.2	54.4
5. 秋田	14.8	18.8	23.7	18.8	21.7	21.5	14.9	18.3
6. 山形	20.4	23.2	22.5	19.0	20.2	19.0	17.6	14.7
7. 福島	17.1	19.4	19.4	22.7	17.9	15.0	17.7	12.5
8. 茨城	22.1	28.8	23.8	18.1	22.4	22.7	21.4	20.2
9. 栃木	5.2	9.7	7.7	7.2	7.6	5.2	6.9	5.2
10. 群馬	23.9	26.7	25.1	20.7	22.9	22.8	20.4	17.6
11. 埼玉	6.9	8.8	6.8	3.9	3.5	3.1	3.4	3.7
12. 千葉	21.2	20.0	24.4	20.0	17.2	16.7	16.4	13.7
13. 東京	59.4	63.7	66.1	68.5	68.5	68.6	69.7	69.5
14. 神奈川	14.3	15.3	11.4	12.2	12.2	12.2	11.1	11.3
15. 新潟	32.6	34.2	34.3	23.2	31.3	26.0	28.8	25.4
16. 富山	14.4	10.9	8.3	9.1	11.1	10.8	10.8	9.3
17. 石川	31.7	38.3	35.2	29.1	32.7	29.5	30.4	28.7
18. 福井	13.6	21.7	22.0	12.3	16.8	16.9	14.9	13.4
19. 山梨	13.7	27.2	29.1	28.2	26.5	22.9	25.0	19.4
20. 長野	13.4	15.3	15.1	15.2	13.6	12.4	12.6	11.2
21. 岐阜	18.1	16.6	17.5	15.3	17.1	17.5	19.6	17.2
22. 静岡	23.7	21.3	20.4	19.5	19.6	17.6	21.5	21.5
23. 愛知	44.8	46.5	49.5	50.9	49.4	47.4	45.9	46.8
24. 三重	14.4	12.4	16.3	14.2	12.1	12.6	11.7	8.6
25. 滋賀	10.0	17.5	12.9	11.3	11.4	7.5	6.1	5.1
26. 京都	37.0	36.4	40.1	38.9	38.1	37.6	37.7	40.6
27. 大阪	45.6	46.5	44.5	46.9	46.0	46.3	47.6	49.6
28. 兵庫	21.0	24.2	21.8	22.4	21.1	18.9	19.6	22.1
29. 奈良	10.1	8.4	9.7	9.5	8.2	8.0	5.4	5.9
30. 和歌山	15.3	13.9	13.2	11.9	13.2	11.5	7.1	8.3
31. 鳥取	17.3	19.4	12.2	10.5	12.7	17.3	13.8	12.8
32. 島根	13.0	13.3	16.0	12.5	9.1	6.9	10.3	7.2
33. 岡山	30.8	33.6	32.9	29.8	31.6	25.2	27.2	28.2
34. 広島	32.6	33.7	32.8	28.3	27.7	25.0	27.3	25.8
35. 山口	13.4	12.8	12.7	10.6	10.6	9.0	10.2	9.4
36. 徳島	29.5	27.9	29.4	28.0	23.7	27.6	26.4	19.4
37. 香川	5.4	12.8	12.7	9.6	13.1	9.1	9.3	7.5
38. 愛媛	10.3	12.1	13.7	10.5	13.5	9.9	11.1	8.6
39. 高知	24.5	25.8	17.0	15.7	16.2	16.4	11.6	14.2
40. 福岡	45.2	47.8	45.5	45.8	48.7	49.1	41.9	44.0
41. 佐賀	15.0	9.0	9.1	8.5	11.4	7.8	10.7	8.1
42. 長崎	27.4	29.6	31.9	24.6	19.1	17.5	19.1	17.1
43. 熊本	33.2	34.6	33.3	30.8	33.2	34.7	31.4	32.5
44. 大分	10.6	11.0	14.9	12.9	14.8	11.9	13.3	12.2
45. 宮崎	12.8	11.4	11.9	12.0	13.3	14.9	15.2	12.4
46. 鹿児島	18.6	18.5	16.6	12.5	15.0	14.6	21.4	19.7
47. 沖縄	8.2	10.0	60.4	69.6	70.9	61.7	57.6	66.9

表A-4. 宮城県への志願率の年次変化

(全体)

出身県	昭和	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
2. 青森		5.3	6.4	6.9	5.4	6.3	6.7	6.5	6.3
3. 岩手		9.6	11.9	11.2	9.9	8.3	9.8	9.3	9.3
4. 宮城		39.3	43.3	39.2	39.5	38.9	41.5	42.0	42.1
5. 秋田		7.8	7.9	8.7	8.0	7.2	7.4	7.7	7.4
6. 山形		9.1	11.3	10.2	8.0	6.6	9.3	8.6	9.0
7. 福島		8.8	10.6	9.2	10.3	8.3	10.6	10.5	10.7

(得点第1五分位層)

出身県	昭和	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
2. 青森		2.1	4.1	5.5	2.2	3.6	4.7	3.5	2.8
3. 岩手		5.3	11.3	10.7	6.6	4.2	7.6	6.2	3.5
4. 宮城		34.8	49.8	37.6	36.0	34.6	39.0	33.9	33.9
5. 秋田		1.6	6.0	4.0	5.5	2.9	3.6	3.5	3.3
6. 山形		6.1	18.0	10.2	6.4	6.0	9.4	5.7	5.1
7. 福島		5.2	11.2	5.9	6.8	4.7	7.9	6.3	6.3

(得点第3五分位層)

出身県	昭和	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
2. 青森		2.1	3.6	2.2	1.7	3.5	3.1	3.4	2.5
3. 岩手		3.5	3.8	4.9	6.0	4.2	5.3	4.6	5.9
4. 宮城		32.5	32.8	33.6	33.7	38.6	38.7	41.9	42.0
5. 秋田		5.0	3.0	5.2	4.4	2.7	3.7	5.5	4.5
6. 山形		3.1	3.3	3.6	2.4	1.8	3.1	4.2	5.6
7. 福島		2.8	3.7	5.5	5.4	2.7	3.3	6.2	5.1

(得点第5五分位層)

出身県	昭和	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
2. 青森		23.4	19.6	21.3	21.9	24.6	26.2	20.1	21.2
3. 岩手		37.8	32.6	33.4	33.9	32.7	36.0	31.2	31.0
4. 宮城		62.3	54.2	55.3	53.8	53.0	54.5	56.2	54.4
5. 秋田		29.4	24.0	26.8	28.0	27.7	25.1	28.3	26.4
6. 山形		33.6	23.8	26.1	29.5	24.4	27.0	27.2	33.9
7. 福島		27.1	23.5	27.8	25.2	25.8	26.5	25.8	29.2
8. 茨城		16.1	12.3	14.0	16.0	12.4	13.7	13.7	11.1
9. 栃木		20.5	15.1	15.3	15.5	16.5	14.1	13.6	16.7
10. 群馬		14.3	11.8	10.4	14.5	10.1	9.4	7.0	10.1
11. 埼玉		9.4	7.5	8.3	8.6	7.4	7.8	6.7	6.2
12. 千葉		8.4	5.3	7.4	8.4	6.3	5.9	5.0	5.4
13. 東京		4.4	3.5	3.3	3.2	2.9	2.8	3.0	2.7
14. 神奈川		5.0	4.0	4.5	4.6	4.7	4.2	3.6	4.7
15. 新潟		14.4	10.3	9.2	12.8	10.1	10.2	8.6	10.0
16. 富山		6.6	6.3	3.8	6.3	5.2	5.5	4.9	6.3
19. 山梨		10.9	8.4	8.3	10.7	7.0	10.3	6.6	8.2
20. 長野		11.6	8.7	9.9	9.1	8.6	7.7	6.7	8.9
22. 静岡		8.8	6.9	7.1	7.9	6.4	6.1	6.1	5.3

表A-5. 愛知県への志願率の年次変化

(全体)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
21. 岐 卓	17.6	19.6	20.8	18.1	17.3	16.4	16.6	15.6
23. 愛 知	44.3	43.2	43.0	42.0	38.5	37.2	35.5	35.8
24. 三 重	16.0	15.0	15.5	15.6	14.0	13.4	13.3	13.9

(得点第1五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
21. 岐 卓	17.2	18.2	15.5	16.1	12.5	13.3	13.7	10.9
23. 愛 知	46.0	41.6	39.9	37.1	31.2	33.0	30.2	31.2
24. 三 重	12.8	13.1	12.4	9.3	9.7	9.3	9.9	9.5

(得点第3五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
21. 岐 卓	12.9	17.8	14.2	11.7	10.0	9.1	8.8	7.5
23. 愛 知	42.9	41.0	38.1	38.7	34.9	33.3	32.2	32.8
24. 三 重	13.3	13.0	11.9	10.7	10.8	7.9	6.2	8.4

(得点第5五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
21. 岐 卓	26.6	28.6	34.3	33.7	34.9	32.4	32.2	34.1
23. 愛 知	44.8	46.5	49.5	50.9	49.4	47.4	45.9	46.8
24. 三 重	20.3	20.7	25.8	24.3	24.0	25.8	24.9	25.7

表A-6. 大阪府、京都府への志願率の年次変化 (全体)

注) 上段 大阪府への志願率, 中段 京都府への志願率, 下段 計

出身県	昭和	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
25. 滋賀		13.7	12.5	13.8	13.1	14.3	14.8	13.8	12.7
		12.3	12.6	12.4	13.0	13.2	14.2	14.1	13.9
		26.0	25.1	26.2	26.1	27.5	29.0	27.9	26.6
26. 京都		18.9	19.2	18.0	17.5	18.0	17.4	16.6	17.3
		33.8	34.7	35.3	36.3	36.4	36.1	35.3	35.2
		52.7	53.9	53.3	53.8	54.4	53.5	51.9	52.5
27. 大阪		44.7	45.2	44.2	45.0	44.0	41.7	40.4	40.2
		10.5	10.9	11.8	12.1	13.2	14.2	13.5	12.9
		55.2	56.1	56.0	57.1	57.2	55.9	53.9	53.1
28. 兵庫		26.1	26.0	24.8	23.6	24.8	23.7	22.4	20.7
		7.5	7.3	8.0	8.2	9.1	9.1	8.6	8.2
		33.6	33.3	32.8	31.8	33.9	32.8	31.0	28.9
29. 奈良		34.3	34.1	33.5	38.0	33.5	32.7	33.9	33.6
		10.0	12.3	13.0	13.1	14.4	15.7	14.4	13.8
		44.3	46.4	46.5	51.1	47.9	48.4	48.3	47.4
30. 和歌山		22.0	19.1	18.5	19.8	19.2	20.1	18.9	18.1
		3.9	4.5	4.0	4.2	4.5	4.2	4.2	4.7
		25.9	23.6	22.5	24.0	23.7	24.3	23.1	22.8

(得点第1五分位層)

出身県	昭和	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
25. 滋賀		7.1	6.9	3.6	5.1	4.0	4.5	3.4	5.5
		11.7	13.1	13.9	16.5	15.9	16.9	14.2	14.1
		18.8	20.0	17.5	21.6	19.9	21.4	17.6	19.6
26. 京都		13.2	13.5	11.2	9.7	9.8	8.1	9.4	8.3
		40.0	44.0	42.4	42.6	43.5	45.8	40.0	39.8
		53.2	57.5	53.7	52.3	53.3	53.9	49.4	48.1
27. 大阪		39.0	38.6	34.7	32.7	30.0	28.6	29.6	28.7
		10.7	11.9	14.1	15.9	17.0	17.6	14.8	13.6
		49.7	50.5	48.8	48.6	47.0	46.2	44.4	42.3
28. 兵庫		21.2	19.3	17.0	13.3	12.8	12.9	12.6	11.5
		9.1	9.0	9.5	9.0	10.0	10.5	10.6	10.0
		30.3	28.3	26.5	22.3	22.8	23.4	23.2	21.5
29. 奈良		23.3	22.8	19.1	18.3	15.2	16.4	15.6	14.9
		9.3	15.9	18.4	18.3	17.2	19.1	15.9	18.2
		32.6	37.7	37.5	36.6	32.4	35.5	31.5	33.1
30. 和歌山		14.4	11.1	8.4	6.8	7.1	6.8	5.5	8.6
		3.1	2.9	4.4	2.5	5.0	2.7	3.0	3.3
		17.5	14.0	12.8	9.3	12.1	9.5	8.5	11.9

(得点第3五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
25. 滋賀	12.5	10.6	10.0	8.0	8.9	8.0	8.4	7.7
	7.8	8.7	7.5	10.9	8.9	11.1	10.0	10.8
	20.3	19.3	17.5	18.9	17.8	19.1	18.4	18.5
26. 京都	19.7	20.0	17.6	17.1	18.8	18.1	14.3	17.0
	30.1	29.1	30.2	34.3	31.2	32.2	30.5	32.0
	49.8	49.1	47.8	51.4	50.0	50.3	44.8	49.0
27. 大阪	45.2	46.1	46.0	48.9	47.5	39.8	38.0	37.0
	8.3	8.8	8.4	8.2	10.9	13.0	12.4	12.2
	53.5	54.9	54.4	57.1	58.4	52.8	50.4	49.2
28. 兵庫	25.2	26.6	23.5	23.9	23.2	20.2	17.5	16.1
	4.6	4.5	4.8	4.6	6.6	6.3	5.6	5.4
	29.8	31.1	28.3	28.5	29.8	26.5	23.1	21.5
29. 奈良	32.5	33.5	33.3	39.8	35.2	29.0	27.7	27.6
	7.8	7.5	9.9	8.7	10.1	13.9	10.3	9.7
	40.3	41.0	33.2	48.5	45.3	42.9	38.0	37.3
30. 和歌山	20.5	17.9	15.7	19.0	16.6	16.9	15.0	12.3
	3.4	2.3	2.5	1.7	2.3	2.3	1.7	1.7
	23.9	20.2	18.2	20.7	18.9	19.2	16.7	14.0

(得点第5五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
25. 滋賀	24.3	21.4	24.0	24.3	29.1	28.2	28.0	31.8
	23.5	21.6	23.2	20.2	20.3	23.1	23.9	20.2
	47.8	43.0	47.2	44.5	49.4	51.3	51.9	52.0
26. 京都	23.6	23.5	23.4	24.5	25.2	26.5	25.3	25.0
	37.0	36.4	40.1	38.9	38.1	37.6	37.7	40.6
	60.6	59.9	63.5	63.4	63.3	64.1	63.0	65.6
27. 大阪	45.6	46.5	44.5	46.9	46.0	46.3	47.6	49.6
	18.0	16.0	17.7	18.6	18.4	18.8	18.2	17.0
	63.6	62.5	62.2	65.5	64.4	65.1	65.8	66.6
28. 兵庫	27.8	28.1	28.6	28.7	30.3	33.0	33.3	33.2
	13.2	13.2	14.6	15.4	15.6	15.5	14.4	13.9
	41.0	41.3	43.2	44.1	45.9	48.5	47.7	47.1
29. 奈良	39.1	35.5	38.1	41.8	36.6	35.3	40.6	42.6
	16.0	18.6	19.5	18.9	22.0	20.5	20.1	19.6
	55.0	54.1	57.6	60.7	58.6	55.8	60.7	62.2
30. 和歌山	32.3	29.0	30.9	33.2	32.0	35.0	37.0	37.7
	7.1	9.6	8.7	10.7	10.3	9.7	9.2	13.4
	39.4	38.6	39.6	43.9	42.3	44.7	46.2	51.1

31. 鳥 取	13.9	12.0	12.7	16.5	15.3	17.3	20.3	17.1
	7.4	5.3	10.5	9.9	7.5	9.6	7.8	8.8
	21.3	17.3	23.2	26.4	22.8	26.9	28.1	25.9
32. 島 根	13.9	13.1	12.1	11.4	14.8	19.0	16.5	17.2
	9.2	8.3	10.1	10.4	9.3	11.2	10.3	8.2
	23.1	21.4	22.2	21.8	24.1	30.2	26.8	25.4
33. 岡 山	13.9	12.9	14.1	16.7	16.4	19.2	20.9	19.8
	7.4	6.3	7.4	8.3	7.1	7.4	8.2	7.7
	21.3	19.2	21.5	25.0	23.5	26.6	29.1	27.5
34. 広 島	10.7	11.4	10.6	13.6	13.9	15.2	16.6	15.4
	8.8	6.2	7.7	9.5	8.6	10.2	8.8	7.4
	19.5	17.6	18.3	23.1	22.5	25.4	25.4	22.8
35. 山 口	11.1	11.0	8.8	13.6	11.9	15.3	13.3	16.1
	8.8	7.9	8.9	9.5	8.5	8.1	8.9	8.9
	19.9	18.9	17.7	23.1	20.4	23.4	22.2	25.0
36. 徳 島	15.8	15.3	14.5	15.8	19.3	19.8	16.8	20.6
	9.9	7.6	8.5	7.6	8.6	9.6	8.3	6.7
	25.7	22.9	23.0	23.4	27.9	29.4	25.1	27.3
37. 香 川	15.4	16.8	15.3	22.2	21.9	24.0	23.1	21.5
	10.4	9.5	12.9	10.9	11.6	10.0	7.8	9.4
	25.8	26.3	28.2	23.1	33.5	24.0	30.9	30.9
38. 愛 媛	13.2	13.8	13.6	16.4	16.4	16.2	17.9	19.9
	6.9	6.6	8.7	8.4	7.4	7.7	6.8	6.8
	20.1	20.4	22.3	24.8	23.8	23.9	24.7	26.7
40. 高 知	10.0	8.3	14.0	13.5	19.8	19.8	19.5	17.6
	8.7	7.4	8.3	11.0	9.8	8.2	9.6	6.8
	18.7	15.7	22.3	24.5	29.6	28.0	29.1	24.4

表A-7. 福岡県への志願率の年次変化

(全体)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
40. 福岡	40.1	45.5	44.2	42.6	43.2	42.1	37.2	40.2
41. 佐賀	15.6	18.3	16.7	14.7	14.9	14.3	13.5	15.1
42. 長崎	15.5	15.5	15.0	12.7	12.6	13.0	11.5	11.8
43. 熊本	14.6	14.3	15.0	12.8	12.4	12.7	11.3	11.9
44. 大分	15.0	12.6	12.2	11.8	12.9	12.3	11.7	12.1
45. 宮崎	12.0	11.9	12.0	10.0	9.8	9.6	8.2	6.9
46. 鹿児島	10.6	12.4	10.9	9.6	10.3	9.8	8.4	8.1

(得点第1五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
40. 福岡	39.6	45.8	44.2	39.9	38.6	39.3	35.2	38.9
41. 佐賀	16.6	14.2	14.6	7.3	9.2	9.4	10.9	11.8
42. 長崎	13.8	14.6	12.9	9.5	7.6	7.1	8.3	9.3
43. 熊本	14.5	13.3	14.2	11.6	10.0	10.4	11.4	11.8
44. 大分	16.1	12.1	14.5	10.0	14.7	9.9	13.2	14.1
45. 宮崎	11.9	10.0	9.6	5.2	6.6	7.0	6.4	6.4
46. 鹿児島	4.8	6.7	6.0	4.1	5.3	3.6	5.8	7.6

(得点第3五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
40. 福岡	37.6	44.2	45.1	43.8	41.8	40.1	35.3	37.7
41. 佐賀	11.0	13.4	13.9	11.8	10.7	10.1	11.1	10.0
42. 長崎	12.4	13.5	15.9	10.0	9.1	9.4	8.7	8.0
43. 熊本	13.9	12.9	14.7	11.2	11.2	11.9	7.4	9.5
44. 大分	11.3	9.2	8.6	8.7	11.7	8.1	7.9	8.0
45. 宮崎	7.4	9.2	10.0	6.2	5.8	6.3	5.6	4.9
46. 鹿児島	6.1	10.6	5.7	7.1	6.9	7.5	3.6	3.7

(得点第5五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
40. 福岡	45.2	47.8	45.5	45.8	48.7	49.1	41.9	44.0
41. 佐賀	31.3	35.0	31.4	34.6	36.1	35.4	24.8	34.6
42. 長崎	26.0	24.7	21.2	23.3	25.4	27.7	22.4	23.4
43. 熊本	22.1	19.4	22.2	19.0	21.6	21.6	19.7	19.3
44. 大分	24.4	21.0	21.7	21.1	24.1	25.5	19.4	20.1
45. 宮崎	25.4	23.6	20.4	23.8	22.7	19.0	16.9	16.9
46. 鹿児島	21.0	20.6	19.8	18.5	18.7	17.1	14.4	15.0

表A-8. 東京都への志願率の年次変化
 (全体)

出身県	昭和	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
1.	北海道	4.3	4.4	5.0	5.5	5.6	5.6	5.4	5.7
2.	青森	6.5	7.4	7.6	7.5	7.3	8.8	7.4	7.6
3.	岩手	5.8	6.7	7.1	7.0	6.3	6.4	6.4	6.1
4.	宮城	5.7	6.3	6.4	6.8	6.8	7.2	6.8	7.3
5.	秋田	5.6	6.5	6.9	7.4	7.3	6.7	5.9	6.1
6.	山形	6.4	5.7	5.7	6.6	5.7	6.5	6.8	5.6
7.	福島	9.1	9.6	10.1	11.0	9.9	9.8	9.8	10.4
8.	茨城	9.5	10.1	11.1	12.5	12.4	12.6	12.1	12.5
9.	栃木	10.6	11.8	12.5	12.5	11.0	10.6	10.4	11.0
10.	群馬	8.6	10.0	10.4	10.2	9.3	10.1	10.2	10.2
11.	埼玉	25.4	28.2	29.1	31.5	29.9	30.8	30.4	31.0
12.	千葉	24.6	26.1	25.2	27.7	27.9	28.8	28.5	29.8
13.	東京	47.1	52.3	52.3	54.0	53.1	54.0	53.2	53.3
14.	神奈川	34.8	38.5	39.9	41.1	40.8	42.0	41.8	42.3
15.	新潟	9.8	10.2	8.1	9.1	8.5	8.7	8.1	8.6
16.	富山	7.2	8.6	8.4	9.2	9.1	9.0	8.8	8.1
17.	石川	6.9	7.8	8.1	7.4	7.2	7.9	8.2	6.8
18.	福井	4.9	5.2	5.6	7.9	5.9	7.3	7.3	5.9
19.	山梨	11.9	13.1	11.2	10.1	12.6	11.6	12.6	13.1
20.	長野	12.5	14.6	15.4	15.8	14.5	14.5	14.2	15.5
21.	岐阜	4.6	5.5	5.8	6.7	5.9	5.7	5.8	6.4
22.	静岡	9.7	11.8	12.3	13.1	12.2	12.4	12.1	12.5
23.	愛知	5.1	5.9	6.5	7.2	6.8	7.1	7.2	7.1
24.	三重	5.1	6.1	7.2	7.3	7.1	7.7	7.3	7.5
25.	滋賀	2.0	2.5	2.8	3.4	3.2	3.5	2.6	3.6
26.	京都	3.5	4.4	4.3	4.8	3.9	4.2	4.4	4.8
27.	大阪	2.0	2.8	2.9	3.2	3.2	3.1	3.0	3.2
28.	兵庫	5.0	5.8	6.0	6.4	6.1	6.0	5.5	5.3
29.	奈良	3.1	3.4	3.9	4.2	4.1	4.3	4.0	4.5
30.	和歌山	3.9	4.7	4.6	4.6	4.4	4.7	4.1	4.1
31.	鳥取	6.0	6.7	6.8	7.8	7.6	6.6	6.8	7.2
32.	島根	4.7	5.1	5.8	5.8	5.9	6.2	5.8	5.8
33.	岡山	4.8	5.7	5.8	5.2	5.5	5.9	4.9	4.9
34.	広島	7.5	8.4	8.9	9.4	9.3	9.6	9.6	10.1
35.	山口	5.4	5.7	6.0	6.2	6.9	6.5	6.6	7.0
36.	徳島	4.9	5.4	4.6	5.4	5.1	5.4	4.2	4.1
37.	香川	7.0	7.5	7.3	7.2	7.1	7.5	7.0	7.2
38.	愛媛	5.6	6.7	7.0	7.7	7.5	7.7	7.0	7.0
39.	高知	5.9	6.9	7.4	8.6	8.1	8.7	8.8	9.0
40.	福岡	4.5	5.4	5.6	5.8	5.2	5.4	5.7	6.2
41.	佐賀	3.6	3.9	5.2	4.3	3.5	4.5	3.8	4.7
42.	長崎	3.4	4.8	5.1	5.9	5.4	5.7	4.9	5.5
43.	熊本	4.8	5.2	5.7	6.8	6.1	6.2	5.6	6.0
44.	大分	4.4	4.6	4.9	5.0	5.5	5.3	4.6	4.6
45.	宮崎	4.5	5.1	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	5.7
46.	鹿児島	9.3	10.8	11.8	13.5	12.3	12.4	11.4	12.1
47.	沖縄	1.6	1.9	1.7	1.4	1.7	2.0	1.6	1.6

(得点第1五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
1. 北海道	3.8	4.9	4.9	4.0	4.8	4.8	4.6	4.6
2. 青森	5.8	7.5	7.3	6.0	5.1	7.7	5.7	5.6
3. 岩手	6.3	8.4	6.5	5.8	5.9	5.2	4.9	4.0
4. 宮城	5.4	5.9	6.7	6.7	6.4	7.1	7.0	6.8
5. 秋田	4.2	7.1	6.2	7.5	6.7	5.4	4.4	4.8
6. 山形	6.7	6.8	6.1	7.3	5.1	6.1	7.0	3.6
7. 福島	9.3	11.6	12.1	13.3	12.0	11.3	12.8	12.8
8. 茨城	10.0	11.1	12.2	13.6	13.0	13.4	11.8	13.3
9. 栃木	15.2	16.7	16.0	17.7	16.2	11.9	13.8	14.2
10. 群馬	7.9	11.6	10.5	9.1	8.6	10.7	10.7	10.8
11. 埼玉	26.7	32.8	34.8	35.5	34.0	35.3	33.0	33.8
12. 千葉	30.4	32.9	32.9	36.5	35.2	37.3	33.3	34.3
13. 東京	50.9	57.9	58.9	60.1	56.2	57.5	55.4	55.7
14. 神奈川	40.6	46.3	47.0	49.3	46.8	51.9	47.8	47.7
15. 新潟	12.7	14.2	9.5	9.1	7.9	7.1	7.6	6.8
16. 富山	4.3	5.6	4.9	5.7	4.3	5.0	5.1	2.7
17. 石川	3.3	4.7	5.2	3.7	4.6	3.3	3.8	3.2
18. 福井	5.7	5.8	5.1	5.7	4.6	9.0	6.3	3.9
19. 山梨	16.1	18.4	14.1	15.3	14.9	13.4	16.6	13.3
20. 長野	13.5	16.9	17.4	17.1	14.3	15.0	13.7	13.6
21. 岐阜	6.9	7.1	6.7	8.2	7.3	7.1	8.9	9.5
22. 静岡	12.5	16.0	16.9	17.0	16.6	18.0	18.1	17.1
23. 愛知	5.6	7.2	9.0	9.7	9.3	10.5	11.5	10.9
24. 三重	6.3	7.9	8.7	9.2	9.7	11.0	12.0	10.8
25. 滋賀	2.7	2.6	4.3	5.1	4.7	4.8	3.1	4.3
26. 京都	3.9	5.1	4.9	6.3	4.5	4.8	5.1	6.9
27. 大阪	2.5	3.6	3.9	4.8	4.3	5.1	4.4	5.3
28. 兵庫	5.0	6.1	6.1	5.9	6.6	5.6	5.7	5.6
29. 奈良	2.4	4.2	3.8	3.3	6.7	7.6	3.8	6.2
30. 和歌山	6.0	8.0	5.8	5.1	5.2	4.9	4.3	4.4
31. 鳥取	7.6	8.0	4.7	5.9	7.3	6.2	6.6	6.6
32. 島根	10.2	11.0	9.4	9.1	10.6	8.4	10.7	7.9
33. 岡山	5.8	6.4	7.6	7.5	8.5	7.3	6.6	6.3
34. 広島	10.2	10.9	11.1	13.1	11.5	12.3	11.4	10.8
35. 山口	7.2	6.5	6.4	7.1	6.2	7.4	5.1	7.9
36. 徳島	6.5	7.1	6.6	7.2	6.5	6.5	5.9	4.1
37. 香川	8.4	9.0	10.3	9.6	8.3	9.5	10.2	10.7
38. 愛媛	6.4	6.2	7.0	7.2	6.6	9.6	7.5	7.1
39. 高知	5.7	6.7	8.8	5.6	5.7	5.0	6.5	5.2
40. 福岡	4.7	6.5	5.7	6.3	6.7	6.2	5.9	6.7
41. 佐賀	4.2	4.8	5.5	4.9	4.3	5.6	3.7	4.7
42. 長崎	4.0	5.2	5.9	6.3	7.5	10.0	6.5	8.0
43. 熊本	6.9	7.7	6.8	7.9	7.9	9.2	7.6	7.6
44. 大分	6.6	5.9	6.9	6.2	7.8	6.2	5.7	5.2
45. 宮崎	4.5	6.8	6.7	6.4	7.6	6.0	5.7	7.8
46. 鹿児島	5.4	7.9	5.6	5.4	4.7	5.1	5.0	7.0
47. 沖縄	1.1	1.1	1.5	1.2	1.5	1.7	1.3	1.0

(得点第3五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
1. 北海道	3.0	2.6	3.9	3.9	3.7	3.7	3.9	3.6
2. 青森	5.3	4.8	5.9	4.8	5.9	7.2	4.9	4.2
3. 岩手	3.4	3.8	4.2	4.7	3.8	4.9	3.7	3.7
4. 宮城	4.7	4.5	6.1	3.7	5.3	5.0	3.2	5.1
5. 秋田	4.6	3.8	5.5	4.6	3.7	3.8	4.7	3.2
6. 山形	4.3	3.0	2.0	2.9	2.4	2.5	3.9	2.6
7. 福島	5.8	5.9	5.5	6.2	7.5	5.1	4.3	5.9
8. 茨城	5.5	8.0	6.7	6.3	7.9	6.5	8.1	6.0
9. 栃木	4.9	5.4	6.7	7.3	5.6	6.2	3.4	4.3
10. 群馬	5.8	4.9	5.4	7.3	5.6	6.2	5.0	5.7
11. 埼玉	17.3	18.0	18.2	19.4	17.9	20.5	18.7	20.5
12. 千葉	19.9	18.9	18.2	19.8	20.3	18.8	18.6	19.1
13. 東京	40.2	43.2	40.2	41.2	41.0	42.2	43.1	40.9
14. 神奈川	26.7	26.6	28.6	29.2	29.5	30.2	30.8	30.5
15. 新潟	7.6	5.3	5.3	5.8	3.8	4.2	3.9	3.8
16. 富山	3.1	3.5	3.4	3.0	3.8	4.3	2.9	2.9
17. 石川	4.5	6.2	4.3	2.8	4.5	3.9	5.1	3.5
18. 福井	2.0	2.0	2.5	4.2	3.8	2.9	4.7	3.2
19. 山梨	7.2	7.2	6.5	3.5	5.7	4.9	5.9	5.4
20. 長野	8.5	9.6	11.1	9.6	10.5	9.2	8.4	10.1
21. 岐阜	2.0	3.0	2.5	2.5	2.8	2.7	1.8	1.7
22. 静岡	5.8	7.1	7.9	7.0	7.5	5.7	6.4	5.5
23. 愛知	2.6	3.1	3.1	2.7	3.3	3.5	2.8	3.0
24. 三重	2.1	3.1	2.4	3.7	4.5	3.2	3.5	2.8
25. 滋賀	1.4	1.3	1.0	2.1	2.7	2.0	1.8	1.6
26. 京都	1.4	2.5	2.3	2.0	3.1	2.1	2.2	1.8
27. 大阪	1.3	1.8	1.6	1.5	1.9	1.6	1.9	1.4
28. 兵庫	2.0	2.1	2.2	2.7	2.5	2.3	2.3	1.6
29. 奈良	1.9	1.6	2.0	1.5	1.7	2.6	1.9	2.3
30. 和歌山	1.9	1.1	2.9	2.3	2.3	4.0	1.7	2.1
31. 鳥取	5.0	4.9	3.2	6.3	5.0	5.5	4.6	4.5
32. 島根	1.7	1.5	2.8	3.0	1.7	1.4	0.4	2.9
33. 岡山	2.6	2.9	2.9	1.9	2.2	2.5	2.4	2.1
34. 広島	4.3	3.7	3.7	3.3	4.8	4.0	3.2	4.8
35. 山口	3.1	3.4	2.5	3.0	3.6	3.4	3.6	3.1
36. 徳島	2.5	3.2	0.9	2.2	1.6	2.2	1.8	1.7
37. 香川	4.4	3.5	3.0	3.2	4.1	3.4	3.1	4.0
38. 愛媛	2.2	2.0	2.8	3.1	2.7	2.2	2.2	2.0
39. 高知	3.4	3.4	4.2	7.4	6.8	3.9	3.8	4.0
40. 福岡	2.1	2.7	2.2	2.9	2.5	2.6	2.3	2.7
41. 佐賀	2.4	2.2	2.7	1.4	1.1	1.5	1.9	2.1
42. 長崎	2.5	2.5	2.9	2.9	2.0	2.8	1.4	2.2
43. 熊本	2.8	1.7	2.7	3.3	3.2	2.8	2.6	2.0
44. 大分	1.7	1.9	2.2	2.7	2.6	2.1	2.1	1.0
45. 宮崎	4.0	2.2	1.8	3.2	2.5	2.4	2.3	1.1
46. 鹿児島	3.8	4.1	3.3	3.8	3.8	4.5	3.7	4.6
47. 沖縄	3.6	3.2	2.3	2.5	3.4	2.0	0.8	1.5

(得点第5五分位層)

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
1. 北海道	8.4	8.7	9.7	14.7	14.0	13.3	11.6	13.6
2. 青森	13.4	15.7	19.0	19.1	18.5	19.9	21.9	25.2
3. 岩手	11.3	15.4	16.1	21.4	18.5	20.5	20.8	19.4
4. 宮城	8.8	11.7	10.4	14.5	14.7	14.7	14.9	16.8
5. 秋田	13.1	12.7	13.4	16.7	16.6	18.2	15.8	15.5
6. 山形	12.6	12.0	15.1	16.6	16.7	20.2	19.4	17.5
7. 福島	19.8	19.5	21.2	22.9	19.5	24.9	20.3	21.9
8. 茨城	20.1	22.4	25.6	30.9	30.6	28.3	28.2	29.0
9. 栃木	20.8	25.0	27.0	24.4	26.2	28.4	26.1	26.2
10. 群馬	17.7	20.5	24.3	25.3	24.4	24.7	27.6	26.3
11. 埼玉	44.1	43.4	47.0	53.5	50.3	48.3	51.3	52.5
12. 千葉	36.0	36.0	36.9	41.4	42.9	41.1	45.4	46.1
13. 東京	59.4	63.7	66.1	68.5	68.5	68.6	69.7	69.5
14. 神奈川	49.0	52.7	57.4	57.4	56.0	53.6	58.1	57.5
15. 新潟	15.1	18.0	17.5	21.0	23.6	25.3	23.9	26.1
16. 富山	19.7	25.2	28.4	30.4	29.5	29.9	24.7	27.8
17. 石川	15.5	15.4	20.1	19.9	18.8	20.8	22.8	21.1
18. 福井	11.5	10.2	13.3	18.9	16.1	14.4	16.3	14.0
19. 山梨	24.3	23.4	21.4	23.0	28.7	27.7	30.6	38.4
20. 長野	21.8	24.6	28.3	29.4	27.5	28.3	29.8	31.9
21. 岐阜	9.9	13.6	12.9	15.8	14.1	12.4	11.9	13.3
22. 静岡	17.6	22.3	23.8	25.3	22.4	23.9	24.3	24.2
23. 愛知	11.5	12.7	13.8	14.7	14.1	13.1	13.5	13.5
24. 三重	10.4	12.4	14.3	16.3	14.9	13.8	12.4	15.8
25. 滋賀	5.0	6.2	5.7	4.9	4.6	5.4	5.6	7.3
26. 京都	7.0	8.0	7.4	7.7	6.2	7.4	8.3	7.4
27. 大阪	4.1	4.7	5.3	5.4	5.3	4.8	4.8	4.8
28. 兵庫	12.2	14.1	14.3	15.7	13.7	13.5	12.3	12.3
29. 奈良	5.9	5.8	6.6	7.8	6.8	6.3	6.5	6.8
30. 和歌山	7.4	8.6	8.7	9.1	9.4	7.8	9.2	8.7
31. 鳥取	8.4	13.0	16.9	20.7	17.3	13.3	14.6	16.8
32. 島根	8.3	10.7	11.4	13.1	12.6	15.4	15.8	15.8
33. 岡山	12.5	15.6	13.6	11.9	12.3	14.3	10.2	11.0
34. 広島	15.6	18.0	18.2	19.7	18.2	18.8	20.0	20.6
35. 山口	11.6	12.0	14.8	12.7	15.5	12.1	15.8	15.7
36. 徳島	9.8	13.8	11.3	12.8	12.7	12.5	9.0	10.6
37. 香川	14.1	16.0	15.6	16.9	14.5	16.0	15.0	14.9
38. 愛媛	14.2	19.5	18.2	19.9	20.5	20.6	17.3	19.5
39. 高知	9.8	14.2	14.0	15.2	16.7	17.0	20.1	22.8
40. 福岡	11.5	12.7	14.7	14.7	13.0	12.2	13.5	15.0
41. 佐賀	8.7	9.6	15.2	14.7	12.0	14.3	13.8	16.8
42. 長崎	8.6	12.5	12.1	16.6	14.6	14.2	13.0	13.7
43. 熊本	10.0	12.2	15.1	20.7	17.4	13.1	14.2	17.9
44. 大分	12.8	14.9	12.5	12.9	15.4	13.1	13.5	14.7
45. 宮崎	9.1	14.7	19.4	17.9	18.2	16.4	14.8	17.0
46. 鹿児島	26.8	30.6	32.9	38.8	36.1	32.3	31.7	31.8
47. 沖縄	2.7	7.0	5.5	4.8	5.2	7.1	9.1	12.3

表A-9. 合格者中に占める自県内大学合格者の年次変化

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
1. 北海道	77.1	75.1	76.3	77.3	77.2	77.4	77.0	75.3
2. 青森	45.6	41.4	47.7	46.2	45.5	45.5	45.4	43.4
3. 岩手	54.9	51.5	53.1	55.6	55.2	56.3	54.1	49.5
4. 宮城	41.9	40.3	41.7	40.8	43.6	45.9	45.7	47.8
5. 秋田	43.1	39.3	42.3	43.8	44.1	45.2	45.0	42.7
6. 山形	50.5	50.8	50.0	49.6	53.9	52.9	51.8	52.1
7. 福島	34.3	33.0	30.9	36.0	33.9	36.5	36.4	35.5
8. 茨城	61.9	59.9	59.8	58.2	58.8	55.6	54.9	54.5
9. 栃木	35.9	37.0	34.6	38.4	39.5	37.2	32.7	30.0
10. 群馬	44.9	43.2	45.3	46.3	48.4	43.8	45.9	44.3
11. 埼玉	31.1	29.0	28.9	30.0	30.2	27.2	26.7	25.1
12. 千葉	31.9	30.8	35.0	32.7	31.5	30.0	32.3	28.7
13. 東京	52.1	50.8	51.1	51.1	52.5	52.2	51.7	51.6
14. 神奈川	29.9	30.5	27.8	27.9	24.8	23.4	24.3	23.4
15. 新潟	55.3	59.1	63.4	62.4	64.3	61.2	64.9	62.4
16. 富山	43.7	42.4	43.4	43.5	42.0	42.4	40.7	39.9
17. 石川	37.9	42.9	43.0	40.1	45.7	43.5	43.2	43.9
18. 福井	37.9	38.7	37.4	38.7	39.8	41.0	35.7	33.7
19. 山梨	51.2	58.4	57.3	60.6	60.2	57.9	61.6	57.2
20. 長野	35.6	35.4	37.7	40.2	37.1	36.2	36.5	36.1
21. 岐阜	27.8	28.3	27.8	27.7	29.0	27.8	27.7	25.3
22. 静岡	38.6	37.7	38.7	39.7	38.5	38.2	39.3	37.1
23. 愛知	50.2	48.4	45.2	46.8	46.6	43.9	44.6	43.5
24. 三重	37.6	35.7	35.7	39.2	36.3	38.9	38.9	40.0
25. 滋賀	31.2	29.1	27.5	29.6	30.5	25.5	26.0	24.6
26. 京都	39.6	37.9	39.6	40.7	39.9	36.5	38.0	39.2
27. 大阪	41.0	40.7	41.1	42.6	42.0	41.1	38.1	38.9
28. 兵庫	27.3	29.2	27.2	31.0	29.6	28.3	27.3	28.6
29. 奈良	18.6	18.7	17.4	18.5	18.5	17.6	16.4	15.0
30. 和歌山	33.5	35.9	33.0	35.6	40.6	34.4	33.3	34.9
31. 鳥取	37.2	37.9	38.9	41.8	42.9	45.1	41.0	38.4
32. 島根	37.2	34.2	39.0	39.5	36.4	38.0	41.9	35.8
33. 岡山	35.4	36.9	35.6	34.9	33.2	33.6	31.0	31.1
34. 広島	41.6	41.5	41.7	39.9	38.0	37.9	36.1	36.3
35. 山口	36.9	40.4	41.5	39.6	42.1	40.0	38.4	38.8
36. 徳島	43.2	44.2	45.9	46.5	44.9	42.5	36.3	32.9
37. 香川	31.2	32.3	34.0	35.9	37.8	36.7	36.2	34.2
38. 愛媛	38.1	38.3	40.1	39.3	42.0	38.8	41.3	38.6
39. 高知	51.8	60.7	54.9	52.4	51.3	53.8	55.1	49.0
40. 福岡	48.8	48.7	47.7	45.8	48.8	45.4	46.1	47.5
41. 佐賀	43.1	42.9	41.8	44.2	47.4	41.0	44.3	44.2
42. 長崎	41.4	39.6	40.5	37.6	37.3	36.8	36.7	35.4
43. 熊本	48.4	47.5	46.5	45.4	47.0	44.8	45.1	45.7
44. 大分	34.0	36.1	35.6	36.5	36.9	36.2	38.3	37.4
45. 宮崎	31.5	31.7	32.6	32.4	32.6	30.4	30.6	30.1
46. 鹿児島	46.6	49.0	47.8	47.7	49.6	49.9	48.7	50.1
47. 沖縄	92.9	90.6	94.1	93.4	94.7	92.6	92.8	93.2

表A-10. 合格者に占める宮城県の大学での合格者の年次変化

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
2. 青森	7.7	6.9	7.3	6.5	7.4	8.6	7.5	8.3
3. 岩手	10.1	12.0	10.1	9.6	9.7	10.2	11.2	11.4
4. 宮城	41.9	40.3	41.7	40.8	43.6	45.9	45.7	47.8
5. 秋田	9.8	9.1	9.3	7.7	8.5	8.0	8.8	7.9
6. 山形	9.8	8.6	8.4	8.5	7.1	8.4	8.7	10.1
7. 福島	10.8	9.6	12.3	11.0	11.0	12.5	10.9	11.8

表A-11. 合格者に占める愛知県の大学での合格者の年次変化

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
21. 岐阜	23.1	21.8	20.5	18.9	19.5	18.9	21.0	18.9
23. 愛知	50.2	48.4	45.2	46.8	46.6	43.9	44.6	43.5
24. 三重	17.1	16.6	15.2	16.0	15.6	14.5	15.8	16.1

表A-12. 合格者に占める大阪府・京都府の大学での合格者の年次変化

昭和 出身県	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
25. 滋賀	14.9	14.3	13.9	13.3	11.6	14.7	14.3	14.3
	8.6	8.6	8.2	8.6	9.9	11.5	10.9	10.8
	23.5	22.9	22.1	21.9	21.5	26.2	25.2	25.1
26. 京都	39.6	37.9	39.6	40.7	39.9	36.5	38.0	39.2
	14.7	14.7	15.6	14.5	14.0	16.3	14.9	15.2
	54.3	52.6	55.2	55.2	53.9	52.8	52.9	54.4
27. 大阪	14.2	14.0	14.6	13.3	14.8	14.2	14.2	14.8
	41.0	40.7	41.1	42.6	42.0	41.1	38.1	38.9
	55.2	54.7	55.7	55.9	56.8	55.3	52.3	53.7
28. 兵庫	8.9	8.8	9.3	9.4	9.8	9.1	9.1	9.3
	20.5	19.7	20.7	19.6	20.5	20.1	19.9	20.4
	29.4	28.5	30.0	29.0	30.3	29.2	29.0	29.7
29. 奈良	13.4	15.4	16.2	13.7	16.5	14.1	15.0	16.6
	30.6	27.9	29.4	32.9	31.0	28.4	31.7	31.6
	44.0	43.3	45.6	46.6	47.5	42.5	46.7	48.2
30. 和歌山	3.9	5.0	3.9	4.5	3.9	4.3	4.2	5.2
	18.8	15.2	17.9	17.7	16.5	18.9	16.4	18.7
	22.7	20.2	21.8	22.2	20.4	23.2	20.6	23.9

注) 上段 大阪府での大学合格者, 中段 京都府での大学合格者, 下段 計

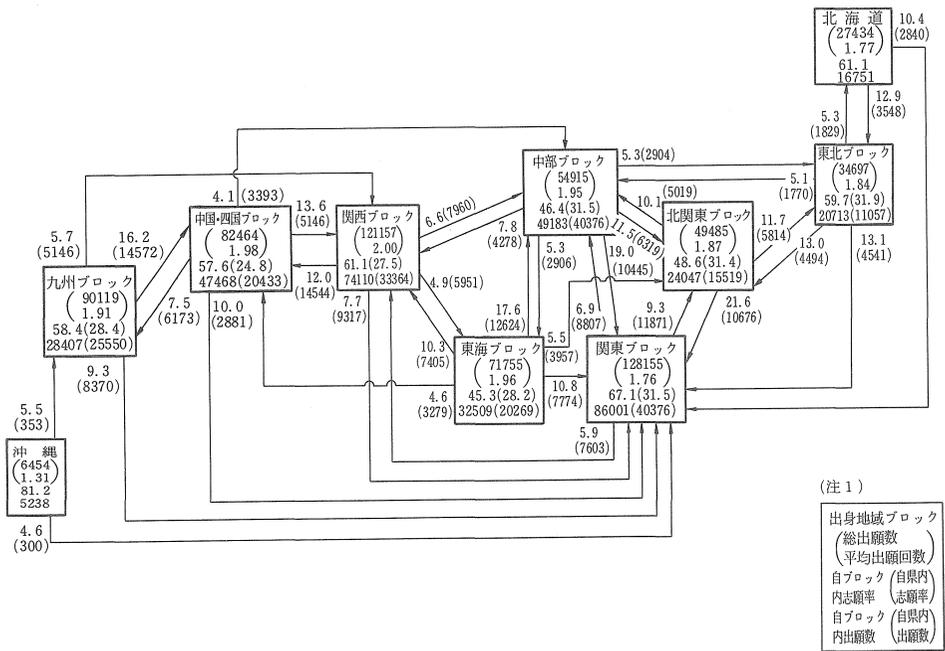
表A-13. 合格者に占める福岡県の大学での合格者の年次変化

出身県	昭和 54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
40. 福岡	48.8	48.7	47.7	45.8	48.8	45.4	46.1	47.5
41. 佐賀	17.6	17.0	17.3	16.7	15.5	17.1	15.4	16.7
42. 長崎	17.6	16.7	15.1	14.0	14.3	13.8	14.8	13.8
43. 熊本	16.9	13.5	14.4	12.4	10.9	12.0	12.9	12.0
44. 大分	16.3	12.1	11.6	12.2	13.5	13.4	12.0	11.8
45. 宮崎	14.2	12.4	13.0	11.2	10.5	9.9	9.3	7.1
46. 鹿児島	14.9	13.2	12.8	11.4	12.0	10.9	10.8	9.8

表A-14. 合格者に占める東京都の大学での合格者の年次変化

出身県	昭和 54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年
1. 北海道	3.5	3.2	3.5	4.1	4.2	4.0	4.3	4.2
2. 青森	6.1	5.9	5.0	6.3	5.7	6.5	6.3	5.5
3. 岩手	3.5	4.9	4.6	4.6	3.7	4.1	4.1	5.1
4. 宮城	5.2	5.4	4.0	5.1	5.5	5.6	5.2	6.3
5. 秋田	5.3	4.4	4.5	5.2	5.2	4.5	4.3	3.9
6. 山形	4.8	4.4	4.2	5.0	4.4	5.3	4.4	3.7
7. 福島	8.5	7.8	7.6	6.5	6.2	6.2	6.7	7.0
8. 茨城	9.3	9.2	8.8	10.1	9.6	9.6	9.5	9.6
9. 栃木	10.0	9.6	10.7	8.3	8.8	8.5	8.7	9.3
10. 群馬	9.1	8.3	8.1	8.3	8.1	8.9	7.3	7.2
11. 埼玉	26.7	27.2	24.7	25.4	25.3	26.3	27.2	27.1
12. 千葉	24.7	23.5	22.9	21.5	22.8	22.8	24.8	25.2
13. 東京	52.1	50.8	51.1	51.1	52.5	52.2	51.7	51.6
14. 神奈川	37.5	35.2	37.3	36.3	37.3	36.5	37.6	37.7
15. 新潟	7.8	7.5	6.1	6.9	7.3	7.4	6.3	7.4
16. 富山	7.8	9.0	8.4	7.3	9.2	7.4	7.3	7.7
17. 石川	7.5	6.4	6.5	6.7	6.5	6.4	8.0	7.3
18. 福井	5.6	4.6	5.5	6.5	5.9	5.3	6.6	5.4
19. 山梨	12.3	10.2	9.2	6.5	10.1	8.5	9.6	11.3
20. 長野	14.0	12.1	12.9	12.1	12.6	12.5	12.0	13.0
21. 岐阜	4.8	4.9	5.1	5.1	4.8	5.2	4.7	6.3
22. 静岡	9.6	11.0	10.0	11.0	9.9	9.8	9.6	10.7
23. 愛知	5.6	5.0	5.4	5.6	5.7	5.8	6.0	6.3
24. 三重	4.9	5.4	6.4	6.5	6.9	7.1	5.4	5.7
25. 滋賀	2.0	2.1	1.9	2.8	2.4	2.1	2.1	3.5
26. 京都	4.2	4.3	4.8	4.0	3.6	3.2	4.6	4.4
27. 大阪	2.5	2.6	2.8	2.9	2.8	2.5	2.7	2.8
28. 兵庫	6.9	6.6	6.5	6.3	6.5	6.6	6.0	5.9
29. 奈良	3.3	3.7	3.4	3.1	3.4	4.0	3.4	4.6
30. 和歌山	4.3	2.7	4.4	3.1	3.0	3.1	3.0	3.5
31. 鳥取	5.2	6.5	5.9	6.3	6.6	5.4	5.5	7.0
32. 島根	3.7	4.0	4.6	4.8	3.3	5.4	4.6	4.8
33. 岡山	5.4	5.1	4.4	3.9	4.0	4.8	3.9	4.2
34. 広島	7.0	7.7	7.5	7.3	8.5	7.7	8.6	8.2
35. 山口	5.9	4.5	5.1	5.4	5.7	4.5	5.7	5.4

36. 徳島	4.7	4.6	3.3	4.1	3.9	3.8	2.7	3.2
37. 香川	7.2	6.2	6.3	6.0	5.8	6.0	5.3	6.2
38. 愛媛	5.4	7.5	5.6	5.9	5.6	5.8	5.3	5.8
39. 高知	5.8	4.1	6.0	5.7	5.4	7.4	6.9	6.8
40. 福岡	4.1	3.8	4.5	4.6	4.3	4.1	4.4	4.7
41. 佐賀	3.2	3.4	3.7	3.7	2.0	3.1	2.4	3.1
42. 長崎	3.4	4.5	4.1	4.4	3.9	3.5	3.9	3.8
43. 熊本	3.6	4.3	4.4	4.8	4.8	4.5	4.0	3.9
44. 大分	4.1	4.2	3.9	3.6	4.4	4.2	4.0	3.9
45. 宮崎	4.7	5.2	5.7	4.7	5.4	5.2	4.9	4.8
46. 鹿児島	10.3	9.8	9.4	10.0	10.1	10.6	10.8	9.1
47. 沖縄	1.5	1.5	0.7	0.9	0.4	1.1	0.8	1.4



図A-2 各ブロックからの志願先 (昭和62年度)

注2) 北関東ブロックを例にとって、図の見方だけ説明しておく。まず、箱の中の数字の意味を説明しておこう。昭和62年度、北関東ブロック出身者によって、計49,485の志願票が全国の国公立大学に提出された。そして、このブロック出身者の平均出願回数は、1.87であった。(北関東ブロック出身の国公立大学志願者総数は、 $49,485 \div 1.87 = 26,405$ 人。) この49,485の志願票のうち、自ブロック(北関東ブロック)内にある大学への志願は、48.6%(24,047票)であった。(うち31.4%=15,519票は自県への志願。) 矢印は、各出身ブロックから、どの程度の志願票が、他のブロックへ寄せられたのかを示している。例えば、北関東ブロックから東北ブロックへは、21.6%(5,814票)の志願票が寄せられていることを示している。ここでは、各出身ブロックから、4%以上の志願があったものについてのみ図示してある。

Kozo IWATA* and Shuichi IWATSUBO** (1988). A Study of Geographic Expanse of Applicants to Universities —A Comparison of the Situations before and after the Increase in a Possible Number of Applications in 1987—*Res. Bull. Nat. Cent. Univ. Ent. Exam., No. 17, 29-100*

The applicants could apply to only one national or local public university until 1986. Now it is possible for them to apply to two of these universities by the introduction of a new admission system in 1987.

This paper is concerned with geographic characteristics of applicants to these universities. Especially this focuses on their changes due to the new system.

Our aims are analyses of the following issues:

- (1) What is the number of students in a prefecture applying to the universities in each prefecture?
- (2) What is the relationship between the scholastic abilities of students and the geographic expanse of their application?
- (3) What are these about students entering to the universities?

Main findings are as follows:

(1) When the number of applications was restricted to one, the order of prefectures to which more applicants in a prefecture were attracted, was the students' home prefecture succeeded by its neighbors. On the other hand, the higher were applicants' scholastic abilities, the more of them were attracted to Tokyo or the nearest prefecture where one of major universities is located.

(2) The allowance of double applications causes applicants, who are assumed to apply to a university in their home prefecture if their application were restricted, apply to a university in neighboring prefectures in addition. But applicants, who are assumed to apply to a university in neighboring prefectures to their homes if restricted, don't look like to apply to a university in their home prefecture in addition. Thus the geographic dispersion of applications is increased.

(3) Applications to a far away university are also increased.

(4) With respect to students of higher scholastic abilities, the allowance brings about the tendency contrary to (2) on the one hand. And it directs their

* *Evaluation and Follow-up Study Section*, ** *Information Processing Section*,
Research Division, National Center for University Entrance Examination.

second application to Tokyo or the prefecture where another of major universities is located.

(5) The increase in geographic expanse of applicants does not necessarily bring much change in that of entrants.

Key Words

the Joint First-Stage Achievement Test,
Geographical Factor in College Choice,
Multiple Application